夕刊
滿洲日報
七月二十五日
發行所　大連市東公園町三十一番地　株式會社滿洲日報社

日本の批准書寄託され不戰條約効力を發生
愈よ廿五日午前四時

（ワシントン廿五日發電）不戰條約に對する日本の批准書は寄託され茲に同條約は廿五日午前四時よりいよ〳〵完全に効力を發生することゝなつた、我國においては廿五日官報號外を以て發布された

官報號外で不戰條約公布

【東京廿五日發電】不戰條約は愈々二十五日官報號外を以て左の如く公布された

朕樞密院顧問ノ諮詢ヲ經テ昭和三年八月二十七日パリニ於テ帝國全權委員ガ關係各國全權委員ト共ニ署名調印シ且ツ第一條中ノ字句ニ關シ昭和四年六月二十七日ヲ以テ帝國政府ガ宣言スル處アリタル戰爭放棄ニ關スル條約ヲ右帝國政府ノ宣言ヲ尊重シテ批准シ茲ニ右帝國政府ノ宣言ト共ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和四年七月二十五日

內閣總理大臣　濱口雄幸
外務大臣男爵　幣原喜重郎

批准書及宣言文
我政府今明日中發表

【東京二十五日發電】日本政府は米國より公電あり次第二十五日午後又は二十六日の官報號外を以て不戰條約文批准書並に宣言を發布することゝなつた、批准書並に宣言文左の如し

批准書

天佑を保有し萬世一系の帝祚を踐める日本國皇帝「御名」此の書を觀る、有衆に宣示す

朕昭和三年八月二十七日巴里に於て帝國全權委員が關係各國全權委員と共に署名調印し且つ第一條中の字句に關し昭和四年六月二十七日附を以て帝國政府が宣言する處ありたる戰爭抛棄に關する條約を閲覽點檢し右帝國政府の宣言を存して之を嘉納批准す

神武天皇即位紀元二千五百八十九年昭和四年六月二十七日東京宮城に於て親から名を署し璽を鈐せしむ

御名國璽

宣言

各大臣副署

帝國政府は一千九百二十八年八月二十七日巴里に於て署名せられたる戰爭抛棄に關する條約第一條中の「其の各自の人民の名に於て」なる字句は帝國憲法の條章より見て日本國に限り適用なきものと諒解する事を宣言す

昭和四年六月二十七日

四十一ケ國代表出席し盛大な條約宣布式
けふホワイト・ハウスにて

【ワシントン二十四日發電】日本の批准書寄託を最後として愈よ効力を發生するに至つた不戰條約宣布式は、本日ホワイトハウスに於て莊嚴に擧行された、參集せる調印國代表者は四十一ケ國で式場たるホワイトハウスの東の間には馬蹄形に卓を列べ大統領フーヴー氏其主席を占めその右には前大統領クーリツヂ氏、左には同條約の主唱者前國務長官ケロツグ氏が坐し、米國上院外交委員長ボラー氏はケロツグ氏の背後に、又國務長官ステムソン氏はクーリツヂ氏の背後に起立し其他本條約に參加調印せる四十一ケ國の代表者は夫々外交團の順位により左右に居流れ露國代表のみは出席しなかつた、軈て大統領フーヴー氏の同條約の宣布の式辭を終りたる後、ワシントンにおける全外交團關係者はフーヴー大統領の賓客としてホワイトハウスの大食堂における午餐會に出席した、尙當日の宣布式は全部ラヂオにより全國に放送された

荻川放談(70)
東支鐵道(其四)

世界無二の我儘者たる支那と露西亞、國際信義なんかは毫も彼等の念頭にない、それに向つて第三者の居中調停、否妥協勸告さへも無駄と思ふ、彼等の頭腦に國際信義が閃き出さない限り彼等を國際の外に立たしめ、振舞ふがまゝ互ひに喧嘩をさせておき、以て國際の難有味を呑込ますが善い、頃者傳ふるところによると、支那は既に此居中調停なり妥協勸告なりを望みありとか、并は國際の難有味を知るが如きも、其處に自分の爲した我儘の失敗を、國際の難有味で繕ひ貫はんとする横着が潜む、斯うしたことに國際が利用されては、世界に國際利用の我儘者横着者の根が絶えまい、須らく世界は今度の本事件に關し支那を放りつぱなし置くべきであることに至ると露西亞は偉い、まだ少しの弱音を吐かぬ、尤も仕掛けられたる喧嘩であり、且支那を見縊つとる關係もあらうが寧ろ支那と反對に、第三者の容喙を許さぬとの態度に立つ、併し克く考へて觀ると、本事件惹起の根源は露西亞にある、若し露西亞に露支間の條約や協定を守るの誠意ありしならば、支那も之に我儘を働かし得なんだであらう。

◇

それで、如何に露西亞の態度が偉いと云つたとて、國際の精神からすると、何時かは露西亞の國際信義無視に對し、一本參らせてやらねばならぬのである、會々支那が凹んで哀れみを列國に乞ふ、その乞ふに値からなる國際信義無視の悔悟が見え出したならば、妥協勸告でもない、居中調停でもない、外國は本事件に干涉し、支那を立てて露西亞を叩き、露支關係を相互に取交しある條約協定の純正なる地位に引戻すべきものであるまいか、斯く云ふも現在支那が弱音を吐き出したからで、若し情勢が之と反對ともならば、勿論露西亞を立て支那を叩くことゝなる。

◇

如上の見解を持し列國が本事件に臨まんか、其處に露支兩國の自覺を喚起し、妥協勸告も居中調停も要らず、事件は圓滿に解決すまいかと思ふが、そう運ばないなら干涉じや、さて干涉ともならば、誰か之に任ずべき、我日本を措いて他に適當の國はない、それは斯ふした干涉には威力を伴はしめねばならぬに、日本を外として此處へそうしたことを克くし得るはなく、況して此處に日本ほど深く利害關係を繫ぐがなきに於てをやで、日本は列國に代つて此役目を負ふべし、これ世界の爲め東洋の爲で、云ふ勿れ斯くの如きは不戰の精神に悖ると、決して然らず、是れ乃ち平和に向つての活動のみ、萬一にも斯くあらんか、列國は正に日本へ感謝すべし。

支那民衆團體遂に反露氣勢を揚ぐ
更に日本をも漫罵

【上海特電二十五日發】露支問題にて東鐵事件の平和的解決意見濃厚となりつゝある昨今に至り、支那各民衆團體は遂に反露宣傳の氣勢を揚げるに至つたが、昨夜開かれた市民大會及び各路商商業聯合會大會にてはロシアが東鐵を利用して共產宣傳の本據とせるに鑑み一致ロシアに反抗して東鐵を回收せよと主張すると共に日本が此機會に乘じて攪亂を圖らんとするのを防止せよといつてゐる、而も奇怪なことには各種決議、スローガン中に日本とロシア及び共產黨を併立せしめて日本に漫罵を浴びせかけ商業聯合會の如きは露支交涉に乘じて日本は破壞手段を執る虞あるからその野心の挑發を防ぐため日本政府に警告を發すると共に日本民衆に忠告を打電することを決議してゐる

米國を介して日本の調停慫慂
國民政府が對內策上

【南京二十五日發電】國民政府は面の情報を次々に接受して蔣介石、胡漢民、王正廷氏等時局對策につき議を練つてゐるが、國民政府の幣原外相と汪駐日公使會見內容の詳細なる公電其他英米佛等列强方面の情報を次々に接受して蔣介石、……輕く否定して後、サモ感慨深さうに言ひ出した。

近くハルビンで支那側巨頭會議
萬、張兩氏ら赴哈

【武田特派員ハルビン二十五日發】黑龍江萬福麟氏は近々來哈し暫らく滯在するものゝ如く既に旅館の準備も出來てゐるが、メリニコフ氏と會見するや否やは不明で、吉林から張作相氏も之と前後して來哈し巨頭會議が開かれる模樣である

楯の半面
辭める山本滿鐵總裁(二)

嚴父の總裁慈母の副總裁

奉天、春日小學校の講堂で開催された融員告別式の席上、社員を代表した山西撫順炭礦長の挨拶のうちに

「山本總裁は嚴父のごとく、松岡副總裁は慈母のごとく……」と云ふ一節があつた、嚴父慈母の譬へ——こんな場合の、この種の挨拶として昔からよく言ひ古された言葉で、言葉そのものに勿論何等の新味はないが、今更めて「山本總裁は嚴父の如く松岡副總裁は慈母の如く……」と繰返して見ると、過去二ケ年間の滿鐵における事實は全くその通りであつた、疊々山嶽の如き嚴父の總裁、洋々春海の如き慈母の副總裁——此の譬へは、何んと恰も昔から兩者の爲め準備されて居たやうに、ピタリと當て嵌るではないか。

◇——◇

その嚴父の山本氏と、慈母の松岡氏が今日の如き好配偶として結びつく、抑の機因は果して何時ごろからの事であらう、それについてまた一つの面白い想ひ出で話がある——すなはち時はまさに我日本が國運を賭して世界にその存在を認められるに至つた、かの日露戰役の眞最中であつた、未だ若かりしころの松岡副總裁は、外務省の一外交官補として、初めて上海に赴任したのである。

西歐人の中に威張る一邦人

正副總裁最後の惜別行——こゝは奉天行き列車の一等室、山本松岡の兩氏が向ひ合つて腰かけた椅子の横側で、筆者は不圖思ひ出すまゝに、質問の矢を兩氏に向けた。

「私は曾て友人から面白い話を聞きました、それは何でも副總裁が初めて官補として上海に赴任された時——上海クラブの西洋人の間に只ひとり、傲然として威張つて居る日本人があつた、その樣子が餘りに目立つので不思議に思つて彼果して何者？と訊して見ると、それが外でもない、三井の山本條太郎氏、だつたと云ふのです、この話は果して眞實でせうか何うでせう？」

◇——◇

と、更にいわくに

「もつともその當時、總裁が威張つて居たことだけは慥に事實だがねハヽヽ、」

◇——◇

すると今度は山本氏が「何アに威張つてなんか居るもんか、他は只あたりまへに日本人の面目を保つて居ただけだよ」と、

山本總裁はニヤリと笑つたまゝ直には應へず、松岡氏が膝乘り出して答へることに

「ウンそれは大當の話だ、但し稍內容は違ふ——と云ふのは、僕はその日本人が山本さんであると云ふことを初めて知つたわけではない、したがつて彼果して何者か、などの疑問を持つた筈もないから……」

「いや總裁もまだ若かつたですよ、何にしろ男盛りの元氣旺盛で日本人と云へばジヤツプジヤツプと馬鹿にして居たころだ、彼等と對等にやつて居たのは總領事の小田切（萬壽之助）さんと貴方だけでしたからね」

この所、大滿鐵の嚴父慈母、いやに老人臭い昔噺を始め出したものだ、但興味しん〳〵たる話はなほも續く。【寫眞は廿三日遼陽滿鐵社員の山本總裁送迎】

露支問題に英米干與は反對
在哈獨逸領事の意見

【ハルビン二十四日發電】ドイツ領事は本日午前十一時八木總領事を訪問し勞農總領事館保管につき本國政府の訓令に接したので保管の任に當る事になつた旨の挨拶をなしたが、同領事は此際東支鐵道問題は露支兩國乃至日露支三國で解決すべきで、滿洲問題に英米を干與せしめる事の不利を述べ今回の米國の主張する露支調停運動には反對の口吻を洩らし同問題に對する日本の意嚮を訊したと仄聞する

……眞意は日本に調停を依賴する事を最も捷徑なりとして之を希望し居るも中央黨部方面の意嚮は日本に依賴するを極度に嫌ひ各地黨部に命じ全國的に日本をして容喙せしむべからずと宣傳せしめてゐるので對策上敢然依賴する能はざる立場に在るが、確聞するに國民政府は駐米公使伍朝樞氏に命じて米國を動かし米國をして日本に對し調停の爲め出馬方を慫慂せしめんとする方策を採るに決したといはる此結果米國は多分支那の要請を容れ我に對し出馬調停方を近く正式に勸告し來るものと信ぜらるゝに至つた

琿春方面露人示威運動

……のロシア人四百名赤旗を押し立て示威運動をしたが廿二日再び隣接部落で大示威運動をなしたに對し支那側は警備部隊を琿春方面に集中し萬一に備へてゐる模樣である

駐露支那外交官けふ引揚げ
勞農政府の旅券を得

【淸津特電二十五日發】去る十九日咸鏡北道西水羅の對岸、岸峰社……細目に亘つて尙研究中である

【モスコー二十四日發電】駐露支那代理公使事務取扱以下館員は勞農政府より旅券を受け取り本日歸國するはずである

廣東の反露大示威運動

【廣東二十四日發電】露支國交斷絕以來省政府、黨部では輿論の統一に努めてゐたが、二十四日打倒ロシア帝國主義の大示威運動行はれ參加者約六萬陳銘樞氏以下の激勵演說ありそれより市內目拔を練り歩いたが當日租界等の警戒は嚴重……

廣東軍出動準備
陳氏より中央に打電

【廣東二十四日發電】廣東第八路總指揮部は陳濟棠氏の名を以て勞農討伐のため命令一下三個旅團の兵と飛行機隊を派遣する旨中央政府に打電した

支那軍隊輸送問題
關東廳で協議會

滿鐵線における支那軍隊輸送問題に關し二十五日午前十時關東廳に於て福岡警務局長、大場保安課長、飯島高等課警部、鈴木外事課屬、關東軍の板垣高級參謀、花井參謀、滿鐵囑託佐藤少佐、太田滿鐵々道部運轉課長等參集して協議し大體具體案を得て十二時半散會したが細目に亘つて尙研究中である

勞農の感情緩和のため日本攻擊を開始す
奉天國民外交協會が

【奉天特電二十五日發】張學良氏の嚴命により排日を止め一致協力し支那との紛糾を大ならしむることにより漁夫の利を占めんとしつゝある……勞農に對すと稱せられた張氏秘書杜重遠氏の主宰する奉天國民外交協會は二十日左の如き宣言を支那全土各級黨部、各省政府、各民衆團體及び各新聞社に通電し、日本は東鐵問題は總て滿鐵の回收となつて緩和すべく支那一流の宣傳を始めた

（前略）我國は勞農側の協定遵守を促し兩國の和平を圖るため五月二十日哈爾濱總領事館を搜査し、七月二十一日協定の實行を迫つた、這は全く今後兩國の和平解決を促さんがためで公利のあるところ勞農側も知らざる筈なく不幸事件の發生するが如きこと斷じてあるべきでない、然るに過日來日本全國は我が民衆がこの精神に基き引續き南滿の各鐵道侵略の野心ありとし恐怖の結果、露支間の國交を惡化せしめ漁夫の利を占めんとし、新聞により謠言を放ち兩國民を惑はすに努めてゐる、勞農側は最初それに惑されモスコーの民心を沸騰せしめたが、その後かの地の新聞は我國の措置には不滿足ながら支那の和平促成の意義あることを知り、二十三日勞農鐵道部長が勞農側の軍隊移動は……

國民政府、突然西原借款不承認
裏面に魂膽あるらし

【南京二十四日發電】國民政府外交部は本日突如西原借款を承認せざる旨正式聲明を發した、同借款に對して突然此擧に出た裏面には何等かの魂膽ありと信ぜられてゐる

唐氏次長に復活

【上海二十四日發電】外交部長王正廷氏は露支問題等外交重要問題多事なるため常任外交次長を置くに決し目下辭退中の唐悅良氏が復活就任することゝなり兩三日中に南京に赴くに決した

……白露の侵入を防止するためで支那に對しては絕對和平解決の筈だと聲明してゐる如きその尤たるもので、日本が荒唐無稽の謠言を放つことを立證してゐる、我が民衆は我が外交當局を擁護しロシヤに嚴重交涉せしむると共に日本の陰謀を防ぎ我が國外交の最後の勝利を獲得せんことを望む

進退は誰にも掣肘されぬ
山梨總督着京

【東京二十五日發電】山梨朝鮮總督は二十五日午前九時五十五分東京着上京したが「自分の進退は誰にも掣肘されない、用が濟んだら歸鮮するか否かまだ判らぬ」と述べた

畑軍司令官披挨

關東軍司令官畑英太郎中將は來る廿七日午後六時半から旅順偕行社に於て着任挨拶のため在旅官民代表者一同を招待する筈

松岡副總裁社員に訓話
あす協和會館で

松岡滿鐵副總裁は二十六日午後四時より協和會館に於て社員を中心として社員に對し一般社員へ「獨身社員へ」の題目で訓話する由

人事

▲山西恒郎氏（撫順炭礦長）二十五日八時半着列車で來連

大觀小觀

不戰條約本日より効力を發生す恒久平和具現の記念日たれ。

◇

相手を監禁の儘外交折衝したが見事に撥ねつけられた。一寸例のないことだ。

◇

植民地首腦部は一齊に辭めるが後任は暗中飛躍の鉢合せでなかなか決まりさうもない。

◇

廿四日附で拓務大臣が木下關東長官に何やら訓電を發した。新閣員の中で最も働いて而も一番あてゝるやうに見える。

◇

山本總裁は樂隊入りで歡送されて此人を送るには相應はしい。

◇

不良少年の保護感化は急務である、不良少年を生む不良兩親の感化救濟は更に急務だ。

天氣豫報

二十六日（曇り後晴れ）南の風
日出四時四七分日沒七時十二分
滿潮前零時三十五分後一時
干潮前六時廿五分後七時卅五分

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二七、二	二五、〇
旅順	二七、〇	二四、九
營口	二六、一	二八、七
奉天	二五、八	二九、三
長春	二九、六	二九、一

けふ空晴れわたり戰の日は遂に來た
大連商業で優勝旗の告別式
滿洲豫選大會始る

雨で一日延期した全國中等學校野球豫選大會の第一日を前にして朝來の曇天に氣遣はれた空も正午前からからりと晴れて眞夏の太陽は赤々と輝き榮ある戰ひに臨む七十餘名が瞳を輝かして待ちに待つた戰ひの日はつひにきた、第一陣を承る安東、撫順は勿論、他の三チーム何れも早く起床、それぐ最後の打合せを行ひ、輕いウーミングアツプに身體を馴らした、中でも靑島と戰ふ奉天軍は午前の中に工事のグラウンドに最後の練習を行つた、赤昨年の優勝校大連商業は午後一時全校職員生徒校庭に參集の上野球部選手を前にして優勝旗の告別式を行ひ、併せて本年の優勝を祈つて大いに選手の首途を激ました、觀衆は一時過ぎよりグラウンド目ざして續々と押寄せ、前年度の優勝チーム大連商業を先頭に參加チームが、ユニフオーム姿輝かしく各野球部長に引率され本社本村庶務課長の先導で入場した頃にはスタンドを埋めつくした、かくて勝つも敗るもあと四日間、滿倶の球場で決算される事となつた【寫眞は大連商業の優勝旗告別式】

惡疫流行の季に入り家庭を脅かす赤痢
誘因系統は果實が一番多い
嚴重に虎疫も豫防

惡疫流行のシーズンに入り目下大連には赤痢病患者續出し六月には僅か十三名であつたのが七月に入り本日まで俄に三十名から發生し尚每日二、三名宛新患者を出して各家庭を脅かしてゐる

大連署の調査によると同署管內のみの一月以來發生患者は六十九名で之れが誘因系統は果實を食つたもの十七名、魚貝類を食つたもの五名、暴飲暴食を爲したるもの三名、氷水を飲用したもの五名、野菜を食つたもの三名、風邪から原因したもの三名、同病患者に接近したもの四名、その他六名、不明のもの二十三名で年齡から言へば四歲のもの最も多く十五名を算しその次が三歲の十四名で子供は果實の誘因が大部分である

上海のコレラも蔓延し日に十數名の眞症患者を出してゐる情勢に鑑み海路交通上密接なる關係を有する大連にも何時侵入するやも知れぬので赤痢の撲滅を圖ると一面はコレラの防疫に努む可く大々的防疫計畫を樹て一兩日中防疫監吏五、六名を採用し檢病的戶口調査を勵行し患者の早期發見に努めると共に料理店、飲食店、旅館、下宿屋等には客膳に供へる野菜魚貝類、果實等生物の晒粉

消毒を行はしめ且つ通風採光の設備不完全な工場を監檢して之れを改善せしめ市中の塵芥箱で蓋の破損した物その他老朽物を整理し廢棄物の處置を周到ならしめ、飲食物、淸涼飲料水等の取締を嚴重にして夏期衞生の萬全を期する方針であると

營口で檢疫

上海に腺ペスト發生せるにつき營口稅關では同地海港檢疫官をして上海より入港する船舶に對し檢疫を行ふに決し二十四日より檢疫官フイリツプ氏指揮の下に嚴重な檢疫を開始した

埠頭の見學團

滿鐵埠頭においては從業員の常識涵養の一助として例年夏枯閑散期を利用して閑散期利用見學團を組織するが、本年も來月初旬左記名所を見學する事になりて甲乙二班の見學團を組織した

周水子紡績工場▲周水子小野田セメント工場▲沙河口工場▲滿蒙物資參考館▲工業博物館▲南滿瓦斯會社▲金福線

花柳病の豫防勵行
逢廓組合で

花柳病の豫防に就いて關東廳衞生課では管下警察署に命じ種々具體的方法を明示し之れが勵行を慫慂して來たに拘らず主意が充分徹底せず取締未だしの感あつたが今回逢坂町遊廓では一兩日前總會を開き協議の結果

今後は男子用便所にも南滿電氣會社の發明にかゝる自働式溫熱洗滌器を備へ付け且つ旅順監獄に注文中であつた豫防劑納入の抽斗付女子用枕五百個も近く出來上るので一齊に之れを使用して花柳病豫防に努める事になつたと

埠頭廣場に丸太の山
閑散期の偉觀

夏枯れの大連埠頭、廣い構內ががランとして流石に閑散期の港の寂寥ぶりを見せてゐるが、埠頭廣場に松丸太が山の樣に積上られてゐるこれは樺太から老虎丸と云ふ船で積まれて來たもので總計約五千噸、用途は滿鐵沿線各地の杭木用と云はれてゐるが事實は四洮、奉海等の沿線各地から支那民屋建築材料とする爲であると

小學校夏休み

市內各小學校は本日を以て第一學期の授業を終り明二十六日よりいよく夏季休暇に入るが各小學校では本日午前中夫々終業式を擧げ休暇中の心得について校長から訓話があつた

都市野球大會出場チーム
十四都市代表の顔觸れ決る
來る三日から開始

【東京二十五日發電】第三回全國都市對抗野球大會はいよく八月三日から五日間に亘つて明治神宮球場に於て擧行されるが出場チームは左の十四都市代表と決定した

大連市（滿洲倶樂部）、京城（全京城）、門司市（門司鐵道局）吳市（全吳工廠）、神戶市（神戶實業團聯盟）、大阪市（全大阪）、京都市（全京都）、名古屋市（名古屋鐵道局）、橫濱市（全橫濱）東京市（東京倶樂部）、長野市（長野保線事務所）、高崎市（甲陽倶樂部）、仙臺市（仙臺鐵道局）、札幌市（札幌鐵道局）

組合せは八月二日午前九時半より東京日々新聞社樓上に於て抽籤に依り決定するはずで試合開始の三日は午前九時から入場式を行ひ十時より三試合、四日は九時より三試合、五日は九時より四試合、六日は午後一時より二試合、七日は午後二時半より決勝戰を行ふことになつてゐる

エレクトラで樂士馘首
京城の喜樂館

【京城特信】映畫伴奏用エレクトラの出現により東京を中心として映畫館の樂士失業問題が起りその成行が注目されてゐる矢先、京城府本町の日活直營の喜樂館にては四ケ月間に亘るエレクトラ試用の結果、去る廿二日八名の樂士を馘首したので朝鮮映畫界の樂士連中は大恐慌を來してゐる

大阪商大の旅行團
十六名來連

大阪商科大學本年度滿鮮支那旅行團一行十六名は朝鮮及び沿線各地の視察を了へ二十五日朝八時着の列車で鈴木周作、杉武夫兩教授に引率されて來連、直に信濃町鎭西旅館に投宿した

本日は市內及埠頭、中央試驗場――遊園、沙河口工場、星ケ浦老虎灘、滿鐵本社、中央公園を見學、明廿六日午前七時五十分大連發列車で旅順に行き廿七日出帆の天潮丸で天津に向ひ中支各地視察の上八月四日天津發同八日大阪歸着の豫定だと【寫眞は大連驛頭の一行】

支那人の恐喝
記者と僞り

小崗子泰山街二五四鞠松山（二三）は新聞記者と稱して去る八日漢字新聞關東報記載の小崗子大龍街吳服商匯盛福店員事件に就いて主人顔儒亭を恐喝せる事發覺數日前より小崗子署に取調べられて居たが、二十五日恐喝未遂として一件書類法院へ送られた

鞠は本年二月頃春日町某新聞社に勤めて居た事あり又六月頃越後町某辯護士事務員たりし事あつたのを利用し某新聞記者の名刺を振廻して居たものである

トロツキーのけふこの頃
土耳其の小島に侘住
息子のイワンに警戒の眼

【コンスタンチノープル發】露支兩國の風雲急なる時、勞農政府反幹部派の大立物トロツキーはどうしてゐるか、トルキスタンの流刑地から遙々此のヨーロツパの一角まで出て來たものゝドイツ入りも英國入りも叶はず立往生の態で今では當地から程遠からぬプリンセス島のプリンキポに元王族の壯大な別莊を借受けそこに夫人と令息とだけで昔に變るわび住居を續け例の自叙傳をセツセと書いてゐる。この夏はまづそこに落付いて又どこの國へか流れ込む工夫をすることであらう。

◇

氣の毒なのは夫人で本國にゐる令嬢二人と末の令息達の身の上を思つてヒステリー氣味になつてゐる。此の頃では夫人は何人にも面會せず家の中に引籠りきりで稀に夫君や令息と共に自動車で松の並木道をドライヴすることがあつても絶對に人を近付けず人目を避けることトルコ婦人以上だといはれてゐる。新聞記者連はしきりに夫人にインタービウを求めてゐるが決して會見しないので窓を通して夫人の姿を垣間見る位が關の山である

◇

コツク部屋での噂では夫人は讀書もあまりせず物云ふことも稀でたゞヂツと坐つたきりなさうである。そして又夫人は召使の者の話では非常なしまり屋で嚴格であると云はれてゐる。トロツキー一家の中で最も元氣なのは令息のイワン君である。父と共に嚴重な監視の下に置かれ政治に關係することを禁ぜられてゐるが流刑生活の中にも餘り屈託のない生活を送つてゐる。父トロツキー氏は今に健康からも政治からも見離されることになるかも知れないが第二世イワン君はその頑健な身體と若さを資本としてどんな前途を開展させるか分らない。ロシア本國政府がこのイワン君に對し凄い眼を光らしてゐる所以はそこにあるのである（寫眞はトロツキー）

夏を涼しく送る日本一周の旅
巨船亞米利加丸で

◆出發と歸着　大連出發八月八日、九月二日大阪着解散、大連迄乘船劵進呈

◆視察の箇所　靑島、臺灣、長崎、宮津、北海道、樺太、千島、東京、日光觀察

◆參加の費用　Aクラス團費二五〇圓（月賦拂込の便法も有ります）

上甲板一面に日覆を施し藤椅子を設け全員に開放します。終日甲板上で暮されたらBクラスと待遇は同じです。一ケ月間涼しく、愉快な、健康增進の生活を考へて下さい。

◆申込所　ツーリスト・ビユーロー大連、奉天、營口、長春、撫順、安東、哈爾賓、天津、北京、上海各地案內所▲滿洲日報社、並支社支局▲大阪商船大連支店

主催　ジヤパン・ツーリスト・ビユーロー大連支部

後援　滿洲日報社　大阪商船會社

歐洲行郵便物
支那發は遲着

露支國交斷絶以來日本業務と歐洲間に發着する郵便物は敦賀浦鹽間船便を利用することゝなつたことは既報の通りであるが支那發着のものは歐洲發郵便物は同線により遞送されるが支那發のものは當分の內日本の媒介に依り亞米利加經由送達することになつたので多大の遲着を免れないと

森山守次氏追悼會
あす大蓮寺で

元滿洲日日新聞初代社長森山守次氏は豫て病氣の處去る二十日午後四時二十分大阪市外曾根崎阪急沿線芳正園に於て逝去したので明二十六日午後四時市內春日町大蓮寺に於て本社主催の追悼會を行ふ筈である

近く諭旨退去
問題の支社長

大連山縣通り一二四某新聞支社長長屋計三（假名）は二十四日大連署高等係に呼び出され灘警部補より種々取調べられる處あり、廿五日午前十時には奉天本店より來連した重役下野重二郎氏態々大連署に出頭、長屋の不都合に關して懇々陳謝したが、長屋は支社長の職を解かれ大連署より公序良俗を紊すものとして近く諭旨退去になる模樣である

歐洲行は浦鹽經由
每週月曜日一回

東支線に依る歐亞連絡は露支國交斷絶の結果杜絶され現在哈爾賓に立往生せる歐洲行き旅客は邦人、外人を合せて五十五、六名にも及んで居る、目下獨逸領事が之が連絡について斡旋中であるが何時埒が明くか今のところ判然せぬ狀態である、然しモスコー交通人民委員會よりの鐵道省への入電によればハバロフスク經由浦鹽モスコー間の連絡列車は平常通り運轉し居り、又敦賀浦鹽間の連絡船も定期に就航して居る由であるから歐洲行きの人々は之に據るが良いと、尚在滿者で內地まで引揚げて敦賀に出でずとも京城より淸津に出で朝鮮郵船にて浦鹽に出る方法もある、國際列車の浦鹽發着時間は

浦鹽着　月曜日　十三時
同發　同　十五時三十分

敦賀浦鹽間定期船の發着は

敦賀發　土曜日
浦鹽着　月曜日
浦鹽發　水曜日
敦賀着　金曜日

マキノ省三氏

マキノキネマの社長として日本映畫界に飛躍しつゝあつた牧野省三氏は廿五日午前一時腎臟病で逝去せる旨市內關係筋に入電があつた

日大生歡迎會

日本大學校友會では支那滿鮮視察の途明二十六日靑島より入港の大連丸にて來連する日本大學商學部及び新聞學會學生二十名の歡迎會を同日午後六時三十分より伊勢町浪速ホテルルーフに於て開催する筈で會費は三圓（當日持參の事）同校友會員は是非御出席を乞ふと、出席希望者は齋藤鷲太郎（電話四、七六五）及び內海安吉（電話四、〇五〇）兩氏方へ申込まれたいと

●●●●●●鈴木吳服店大賣出し　市內浪速町鈴木吳服店では夏物一切を現金買上げに對し廿五日は一割引、廿六日は二割引、廿七日は三割引の廉格投賣會を催すと

◇……滿鐵柔道部では昨夏野球團を組織し劍道部と對抗試合をして二九對一三で大勝し大に氣焰をあげてゐたが主將の投手山田六段が肩を痛めたので一時やめてゐたが最近陣容を整へ近く記者團に挑戰すると

◇……新台子驛夫韓致堂といふ男は去る二十二日長女が病死したので支那の慣習に從ひ高粱稈に包み犬に喰はれて成佛するやうに棄たと手柄顔に話してゐる【鐵嶺】

◇……安東沙河鎭間の土木工事に安東支那監獄の囚人約四十名を日給二十八錢で使用してゐるが成績良好であると【安東】

第貳拾貳期決算報告（自昭和四年一月一日　至同年六月三十日）　廣告

貸借對照表

資產ノ部	
諸貸出金	二、六六六、二一〇・四九
預ケ金及現金	六二二、一八九・八七
支拂承諾見返	一、五〇〇・〇〇
他店ヘ貸	三〇、八三一・五〇
假拂金及雜勘定	四四、九四八・八三
營業土地建物什器	七〇、六〇四・〇一
所有不動產及有價證劵	二六五、三四四・三六
合計	三、七〇一、六二九・〇六

負債ノ部	
資本金	二、〇〇〇、〇〇〇・〇〇
諸準備積立金	二四五、〇〇〇・〇〇
諸預リ金	一、二三八、八七一・七四
支拂未濟配當金	一七・五〇
再割引手形	五〇、〇〇〇・〇〇
支拂承諾	一、五〇〇・〇〇
假受金	一八、〇九二・五五
他店ヨリ借	一三・四三
未經過割引料及未拂利息	一〇、八三六・〇四
前期繰越金及當期純益金	一四七、二九七・八〇
合計	三、七〇一、六二九・〇六

利益金分配左ノ如シ

當期純益金	九四、九二五・一六
前期繰越金	五三、三七二・六四
合計	一四七、二九七・八〇
諸積立及滯貸準備金	一三、〇〇〇・〇〇
配當金（年八分）	八〇、〇〇〇・〇〇
後期繰越金	五四、二九七・八〇

右之通候也　株式會社大連商業銀行

平安異香（60）

葉多默太郎作　中一彌畫

陷穽（三）

「それは本當のことでございますか」

驚愕に、泣き濡れた眼を大きく見開いた幸――幸はじつと師輔の顏に眼を据ゑた。喰ひ入るやうな眼だつた。

嘘であつてくれ――と思ふ。僞りであつてくれ。徒らな脅かしであつてくれ――愕きと憤りと悲しみの中に、必死の祈りがあつた。だが幸は失望した。師輔の返答を待つまでもない、その顏色で春光が捕はれたといふのは眞實だと直覺した。同時に瞼が熱くなつて、新しい涙がはらはらと膝に落ちた。

「こたへたと見えるな娘。大分當惑してゐるやうだな。無理はない、可愛い男が遠島になつて、再度とこの世で會はれない、といふのは悲しい話だ。遠島ならまだしもだが、おぬしの首つたけの男の首が、チヨンと斬られてコロリと落ちて、泥にまみれて轉がるのは思ふても堪るまい。さうしよと思へば今夜を待つまでもなく、今の今俺が一口命令しさへすればいゝのだ遠島、打首御意のまゝだ。だが俺は無益な殺生は好まない性だ。殊に前途有爲の青年だ。助けてやりたいよだから娘、さう何時までも強情を張らずに俺の意に從ふのだ。な、いゝか。さうすりやーさうだな、おぬしのいぢらしさに免じて春光を助けてやるよ。どうだ、それでも厭かな」

師輔は文机に頰杖のまゝだ。ねつとりと絡むやうにさう云つて、灯影にうなだれた處女の横顏を見入つた。

が、まだ諦めの色が見へない。深い困惑に沈んで、思ひ惱んでゐるらしい樣子が、苦さうな息づきに窺はれるのだつた。

師輔はふと何かを思ひついたやうにニタと微笑む。

「おぬし達の年頃の娘は、よく貞操がどうのかうのと云ふものだが――」と師輔、狡猾さうな聲。「そんな事を思ふて出世を取逃がすやうなことがあつては一生の不覺だよ。貞操つて何のことだい？何が貞操なんだ？それ見ろおぬしだつて知らない。おぬしばかりでない、誰だつて知らないのだ。云つて聞かさうか、實はそんなものは男の方便なんだ。女を縛つておく口實なんだ。男は女を獨占しておきたいからさ、だからおぬし…」

言葉なかばに女が顏をあげた。何か決心したらしい樣子だ。師輔はしめたと思つた。それで言葉を切つて幸の唇の動くのを待つた。

「殿樣」

幸は眞直に灯を見つめて云つた。

「殿樣、私をお殺しなさつて下さい。そして春光樣も、あの方もお殺しなさつて」

「うぬ！」

瞬間、險惡なものが師輔の面をよぎつた。が、すぐにそれが殘忍狂暴な微笑に變ると、

「うむ、さうか。では俺の方では俺の方で、最後の手にとりかゝる。泣く喚くはおぬしの勝手。暴れるもいゝ、狂ふもいゝ。さあ始めるぞ娘、覺悟をするがよい」

狂暴な野獸は遂に牙をあらはした、師輔は遂に自分自身を狂奔する獸慾に任せた。文机を拂つて、突嗟に伸びる腕――。

「アレー」

叫んだが幸は逃げることは出來なかつた。肩へ手がかゝつたと思つた瞬間、早くも身體は抱き竦められてゐた。激しく波打つ男の胸だつた。頸に毛むじやらな太い腕が絡んでゐた。

幸は全身の血が凍つたのを覺えた。がたゞそれだけだつた。遂に知覺が薄らいで、ずんずん深みへ落ちて行く――。

「あゝ」

幸の心は叫んだ。いけない、いけない、あたしは氣絶する――知覺を失つた後のことを思ふと怖ろしい。今のうちに、今の間に、舌を嚙んで……。

師輔は己の腕にぐつたりとなつた處女の、汚れのない眞赤な唇を眺めた。

貪るやうに女を抱きすくめて――だが、その時、昏絶してゐるらしい處女の口が微に動いて、貝を並べたやうな齒並の隙間から、赤貝の身のやうな舌が押出されたのを、師輔は不思議なものに思ひながら凝視した。

映畫と演藝

杵屋佐吉師匠 八月來連演奏

長唄界の新人として歐米各地に音樂の研究旅行をなし廣く三味線を世界に紹介し、また常に新曲物に手をつけて名聲のある杵屋佐吉師匠は今秋の朝鮮博覽會の新作長唄作曲の依賴を受け來月初日京城に來るのを機會に當地の快樂其他長唄同好者有志は同師匠をはじめ松島庄三郎、杵屋勝五郎等一行十名を招聘し二日間滿鐵協和會館に於て演奏會を開催する筈で佐吉師匠は先年左團次と來連して以來五年目であると

映畫界東西

◇松竹蒲田では流行小唄「浪花小唄」を柳さく子主演で製作するマキノと競映

◇城戸蒲田撮影所長は都下一流の作詩者作曲家を招聘して音樂部を新設した

◇大河內傳次郎の次回作品は佐々木味津三原作の「謎の人形師」と內定し相手役は伏見直江

性慾 頭腦

衰退を知らぬ安全地帶

大都會の街路の織るが如き人馬の交通の危險を易々と整理するものは、かの安全地帶といふ十坪にも足らぬ場所である。

現代文明の癌たる性慾の衰退と恐るべき神經衰弱を何の苦もなく、救濟するものは、僅かに一回一錠のトツカピンである。

×

思ふに、近代人は生殖器と腦神經の疾患から離るべからざるべく運命づけられてゐる。茲に於てトツカピンの使命たるや重且大である。トツカピンが世界的に飛躍活躍せざるべからざる原因も亦茲に存してゐる。

×

毎日、毎日、下らぬことに頭を使はず、試みに五分間、吾身に立歸つて、靜思し、神經衰弱、ヒステリー、生殖機能衰退の徵候に思當らば、速刻復活を圖られよ。ウカウカ捨て置くと性慾は勿論、容貌、氣分、精力、頭腦も老衰して、早老的敗殘者となるの外なし。

×

試みに、貴下の症狀を診察し、左の徵候を少しでも自覺せらるゝならば、直ちにトツカピンを試みらるべし。服用三日にして、その力強き效果に、必ずや言外の幸福を体驗さるべし。

強精 トツカピン

生殖機能衰弱徵候

- △陰萎となつて不能狀態となる
- △早漏となつて不感狀態となる
- △早老で無精或は減少して離衰を催する
- △根氣喪失、筋肉彈力を失ふ
- △精力衰微、人生がツマラナクなる

神經衰弱徵候

- △頭內朦朧として頭痛がする
- △記憶力減退、思考力散亂する
- △眠いくせに夜分安眠不能
- △婦人はヒステリー貧血する
- △感情激し易く涙脆くなる
- △ぐづぐづの人間になり意志弱くなる

トツカピン

戸塚醫學博士推獎

藥價 三十錠 三圓　五十五錠（携帶容器付）五圓　百廿五錠（携帶容器付）十圓　三百十錠（携帶容器付）廿圓

發賣元 丁子堂藥房

東京市銀座新肴町八 振替口座東京七二二一一番 電話京橋（長）一五五一・四五四六・四七五四

大阪市西區新町通一丁目二 振替口座大阪一〇六番 電話新町長四五七番

◎全國到る處の有名藥店にあり

品切の節は發賣元へ（前金注文―送料不要 代金引換―送料實費）日立たぬやう送る

二十五日より ▼劍と笑と涙の納涼週間▲

菊池寛、橋高廣兩氏推薦武千圓懸賞一等當選の名作 京都日日、神戸兩新聞連載

劍狂亂舞

共演……河津清三郎、都賀靜子、南光明、櫻木梅子、市川婦谷、泉清子

ワーナー・ブラザース社作品 天上天下唯一品の喜劇映畫

馬車で風切る男

我等が笑殺大王 シツド・チヤツプリン君主演

原作總指揮 櫻井忠温氏 名著「肉彈」の映畫化

肉彈血笑記

岡田良子の先夫 山田隆彌主演

演藝館

原作 菊池寛　監督 溝口健二　連載 キング

二十二日 特別封切

東京行進曲

夏川靜江 瀧花久子 田中 二 （主演）

鳥羽陽之助主演 仇討斷腸錄

浪速館

臭虫藥粉

ライオン LION

LION BRAND 獅子牌臭虫藥粉 INSECT POWDER TRADEMARK YAMAHIKO

蠅・蚊・虱・蚤・蟻・滑蟲 ことに臭蟲には驚く可き卓效あり 先づ獅子牌を御使用あれ

滅蚊盤香

英國品 とてもよくおちる

メリノー洗濯粉石鹼

MELINO THE PERFECT HOUSEHOLD SOAP

洗濯用石鹼界の大王

有名なる洋品店、藥店、日用雜貨店、床屋等にて販賣して居ます

產婦人科

婦人の病は婦人の手で

女醫 永井清子

永井婦人醫院

產室完備 入院隨意

大連市若狹町四十三 電話三六六六番

耳鼻咽喉科

大連市西廣場伊勢町角

中西醫院

電話八七三三番（ハナミミ）

晴れた間も油斷のならぬ梅雨の空……

坊樣孃樣の御通學にゴム防水

引廻しを今すぐ坂本で 二圓三十錢より三圓五十錢まで

大連市信濃町四五 坂本洋服店

電話七〇二〇番 振替大連二三三一番

藥は信用したる店にて買ふと否やとにて効果に多大の差有之候

沿線其他遠隔の御住居にて御買求めに御不便の御用は弊局通信販賣部を御利用下さいませ

御出連の節は是非共御立寄の光榮に浴し度候

大連市伊勢町二十二番地

伊勢町藥局

局主藥劑師林房吉 電話六八二四番

肺病、肋膜には

眞正 獺（カワウソ）の肝（キモ）

（說明書贈呈 ニセモノ御注意）

發賣本舖 大連市榮町二 佐々木洋行 電二一三四二

愈々仁丹手離せぬ

小粒 大粒 仁丹

清凉と防疫 懷中護身藥

齒の爲に一番よい 仁丹のハミガキ

齒磨界の最高權威 仁丹の煉齒磨

日英米佛專賣品 仁丹の齒ブラシ

一家一本是非必要 仁丹の体溫計

フレーク石鹼

FLAKE For All Fine Laundering MANCHURIA SOAP M.F.G. Co. LTD.

毛糸、毛織物、絹物の洗濯に缺ぐべからざる必需品なり

（マルセル）石鹼同質の優良品にして使用至つて輕便効果極めて絶大なり

各地有名なる洋品店、化粧品店、毛糸店、藥店にあり。

滿洲石鹼株式會社

大連市信濃町岩代町角 電話六四一〇番

三根眼科醫院

407

VANITY FAIR　GINZA

御園（みその）の蕾（つぼみ）

おしろいをおちつかせる化粧下

白粉が永保ちして
汗にもくづれず
日やけふせぎ
肌が美しくなります

鉛分の無い御園白粉本舖 伊東胡蝶園

満洲日報

新手藝・誌上展覽会

第一會場
手輕に出來る新手藝
▼涼味の溢る、銀紙細工を初め、夏の生活に直ぐ役立つ一流手藝家考案の新手藝を發表！誰にでも簡單に應用出來る點が特色！

第二會場
奧樣の趣味の新手藝
▼專門家以外の趣味の奧樣の頭と手とで、出來上つた獨自の味ひを持つ新手藝を發表！藝術味豐かなその出來榮えをご覽下さい

第三會場
廢物利用の主婦の手藝
▼廢物利用であつて、しかも廢物利用らしく思はせない所に多大の苦心をした主婦の新手藝です。經濟と趣味を兼ねた新手藝！

第四會場
歐米で流行の新手藝
▼この頃の新手藝は殆ど外國から流行がはいつて來ます。新刊の外國雜誌から、特に日本人向きな小物手藝を擇んで親切に紹介

第五會場
氣の利いた賣品から
▼街を歩いたり百貨店へ行つてみたりすると、非常に氣の利いた品が見つかります。特に目についた品の作り方を詳細に公開！

第六會場
手藝材料のいろいろ
▼この頃流行する新手藝の材料と、費用とを調べたものです。材料費の研究が第一です。手藝に趣味を持つ方々の見逃せぬ記事

第七會場
衣類と附屬品の部
▼色々の動物の形になつてゐる幼兒用の食事前掛など、飛びつくような新案品です。其他最新流行品を紹介

出品目錄
出品は豐富、解説は懇切!!

- 銀紙細工とビーズ手藝……川村須賀子
- 服飾用裝飾用の造花……小幡　繁子
- フランス形手提の作方……千葉　智子
- ビーズ縫應用ピアノ掛……山田　松子
- 面白いゴンドラ織
- ワックスの瓶細工……荒川喜勢子
- クッションと夏の手提……伊東貴美子
- 風變りなパルトー作方……浅田　滋子
- テーブルかけの編み方……田邊　綾
- 趣味深い花籠の作り方……寺島やす子
- 有合せの絹で紋染長襦袢……山田　秋子
- 小布と襪下でお人形……今泉　郁江
- 玩具兼用象形手提作方……千葉　智子
- 葉巻の空箱で作つた針箱
- 蚊やり線香の箱でビーズ入れ
- 面白い毛糸刺繡……川俣須磨子
- アプリケの應用法
- 洋服かけと洗濯物入れ
- クロスステッチと刺繡
- ラフイヤのクッション
- 鏡に工夫した手提
- 亀甲紗の刺繡
- 高級婦人帽子の作方　佐藤ピアレット
- 幼兒用の食事前掛……三越子供部
- 安全腰巻の作り方……川原　歌子
- 本號表紙寫眞の洋服……三越婦人服部

特輯グラビヤ
婦人と手藝新風景
新手藝を樂しむ奧さま方とその作品とを、グラビヤ版でご紹介…

愛讀者の誌上
整容美粧座談會
美人はどうすれば出來上る？
○石鹼、白粉、水白粉、粉白粉、クリーム、化粧水、洗顏料、洗髮料等一切の使用經驗談です。○各人各種の美容祕訣の持寄り交換會です。美人になる祕訣の研究會です。ぜひご覽下さい!!

連載自傳
越えて來た道（都河主幹）
一投稿家から見出され滿九年間讀者を熱狂させた石井明昌畫伯が本社を…す迄

濱口新首相夫妻を訪ふの記（太田菊子）
高速度的スピードの組閣ぶりに人たアッと言はせた其翌日、首相夫妻との會見記

戀の浦邊粂子篇（高山雪夫）
歌劇女優を振出しに、女給からキネマスター一躍玉の輿に乗つた彼女の盛衰記

我が家の夏の自慢料理
合計卅五種!! すぐ應用のきく物ばかり!! これこそ主婦の必讀記事!!

- ●魚料理七種　●茄子料理三種
- ●鳥肉料理四種　●キャベツ料理三種
- ●胡瓜料理四種　●南瓜料理二種
- ●トマト料理三種　●漬物六種　●つくだ煮三種

- ●眞夏の流行より（增子玲）……暑い時の外出着の着付……服部式
- ●洋髮競技會の入賞髮（結ひ方六種）……賓來小次郎
- ●季節向のドゼウ料理
- ●關西式の麵類料理法（文四郎）
- ●風味よきゼリーの作方……白十字堂主
- ●汗のついた衣類の手入法（大妻コタカ）
- ●家庭遊び用具の色いろ……洋遊　顧屋
- ●男子用白服洗ひ方（吳宗四郎）
- ●秋播き野菜類の作り方……白木　正光

脚氣と足のダルさを治す法
（費用要らずで誰にでも簡單に出來るあんま術の祕傳を公開！大評判の家庭マッサージ講座）（野地繁久）

夏と子供に就ての座談會
出席者：井村　静子、阿部　清一、竹内　薫兵衛、竹内　誠代、中河　幹子、山田　眞一、佐々木　龍雄、岸邊　福雄、都河　龍、太田　菊子

夏の育兒はこれを讀んで初めて安心！難かしい夏の育兒について教育家、醫師、お母樣方十一方が痒い所へ手の屆くように懇談された、眞に到れり盡せりの記事!!

○牛乳簡易試驗法　○晝寢のさせ方　○アセモの手當法　○間食の注意　○疫痢の時の注意　○遊ばせ方と玩具等々　○林間學校に就て　○暑中休暇に就て

何は置いても本記事ばかりは、ご覽置き下さい

盛夏の家庭衞生（福井博士）
（夏負け豫防法アセモの良藥海水浴の注意等々）

漫画紀行
越後から佐渡へ
（涼しい海と文士居ながらに旅の出來る讀物）

長篇小說　**明眸禍**　菊池寬（岩田專太郎畫）

中篇小說　**三つの結婚**　畑耕一（小田富彌畫）

探偵小說　**池水莊綺譚**　甲賀三郎（田中良畫）

長篇自傳　**自畫像**　藤原義江（長谷川露二畫）

中篇小說　**誰の愛**　細田源吉

長篇　**松尾多勢子**　大倉桃郎

長篇小說　**愛の獵人**　福田正夫

淀君　（全文削除）

本號　**五十錢**（送料三錢）半年三圓廿錢　一年六圓廿錢（共送料）

東京市丸ビル三階　振替東京二九三七　**婦女界社**

髙柳保太郎將軍著
日英兩文　五色旗たふる
三六判美本百八十頁　定價金六十錢（送料四錢）

好評嘖々
本篇は五色旗仆れて南京政府の樹立された頃から約一年に亘る支那の時事問題に觸れての著者の所感を蒐めたもので、英文としてマンチュリア・デリーニウス紙上を飾り好評嘖々、論旨は公平にして私なきは既に定評あるところ、今英文の外、和文をも加へて單行上梓したから、讀者は一層の興趣を覺へるであらう。敢て識者の座右にすゝめる。

- 滿蒙觀　價五〇　送四
- 滿蒙手ほどき　價五〇　送四
- 新興支那（何とぞやは）　價五〇　送四
- 支那の步み　價一五〇　送六
- 滿蒙の情勢　價一五〇　送六
- 最新式滿蒙地圖（昭和四年版）定價金一圓　送料四錢
- 滿洲寫眞帖（昭和四年版）定價一圓五十錢　送料十錢

大連市紀伊町九十一
中日文化協會
電話三七一四一　振替大連二八五〇

最新刊
- 西比利亞から滿蒙へ　實價三圓六十七錢送料十四錢
- 娘煙術師　實價一圓五十七錢送料十錢
- 詩集　煙　實價一圓五十七錢送料八錢
- 日本少年の聲　實價一圓八十九錢送料十二錢
- 女優情史　實價一圓六十八錢送料十錢
- タゾヴエト著　外交十年史　實價二圓十錢送料十二錢
- 滿洲の地方色　實價一圓二十錢送料八錢
- 帝國之前途　實價六十八錢送料六錢
- 善き隣人　實價一圓五十七錢送料十錢
- 幕末百話　實價二圓十錢送料十四錢
- ニツル著　西洋十夜　實價一圓七十八錢送料六錢
- ナポレオン物語　實價八十九錢送料八錢
- 少年理料物語　實價九十四錢送料八錢
- 農產製造學　實價一圓五錢送料六錢
- 新ロビンソン漂流記　實價一圓三十六錢送料十四錢

最新刊
- マルクス主義批評論　實價一圓五十七錢送料六錢
- 受驗參考　答案（式化學問題解法粹）　實價一圓八十九錢送料八錢
- 英雄研究　ナポレオン秘史　實價一圓五十七錢送料八錢
- パンの作り方三十種　實價六十三錢送料四錢
- エーミル・ラスリ　判斷論　實價二圓七十三錢送料十四錢
- 天下の人物（維新の卷）　實價二圓六十二錢送料十八錢
- マグドナルド著　議會と革命　實價一圓五錢送料六錢
- ヴァルガ著　世界經濟年報　實價一圓五錢送料八錢
- 讀賣新聞社著　日本名寶物語　實價二圓十錢送料十錢
- 西條八十著　新選西條八十集　實價一圓五十七錢送料八錢
- 三浦藤作著　參考東洋教育史　實價三圓六十七錢送料十四錢
- 永島伯雄著　戀愛の神祕　實價一圓五十七錢送料四錢
- 二葉主人著　平凡　實價十錢送料二錢
- 蘇峯德富猪一郎著　第十冊　新聞記者と新聞　實價五十二錢送料四錢
- 蘇峯德富猪一郎著　土佐の勤王　實價六十三錢送料四錢
- 岸一太著　神道の批判　實價一圓七十八錢送料六錢

國際關係處理上に新に與へられた重大義務

不戰條約履行に努力

米大統領宣布式にて力說

【ワシントン特電二十四日發】本日の不戰條約宣布式にてアメリカ大統領フーヴァ氏は同條約成立の經緯を略說し規定條項を說明した後、左の不戰條約は文明諸國民の良心と理想主義とに愬ふるべく提案されたものである、同條約は國際法上新らしき手段を暗示するものであると、國際關係處理上に新しき理想を與へるものである、又戰爭の廢棄に對する本條約の威力は凡ゆる將來の國際關係、行爲に對して廣汎に感ぜられるであらうことを余は敢て豫言する、この本條約宣布の好機會と茲に努力を發揮せる同條約に對する强烈た義務觀念とに刺戟されたる我等は更に進んで凡ゆる機會を捉へて本條約履行とその中に陳述せられたる政策の進展とに努むべきであると力說した

幣原外相の宣布式祝電

【東京特電二十五日發】不戰條約宣布式に際し幣原外相は廿五日米國務長官スチムソン氏に宛左の如き祝電を發した

ケロッグ氏の命名と結びつけられたる條約がその效力を發生するに際し、余は衷心祝意を表せんと欲す、戰爭の浪費慘害を痛感し來りたる人類の覺醒を證明する本條約は國際關係に新機軸を劃するものにして、軍備縮小問題の如きも之を以て出發點となすを適當とすべし、この不戰條約が今や完全に實施さるゝに至りたるは余の最も欣懷とするところなり

英國首相、下院で海軍々縮を聲明

米國訪問は十月ごろ

【ロンドン特電二十四日發】英國首相マクドナルド氏は本日下院にて左の如く說明した

建艦中止　一九二九年度一九三〇年度の海軍計畫中今秋迄は一切の契約を結ばず、又その進捗に着手することも一切許さない

英首相渡米　余のアメリカ訪問は十月頃決行すべく、我等は軍縮案に就ては各國の平和的要求を容認することが出來、又英米兩國の海軍が偕に均衡なるべき主義にて一致してゐる

軍縮豫備會議　英米兩國が先づ軍縮に對する豫備的意見の一致を見るとは列國の間に汎く意見一致を見る豫想である、先の余とドーズ米國大使との會見の內容はワシントン會議列席國に通牒してあるから、近く豫備會議を招集し總ての國が相集つて廣汎なる協約に到達すべく試みるであらう、右協約は國際聯盟の軍縮委員會に報告されるであらう

海外兩省聯合で軍縮協議會開催

……方針に就いてもまた其の性質に於いても注目に價するものありとなし、潛水艦建造の中止はイギリスの戰爭禁止に對する新努力の方針と一致するものであると力說して居る、只保守黨機關紙モーニングポストのみは斯くも急激な首相に反對の旨を述べて居る

【東京廿五日發電】軍縮問題に關する海軍外務第一回聯合協議會は廿六日午後二時より霞ケ關海相官邸に開催先づ兩相より基礎的知識情報の交換をなす筈である

米國も軍縮を發表

巡洋艦三隻の起工中止

【ワシントン二十四日發電】米國大統領フーヴァー氏は本日左の如く巡洋艦起工中止を發表した

米國は余が英國との間に成立すべしと期待してゐる海軍々縮問題最初的協定に對し米國政府海軍工廠に於て起工準備の整つてゐる三巡洋艦が如何なる效力を有するかを研究する機會に到達するまで右巡洋艦三隻を起工せぬ事とした

米大統領歡迎聲明

海軍々縮に對し

【ワシントン特電二十四日發】英國首相マクドナルドの下院に於ける海軍軍縮の聲明はアメリカにて歡迎されアメリカ大統領フーヴァ氏も歡迎の聲明を發した

世界平和のため大なる欣び

濱口首相談

【東京二十五日發電】米國の提唱に係る不戰條約が愈全部批准寄託を了し本日を以て效力を發生することゝなつたのは世界平和の爲め人類福祉の上に慶賀に堪へぬ、願はくば參加列國は其の本領に從ひ國家政策遂行の手段としての戰爭放棄を永遠に遵守して世界平和の實を擧げんことを余は衷心より希望する

英國首相の軍縮聲明歡迎

【ロンドン廿五日發電】昨日マクドナルド首相が下院にてなした軍縮聲明に對し本日當地の朝刊新聞は一般に歡迎の辭を現はしこれはアメリカ側の友交的態度に依る旨を强調して居る、更に同氏の軍縮空文とならしめない樣誠意を以て善處せん事を希望する

北平外交團

意見を交換せず

【北平二十四日發電】本日の外交團會議では東鐵問題に關する正式の意見交換はなかつた模樣で國際交通遮斷問題に關する列國の商議はなほ多少時日を經たる後となるべくアメリカの調停又は支那の調停依賴說具體化せば日、英、佛、米の四國公使の會議招集されるであらうと

烏鐵ハルビン商業部出張所

【ハルビン特電二十五日發】當地烏鐵商業部出張所は時局のため支……

責任者として歡喜に堪へず

田中前首相談

【東京二十五日發電】不戰條約宣布式舉行されたるにつき田中前首相は語る

本日米國ホワイトハウスで嚴肅な不戰條約宣布式が行はれ氏の歷史的の國際條約が愈正式に成立するに至つた事は同條約締結の責任者であつた我輩としては一層歡喜の情に堪へない、同條約中一部の字句に就ては我國で議論はあつたが國民中一人も異論を唱ふるものが無いのは各國とも認むる處であると確信する世界各國が此の有意義な條約を……

在滿同胞諸君へ

去るに臨みて所懷を述ぶ……(上)

滿鐵總裁　山本條太郎

愈々二十六日出帆の香港丸で離滿東上する事になつた山本滿鐵總裁はその出發に先立ちて我が滿洲日報を通じ「在滿同胞諸君へ――」と題し左の如き別離の挨拶を述べた

▽――△

私は今回いよく滿鐵を辭することになつたが在職二年間、幸ひにも大過なきを得たのは全く在滿同胞諸君の深甚なる御同情と御援助に依るものと深く謝意を表すると共に、今將にこの滿洲を去らんとするに際し一言所懷を述べて在滿同胞諸君の御參考に資し、且別離の御挨拶としたいと思ふ。

私の在任中、實は成るべく多くの時日を滿洲において過ごし、出來るだけ機會を作つて、廣く且親しく諸君と膝を交へて隔意なき意見の交換をしたいと熱望して居たのであるが、何分にも社業の關係上常に用務に追はれてその意を得ず、竟に今日に至つたのは洵に申譯のないことであり、私自身としても赤顏る心殘りの多い次第である。

▽――△

併し乍ら、此間常に私の胸底を往來したものは言ふまでもなく滿蒙に於ける諸問題で、國策上あるひは人類の共同生活において緩がせにすべからざることは、凡そ機會ある每にこれを論じ、且つ緊急なるものに就いて着々その實行を急ぎ、併せて私が懷いて居たことも既に世間では周知のことゝ考へる、また在滿同胞諸君の福利增進に就いては寸刻と雖もこれを忘れたことはないが、現在に於ける在滿同胞諸氏は約二十萬人と稱せられて居り、その半數は滿鐵及び關東廳の關係者である、が、他の半數卽ち約十萬人は單獨に各種の事業に從事する一般同胞諸君であること云ふまでもない。

▽――△

而してこの十萬人の同胞諸君は自ら進んで國家の最前線に乘り出し國運發展のために奮鬪努力せられつゝある人々であるが、是等の諸君が果して此の滿洲においてその望むが如き幸福なる境地に立つて居るであらうか何うか、之れは常に自分の念頭を懸する極めて切實なる問題であつて適當の機會だにあらば大いに同胞諸君の意見を叩き、併せて私が抱懷する意見を披瀝したいと考へて居たのである。忌憚なく云へば是等在滿者中の多くの人々は滿鐵又は關東廳の關係及び其家族を主要なる消費者として各般の營業に從事しつゝある狀態であるから實際に滿蒙の資源を開拓し、直接支那人との間に商取引を行つて居る人々は寧ろ極めて少數ではないかと思はれる。

▽――△

勿論在滿同胞の生活上缺くべからざる各種の物品なり機關なりも皆に必要には相違ないのであるが、單にそれが主なる目的では所謂同胞同志の共喰的生活に過ぎないのであつて、國家が要求する滿蒙開發の使命は更に大に進取的、積極的であらねばならぬと信ずる、然るに實際上は滿蒙における同胞の經濟的進出も、まだ著しく伸長せりとは言ひ難く、そこに近年の財界不況を移して、局面の行詰りと云ふ狀態を示すに至つた。

▽――△

そこで自分としては何うにかして此の局面を打開し、滿蒙における同胞の經濟的地位を向上し、發展の機運に向はしめるやうにしなければならぬと終始頭を惱ましたのである。併しながら財界の現況は內地に於ても萎靡不振の折柄、誰かが大に滿洲に投資し、盛に產業を起すと云ふやうな企業家は容易に發見されず、さりとて政府の援助または保護を仰ぐと云ふことも財政多難の際全然之を期待することが出來ず、結局滿洲のことは滿洲それ自らに於て局面轉換の方策を樹て、以て同胞の運命を開拓する外はないと云ふ結論に到達した

▽――△

扨て然らばその方策如何と云ふ問題になるが、これは決して悲觀すべきものではない、現に我輩と して把握する範圍に就いて見るも過去二十有餘年間に尙其一部分の端緒を開いたに過ぎないのである卽ち僅に一本の鐵道を守り或は二三の既設事業を消極的に保持するだけが滿鐵本來の使命でないことはいふまでもなく、したがつて當面の對策としては、滿鐵それ自らが其の强大なる資力と機關とを以て其權益內にある有利有望なる事業を起し、或はこれを擴張することが國家經濟のためにも、在滿同胞の爲めにも、將また滿鐵それ自體の任務と利益の爲めにも、極めて當然の打算であらねばならぬとの確信を得た。

▽――△

それは中外に於ける滿鐵の地位と信用から見ても、亦滿鐵の經驗と事業の成績から見ても、少くとも我國にあつては滿鐵以外に、より優越なる有資格者は見當らない、それ故に私等の方針としては出來得る限り迅速に、そして大規模にその資本を投下して滿蒙の富源を開發し、產業の興隆を促進する、之れより外には滿洲の經濟界を振興し、滿鐵の使命を達成する建設的及合理的手段は無く、同時に又我國家經濟及在滿邦人に對して、之に優る貢獻は無いと私は堅く信じて居る、而して之れは技術上、採算上、其他凡ゆる方面に亙り既往二ケ年間に於て、實は十二分の成算を得て居るのである。

支那側の諒解を得てゆふベメ總領事歸國

莫斯科政府と詳細打合のため

平和的解決の妥協點發見か

【ハルビン特電二十五日發】メリニコフ勞農總領事は長春にて張學良氏の意を體し張作相氏との會見を了し二十四日二十二時五分歸哈したが、愈々二十五日十八時三十五分發列車で歸莫の途にいた、しかして支那側は今までその出發を阻止してゐた爲め氏の歸國を許可したことから察すれば長春に於けるメリニコフ、張作相兩氏の會見が傳へらるゝが如く不調に終つたものでなく、むしろ今回の事件を平和的に解決し得べき何等かの妥協點を發見した爲めさらに本國政府と詳細打合せをなすべく支那側の諒解を得て出發するものであらうと見られてゐる

浦鹽駐在支那領事の釋放を交換條件に

メリニコフ總領事を釋放す

【武田特派員ハルビン二十五日發】メリニコフ氏の離哈により當地には緊張の色が漂ひ、これと同時に北滿ホテルに滯留を餘儀なくさせられてゐた歐洲行旅客三十名もメ氏と同行の便を與へられ準備を急いでゐる、メ氏の離哈につき支那側要人は昨日張作相氏との會見に於てウラジオ駐在支那領事の監禁を解くことを交換條件として話がついたものであるが、これによつて兩國が直に交戰するが如きとは絕對にないのみならず、メ氏のモスクワ歸着により平和的解決の交渉は促進されるであらうと語つた、なほ發車時刻は豫定の如く十八時三十五分である

前赤系從業員の總罷業

メ氏の引揚げで氣遣はる

【武田特派員ハルビン二十五日發】メリニコフ總領事の引揚は決定的と見られ既にいちく部屋を借り切つたが、氏の引揚げと共に憂慮されるは前赤系從業員の總罷業である、今日まで假令監禁狀態にありとするも一國の代表としてしかも大臣級の幹部の一員であるメ氏が駐屯してゐた以上その保護を期待し得たのであつて愈引揚げてしまへば全く中心を失ふ形となる爲に總罷業を行ひ列車を運轉したまゝ引揚げはせぬかと見られ、二十三日メ氏の引揚げが傳へられた時にも相當濃厚にその徵候が現はれた事實もあり、支那側は全線にわたり嚴重な警戒をなし萬一にそなへてゐる、尙支那側はメ氏に對し歸國の査證を發行したものゝ如くこれは張作相氏との會見に依て決定したものである

メ氏一切外來者と會見を避く

【武田特派員ハルビン二十五日發】昨夜歸哈したメリニコフ氏は、人目を避け巡警に護られて秘に總領事館に入つたが、その後訪へども一切外來者との會見を避けをり、支那巡警の警戒は依然として嚴重を極めてゐる、東鐵理事チルキン氏外勞農部は既に當地引揚のため各方面を歷訪挨拶したが、這はメリニコフ氏と共に歸國するものと觀られてゐる

又復滿洲里に於る露支交戰說傳はる

【ハルビン特電二十五日發】廿五日市中に再び滿洲里を露軍が占領したとの取沙汰たかまり非常のセンセーションを起したが、事實は午前七時から二十分間にわたり露軍飛行機十六臺が滿洲里國境の上空を飛翔すると共に同時刻に露國砲兵は國境附近露領で一時間にわたり國境に平行して野砲の實彈射擊を行つたのを何者かゞ誇張して傳へたものである

南京軍官學校見學團

へその安全をはかつてゐる

【奉天特電二十五日發】南京中央軍官學校政治科教官學生東北視察團一行三十六名は二十四日朝九時着奉、商埠地大和旅館へ投宿張學良氏のお膝がかりで特別待遇を受けつゝあるが、一行の視察目的は東北四省の軍事、黨務、政治、外交社會狀態及び鐵道問題研究にあると云ふが本二十五日は航空隊、二十六日兵工廠、二十七、八兩日講武堂、近郊軍隊參觀後東支鐵道問題發生のため北滿旅行を中止して長春吉林視察後旅順大連視察に向ふことになつた

……部艦の手入を逃れ去る二十日以來自發的に閉鎖し表面事務所並に營業一切の事務を從來から關係のある川崎汽船に引續き、ベレズニヤコフ以下の諸員も同汽船の臨時社員となつて事務を取りウラジオからの到着貨物全部川崎名儀に書き替……

たゞ感激に滿ちた驛頭の劇的別離

「ウラー」を叫ぶ人なく無言目送裡にメ總領事哈市を去る

◇…【武田特派員ハルビン二十五日發】その一擧手一投足に至るまで全世界注視の的となつてゐたメリニコフ氏は遂に本日十八時卅五分發列車を以て本國に引揚た、此日のハルビン驛構內取締は驛頭の警戒ゆるやかなるに反し極度の緊張ぶりを示した。

◇…平常は前日に發賣せる一般見送り人の入場券を本日に限り發賣せざるのみならず、近隣驛までの短距離乘車券をも發賣せず特に豫め許された關係近親者か外交團新聞記者かにあらざる限り絕對入場せしめなかつたが、流石幾萬居留民の上に君臨してゐた一國代表の而も國交斷絕中に於ける歸國だけに列車の橫づけされた地方ホームは身動きのならぬ雜沓を極めた。

◇…問題の人メリニコフ氏は發車約一時間前二名の秘書及び多數家族從者を從へ久しく監禁狀態に置かれた吉林街の總領事館を出で十臺の自動車を連ねて驛に到り、豫め用意された列車第二輛目の二千三百六十五號車に入つた、これと相前後して交涉員蔡運升氏は列車中に見送り約二十分間にわたつて人をさけ最後の密談を交し、わが八木總領事また昨日來微恙臥床中であつたが特に病をおかして見送つた。

◇…見送りの時迫るやあたふたと副理事長チルキン氏がかけつけメ氏の前に連結した一等車に入り昇降口と云はず車窓といはず挨拶握手に名殘りを惜むものゝ引きも切らず、泣くもの騷ぐもの雜沓を他所に限り無き別離の情はホームに溢れた。

◇…メ氏は一分リンの鳴り響くと共に中央の窓口から憔悴し切つた顏玉子色のワイシャツ姿を現はし悲痛の眼を以て應接し嗚咽はソコゝに起りウラーを叫ぶ人とてもなく無言目送の中にたゞ手を打ち振るのみ列車は西を差して軋り出した。

哈市の支那側要人重要會議を開く

南京、奉天側の軟化せるため新に對露方針を協議

【武田特派員ハルビン廿五日發】メリニコフ、張作相兩氏會見の後をうけて東鐵支那側幹部は極度の緊張を示し、今朝珍しくも八時といふに特別區長官張景惠氏の東鐵管理局前の公館へは呂榮寰督辦を初め齊交涉員、范其光、李紹庚等の巨頭が車を連ねて參集し門前は自動車の列を作つて重要會議を開催した、會議は九時に開かれたが正午に至るも終了しない、議題は云ふ迄もなく蔡運升氏が昨日張作相氏から與へられた指令に基くもので、メリニコフ氏以下ロシヤ側要人の歸國問題よりも國民政府及び奉天側が最初の意氣込に反して急に軟化したに基因するハルビン支那側幹部の態度を決定すべき重要會議と見られその成行を注視されてゐる、會議中刺を通じたる記者に對し張景惠、呂榮寰兩氏は共に代人を以て「お察し下さい、お目に懸れぬ理由は遠からず判明します」と傳へ面會を謝絕した

御挨拶

此度小生滿洲日報社長を辭任仕候に就いては在職約二個年の間大方各位より公私共に多大の御懇情を辱うしたる段感荷措く能はざる所に候將來も不相變御交誼を蒙り度御挨拶まで如斯御座候　敬白

追而行李匆忙取纏め出發のことゝ相成一々拜顏の機會を不得乍失禮以紙上御寬恕を希上候

昭和四年七月二十六日

山崎猛

東京千駄谷原宿三〇七

辱知各位

山本總裁けふ愈よ離連

山本滿鐵總裁は愈今二十六日午前十時出帆の香港丸にて離連東上の途につくが隨行者として齋藤理事、山崎文書課長、篠原秘書が同道する筈の處、山崎文書課長は事務の關係上一便遲れて二十九日出帆のあめりか丸にて東上する事に變更決定した、しかし總裁一行は大阪、神戶方面に宿泊する豫定となつてゐるので東京の場合は文書課長も總裁と同時になる模樣である、尙總裁見送りは社員として出來るだけ盛大ならしむべく三隻のランチを港外まで仕立て同ランチには樂隊を乘込ませる、斯く樂隊まで入れて行を盛んにする社長の惜別の情切なるを物語るもので滿鐵創始以來曾てないことであると

山崎代議士

廿六日離連す

前滿洲日報社長山崎猛氏は廿六日出帆香港丸にて東上の筈である、尙同氏と共に退社して上京する人々は八月上旬乃至中旬の間に相前後して離連の豫定である

波斯ル族叛亂

【テヘラン二十四日發電】當地に達した報によれば波斯の內亂でル一ル族叛軍に投じ政府軍と會戰した結果政府軍は約一千名の戰死者を出したと

Z號試驗飛行

【フリードリッヒハーフエン二十五日發電】ツエツペリン伯號飛行船は廿日十二時間の試驗飛行をなした後新しいモーターを取りつけ更に試驗飛行二時間行つた

人事

▲千秋寬氏(鞍山製鐵所長)廿五日二十時三十分着列車にて來連ヤマトホテルへ

▲鈴木二郎氏(奉天鐵道事務所長)同上

▲横堀治三郎氏(政友會代議士)同上

▲長崎精男氏(和歌山高商助教授)同上

帝政復活運動の白露人十六名銃殺さる

滿洲より國境を越え露領に侵入

ハバロフスクにて

【モスクワ二十四日發電】ハバロフスクよりの公報によれば十六名の白露人が帝政復活運動及び各種の反勞農武力運動に參加する爲め滿洲より國境を越え露領に侵入した廉でロシア政府秘密探偵の手で銃殺されたと

支那當局と聯絡共同動作の疑ひ

【モスクワ特電二十四日發】白露人十六名銃殺に關するハバロフスクよりの後報の內容左の如し

最近六週間に亙り數回の武裝せる白系露人團は支那官憲の默認の下に國境を突破しソウエート領土內の鐵橋や軍需品倉庫等の破壞を企て其他種々なる暴行を計畫したもので、右の行動はすべて國家の安寧を攪亂せんがためにソウエート領域に恐るべき流血事態か實現せしめんとして目論まれたものである、國境突破の行はれたのは六月十二日、二十二日、七月二十二日の三回戰何れも夜陰を窺つて數個所から侵入し來つた、その同勢十六名はすべてコルチャツク將軍・セミョノフ將軍その他白露軍の將校たりしもので更に右の外最近に急行して同志に加はつた三名の白露系巨頭もをり彼等は反ソウエート軍を組織するためやつて來たもので、ナザロフ氏を首領に仰いでをりナザロフ氏は支那當局と充分なる聯絡をとり共同動作をとつてゐるといはれてゐるものである

安樂椅子

關東廳には現在長官專用の自動車を始め內務、警務兩局長用に財務部長と共用で合計九臺あり、新日內閣の緊縮方針を遵守するなら三臺までに削除出來るといふ▲然し警察署の自動車を全部廢止すれば裝らか財源の緊縮になるだらうが、犯人を喜ばせる譯にも行くまい▲滿鐵總裁の月給が千二百圓と書いたのは誤りで實は之より多いさうだ、今まで知らなかつた山本氏に征原秘書役が殊更少額に報告したやうに誤解されるとお氣の毒だから此に訂正して置く

本日廳報を添ふ

滿日地方版

奉天

四十餘名がお嫁に行く
自働式電話開通で辭めた交換姫たち

奉天郵便局における自働式電話開通と共に永年電話の交換事務に携はつてゐた百卅五名の交換手は不必要となり從つて全部お拂箱にされる譯であるが、自働式電話開通後も市外その他に事務員を要するので百卅五名の中希望者を採用することゝなつた、しかしこの機會に結婚するもの又は事務をやめて內地に引揚げるもの合計四十七名もあり、故に事務希望者は八十八名で今度は却つて不足を感ずる狀態に陥つた、そして四十七名中には姉妹揃つて花嫁になると云ふ芽出度いものもある、なほこれまで克己精勵よく事務に携はつた人に對しては自働式電話開通を機會に表彰式を行ふことゝなつたが多分八月上旬にならうと

電氣展を開催
二十六日から五日間

南滿電氣奉天支店では一般電氣智識普及のため廿六日から五日間每日午前九時から午後十時まで大々的に電氣展覽會を開催することゝなつたが、今回は最初の試みであり且つ奉天に見られぬ電氣に關する各種の材料が陳列される筈で一般から非常に期待されてゐるが、陳列品の主なるものは左の通りで、入口には送電線の鐵塔二本に裝飾をこらし內部は十室に分つ

第一室 照明の智識に關する說明
第二室 新式器具展覽會同賣をなす市中各電氣商店からも各種出品あり
第三室 西洋間の應接兼居間の模型同室には電氣寫眞の設備あり
第四室 寢室の模型
第五室 炊事場の模型
第六室 レントゲン醫療器
第七室 中央廣間 舞臺照明の模型、奉天市街夜景の模型、電氣科學を說明する模型、自働交換臺の模型、水力及び火力發電所の模型
第八室 東京電氣照明に關する出品
第九室 アイスクリーム、菓子の實演同室では該品實費提供
第十室 休憩室

大相撲
千秋樂勝負

日本大相撲常の花一行の千秋樂は前日に比し更に人出多く大入滿員の盛況を呈した、中入後の勝負左の通りで一行は廿四日夜奉天を引揚げ鞍山に向つた

勝	負
綾櫻	栃の森
蘇の里	常盤野
出羽ケ嶽	大島
常陸島	高の花
武藏山	常陸嶽
天龍	若常陸
和歌島	新海
外ケ濱	玉碇
三役	
信夫山	若葉山
常陸岩	山錦
常の花	大の里

旅順スケッチ (四)
河野青陶

博物館の人氣物で旅順きつての水の達人

寸暇もなき鮮かなクロウル(背泳)の多忙さには氣の毒さをむしろ感じる

この子身體に似合はぬ象の樣な泣き聲をする

ご覽なさい、何と可愛い、そして凉しい寫眞ではありませんか、これは熊岳城溫泉に聚落してゐるたくさんの團體の內熊岳城小學校の一組ですが、いま朝のお勉强を濟まして彼等のお庭に飛込んで來たところです、どの子供も色黑々となつて水を跳飛したりお友達に戯れたり砂地を掘つたりしてゐます、そして時々彼等の樂しい溫泉聚落の歌がさんさんたる眞夏の陽光を搖かして凉しい風に送られてきます

溫泉聚落の歌

一、川面を渡る夏の風、岸邊の柳影凉し、流るゝ水の淸らかに、嬉しきこの地熊岳城

二、朝、夕べに湯あみして、川瀨をかける面白さ、岸邊並木の夕凉み、樂しや我等の溫泉聚落

神社問題判決
來る卅一日言渡

この程總領事館に告訴提起中であつた太淸湖神社問題の第一回民事公判は廿四日午前十時から同館法廷に於て開廷され、來る卅一日判決言渡しをなす筈で目下反對者側に對し業務妨害を以て警察の手で取調べ中である

虐待されて家出した二人の女

兩親なく叔母に當る身賴の許に厄介となつてゐたが、その虐待に堪へかね若勢するなら滿洲まで行つて共に稼ぎ少しなりとも恩返しをしやうと堅い決心をなし來奉した從姉妹同志の年若い二人の女性がゐる、その一人は長崎縣生れ山本千代子假名(二〇)今一人は小田敏子假名(一七)と稱し、兩人とも平壤に來てゐる時敏子は叔母が料理店を開業してゐる關係上酌婦を迫られ身の不遇をかこつてゐる折柄、千代子はその叔母が餘に有福でないため色々虐待され遂に敏子に同情し互に打ち解けた身の上相談に涙ぐましい覺悟は定められ、共に平壤の叔母の許を無斷家出し十八日安東まで來り安東署でその由を打ち明けた處、安東署でも大に同情し一切の解決は同署でなすことゝなり兩人は喜び勇んで廿日奉天に來たものであるが、奉天でも大に之に同情する人あり仲介の勞をとつて某旅館に備はることゝなつた

奉警軍大勝
熊岳城實習生との劍道試合

奉天警察署對熊岳城農業實習所生の對抗劍道試合は廿四日午前七時から奉天署演武館に於て擧行されたが、兩軍とも善戰したが、結局奉警軍は廿三對十七で不戰二組を殘し大勝した

步兵市街演習

松井師團長の隨時檢閱に係る我奉天步兵第卅三聯隊の奉天市街演習は廿四日午前六時から一時間に亘つて行はれ千代田公園に於て講評

人事

▲松井第十六師團長 廿四日來奉
▲岩井少將 二十四日來奉
▲乾奉天署長 廿四日歸奉

運轉手の試驗

奉天署では來る廿九日午前九時から自動車運轉手の試驗を行ふことゝなつたが、受驗者は日本人九名支那人十名露人五名合計廿四名であると

があつた

蚯牛哨に馬賊

蚯牛哨驛を南東に距る六支里の地點にある支那部落に廿三日午前三時五十分頃數名の馬賊襲撃し劉某方を燒き拂つて逃走した、原因は劉に對する何等かの遺恨らしいと

熊岳城

小學童溫泉聚落成績極めて良好

滿鐵沿線各小學校中の虛弱兒童として特に選ばれて保健訓養の爲め集つた溫泉聚落兒童一同は旣に聚落期間の半を過ぎた今日、虛弱そうに見えた兒童も砂浴、水浴、溫浴の結果と適當の慰安を與ふる精神保養との結果が頗る快活に身體も日燒けして丈夫になつてる樣だ、彼等可憐の兒童等の口より木蔭のベンチに戯れながら樂しき我等の溫泉聚落の歌が凉しく洩れてくる

鐵嶺

鐵道復舊工事に
保線區員の大努力

亂石山附近の水害は旣報の如く列車を停むるに至り二十二日應急工事の結果下り線のみを使用單線運行により辛ふじて上下列車の運行を見てゐたが、鐵嶺保線區では磯谷區長が總指揮となり全員を督して現場の復舊を急いでゐたが何分にも一面の泥海であり東部から流れる水勢は烈しく盛んに上りを洗ふので工事の如くならず、何れも野營と食料の必需品を携行疲れたる者は眠り癒えたる者は働くといふ眞に晝夜兼行の努力を續け、磯谷氏は全員指揮の爲め全く不眠不休涙ぐましいまでに全力を盡した結果、二十四日午後二時二十二列車より上り線の運行を開始するに到り全く復舊したが、連日の工事に磯谷區長の努力振りは筆舌に及ばず近親者は何れも其絕倫なる精力を嘆賞した

自働警鈴設置
滿鐵社宅に

當地滿鐵社宅では今回盜難豫防の爲め自働警報器を社宅係から配給設備する事となり二十四日三十五戶を取付けたが、成績によつて全部に備へ付ける筈であると、此警報器は扉の開閉每に自働的に鈴が鳴り響く裝置になつてゐる

聚落兒童歸る

星ケ浦海濱聚落に參加した鐵嶺小學の兒童は二十四日十時半着列車で何れも元氣よく歸鐵し、久し振りに出迎への父兄を見て喜び眞黑な顏に白い齒を見せてゐた

店員指導講演

滿鐵商工課主催井關教授の在滿邦商經營直接指導は各地に亘つて實施せられ、指導班は本月二十五日

來京出發渡滿の由なるが、鐵嶺には美川多三郎氏來鐵し八月二十四日より廿八日まで(中一日休み)四日間每日二軒宛を指導するに決定、二十九日は店員指導の講演會を催ふすと

鐵ホ移轉新築

淋れ行く居留地は年々益々居住邦人の轉出を見つゝあるが、又復由緖深く例へ居留地に邦人の人影が無くなつても引揚ぬと頑張つてゐた鐵嶺ホテルが移り行く世相には抗し得ず、加えて二十有餘年の歷史ある建物も老朽となり改築の急に迫られたので當主中野氏も愈居留地に見限をつけ施設の完備した附屬地移轉の肚を決め、物色の結果五條通元淸水病院の跡に移轉と決定したといふ、同病院跡は目下警察寮修繕の爲め獨身者が居住せるを以て警察寮の改修終ると共に移轉する模樣であれば多分九月下旬頃にならう

疫痢で死亡

廿二日疫痢の爲め入院した當地機關區宿舍日色智惠子(八つ)は二十三日遂に死亡したる由、鐵嶺では疫痢の死亡者二名子を持つ親達は注意が肝要

庄野巡査轉任

鐵嶺警察署庄野文雄巡査は今回旅順警察署に轉任二十四日出發赴任した

開原

淸河流域の鮮農洪水の災禍甚し
家屋流失し食糧品缺乏 附屬地鮮人救護に奔走

去る十六日豪雨の爲め淸河及び其他諸河川共增水氾濫の爲め同流域の水田事業に從事せる鮮人等は家屋倒壞流失し漸く身を以て高地へ避難し居るが旺哆驛東の如きは十四戶全部倒壞流失し附近の墓地が漸く水面より浮び出でゐるを見て之に一同避難し、安平寨等にて雨露を凌ぎ居たるが、第二回目の出水にて遂に此墓地も沒するまで水に浸る事となり小兒老人等三十餘名を支那部落に送り一、二室を賃借して起臥せしめ、他の壯者四十餘名は尙同墓地にて日を送り居るも食料缺乏飢餓に瀕しつゝありとの情報に接せる當屬地居住鮮人有志等は天候定まらざる今日人命に關する事なれば打捨て置き難しと、夫々

義金

を醵出し慰問團を組織し二十一日食料品を調へ同地慰問に向ひたるが、道路水中に沒し水は胸の邊まであり聞きしにまさる慘狀にて慰問團は直に支那部落に交涉間借りして避難せしむる事とし、二十二日歸來し、二十三日は鐵道西部落を慰問したるが此處も亦五戶全部流失し悲慘の狀態であつた、二十四日は開原城東門外部落を慰問せるが此處亦九戶倒壞流失し慘狀目もあてられずと、猶小九社扶餘村等淸河流域一帶に亘り浸水倒壞流失等の厄を蒙らざる地方なき模樣なれば、引續き各地を慰問し當面の救護に奔命しつゝある、尙被害地一帶は今尙滔々と

水勢

強く流れ農作物は稍高きは流失低きは埋沒し、今秋收穫の見込みもなく明年收穫期まで如何にして生活すべきかについて被害農民一同は生きた心持もなく悲嘆に暮れて居ると

街路照明竣成

旣報せる掏鹿大街鮮銀角より正隆角までと開原大街正隆角より東洋街交叉點までの街路照明工事はブラケツトの取り付を終り愈竣成一兩日中には夜の散步が明るくなり圓形廣場の夜店への人足も一層賑はしくなるであらう

糞便汲取り澁滯

開原衞生係にては本春以來市內各戶の糞便及び汚水汲取りに大改革をなしたが、連日の降雨のため作業澁滯し運搬道路不良の爲め能率上らず、加ふるに雨水の便所に浸入する個所等あり、平時よりは非常に多量を運搬すべき必要あり人夫を督勵しつゝあるも降雨の爲め澁滯勝ちにて苦慮しつゝあると

海濱聚落兒童歸開

開原小學校の海濱聚落兒童二十六名は夏家河子に一週間の樂しい海濱生活を終へ、三好野田兩先生に件はれ色黑々と達者な笑を浮べて二十四日歸開した

今日の案內(廿六日)

◇宮森教授講演會 滿鐵主催の宮森東大教授講演會は午後七時半より小學校講堂に於て開催す演題は「芝居の觀方」入場無料多數の來場を望むと

◇河合の出張廉賣 お馴染の旣成洋服廉賣大連河合商會は本日から二日間商品陳列館で夏物最終の投賣をすると

鞍山

氏子總代會

二十五日午後一時より地方事務所に於て氏子總代會を開き雅樂部設置規約其の他の件に付き種々協議した

在郷軍人會映寫會

在郷軍人會鞍山分會では二十七、八の兩日午後七時三十分より中學校講堂に於て活動寫眞會を開催すると其プログラムは左の如し

御大禮大觀兵式、雨中の御親閱全國大會及御大禮觀艦式、南滿洲鐵道の守備三卷、高松宮樣二卷

輸入組合員の貯金積立開始

旣報した鞍山輸入組合の商團員は愈八月一日より積立會を開催し貯金すると

菓子商組合總會

鞍山菓子商組合總會は二十三日午後七時より赤城町八雲堂川上萬太郞氏方に於て開催し役員の改選及定款の削除增補を行ひ其他種々協議したが會長小原文五郞副會長保田鹿之助會計加藤政人の三氏再當選した

公主嶺

ピストル密賣

公主嶺市內市場町三丁目無職牛瑞麟(二七)に對し拳銃密賣の風評が高まつたので、當署勤務古田刑事は油斷なく彼の擧動に注意中之れが眞相を突止めたので、去る十七日午前七時臨檢家宅搜索を行ひ隱匿しあつたモーゼル拳銃五挺、コールト拳銃三挺、彈丸、四百九十五發と獨逸式長銃彈丸百六十五發及阿片等を押收本署に引致取調べたところ、彼は本月七日及十二日の二回に亘りモーゼル拳銃一挺、彈丸百發付を現大洋百四十五圓で密賣したことが判明した、然し改悛の情顯著と認められ嚴重に戒告の上釋放された、主犯者未檢擧の谷之身は銃器の密賣常習となし滿鐵列車就ボーイ郭玉田と連絡をとり密運搬をなしつゝあることを自白したと

表沙汰となつた支那官憲の啀合
董旅團長の身邊危し

旣報警察職權の蹂躪と軍部職權侵害とで公主嶺公安分局長と騎兵第一旅第七團長との職權爭ひの結果、懷德縣公安局長の出馬となり當時の實狀を調查の上團長の不法行爲を難詰し、之れが裁決を奉天公安管理局に仰がんと强硬談判を開始したので、流石に傲慢の董團長も立場となつたのを悟り非行を陳謝し商務會等が仲裁役となり問題を惹起した平康裡に於て和解の宴を開催關係者を招しお茶を濁さんとしたのであるが、折惡く各地を巡察中の奉天公安管理局長高及同省政府諮議吏治調查員原宗翰、同省政府諮議懷德縣康平四縣調查員向宸寰の三氏はこの紛糾事件を探知し來公、念入りに調查を遂げ省政府

公陵雜信

夏枯に際し各方面の椅子に動搖を來すであらふといふ杞憂と緊縮氣分が橫溢してゐる爲に當市の花柳界は甚だ寂寥▲青木署長の榮轉に弓道部、筆劍會、官民合同、署員其他の送別宴會に酒責の體とあつた▲京の家の營業方針は一流の客筋を專門に待合式に建設したので十名以上の宴會が出來ぬので今回後庭に淸楚な宴會座敷を增築おつな調理と美形の斡旋で改善勉强すと▲農事試驗場の作況を聞くに降雨量が多く收穫が遲れるのでこれ以上の雨はいらぬと▲惡疫流行に妨げられ水泳プールの蓋があかず河童連失望のところ二十四日より蓋をあけた▲警察軍對地方事務所軍との野球戰は二十三日午後三時半より公園のグラウンドに開戰頗る元氣な試合を見せた▲公興行と

營口

省政府邊業銀行分號を設置

遼寧省政府では邊業銀行の業務を擴張することゝなり當地にその分號を設置することに決し、當分の間當地官銀號分號內に置くことゝなり、主任は元厚發合支配人であつた李翰三氏が之に充たることゝなつた

滿日五人拔戰
大連將棋聯盟特選

(藤田君二回勝二回目)
(七八ノ一)平手 先番初段▲藤田德藏 初段△澤田賢太

	九	八	七	六	五	四	三	二	一
一	△香	△桂						△桂	△香
二		△王	△銀	△角	馬				
三		△歩	△歩	△金					△歩
四	△歩			歩		△銀	△歩		
五				桂	歩	△金			
六	歩		歩				歩		歩
七		歩	銀	金	△歩	歩			
八			玉		飛				
九	香	桂		金					△龍

(一手番澤田君)▽ ▲藤田持駒銀步二
(盤面以下の手順)

▲六八飛△六四金▲六二馬△七七桂▲同金△七一銀▲六四飛△六三步▲七一馬△同玉▲五一銀△六一香▲六八飛△五八步ナル▲同飛△五三銀

戰の跡
三段 宮本金三

「孔子曰く」「容貌を以つて人を採る我之を子羽に失す」……と之れと同一の意味で將棋でも形だけ見て其全般を計ると飛んでもない失敗を演ずるものである其一番近い例が昨日の最終着手澤田君が五七步と打つて飛を追つた手段の如きに適用する事が出來る、形の上から見ると此飛を攻めないと勝負にならない樣な氣分が起る、けれ共今日の第一手を見て戴きたい其及ぶ處が如何に深いかを……。

◇ ◇

前述の通り藤田君は得たりと計り六八飛と互彈を敵陣に向けた此處で譜の通り行かず、六三步と成る手順があり想で其手段は惡い……と云ふのは六三步なる六九龍、同玉、五八步なるで以下自玉に危險が迫る仍つて譜の手順は至當と言ひ得るでせう。六四金と敵步を拂ひ六二馬と角を利して大勢漸く澤田君に不利の樣です、と云つて此儘ではお尻から角を打たれて其れまでになる、七七桂となり唯一の凌ぎ駒として銀を得て七一から馬に當て打つ六四飛、六三步と防いだ時七一馬より七二馬の方勝が早い同玉なら六一銀で不可、同銀、五一銀で面白いと思ひます五一銀から五三銀までの手段は理詰めで最も安全第一の着手でした。

撫順

撫順滿俱軍優勝して
二十四日凱旋

去る廿一日から三日間長春グラウンドに於て行はれた州外野球大會に連戰連勝して榮ある優勝旗を獲ち得たる撫順滿俱は二十四日十一時の列車にて意氣揚々として歸撫した、驛頭には丁度晝休みの事とて岡、淸水の兩監督及び野球部聯盟會の連中堵をなす如き出迎へ人があつた、一同は直に中央事務所食堂ビールの滿をひいて勝戰を祝つたが岩田主將は語る

對四平街との第一回戰は全く問題でなかつた、第二回目の奉天との戰は何しろ强豪水原が加つてゐるのと從來の體驗で初めから禪をしめてかゝつた結果、土持投手の得意のスローボールの調子の狂つたのを目掛けてタムリーヒツトを十一本かつ飛したのと敵矢續出の爲十A對零と言ふ意外の記錄で大勝した、其勞で長春を六對四で破つた時は全く重荷を卸した感がした

大阪九州合併相撲興行

二十五日から電燈部橫で大阪、九州合併大相撲が佐藤仁十郎氏の勸進元で行はれてゐるが頗る景氣がいゝ午後六時から十時まで好角家連は久し振で相撲らしい相撲が見られるので大喜びである

煤都餘燼

× 撫順の十數年來の特產市場としての生命は種々なる意味で危機に瀕してゐた

× 是を救ふものは今回實施に決定した搭連への滿鐵有蓋車廻入と混保制の實施以外ない

× 由來搭連は奧地貨物の集注地であると共に是等背後地への日常必需品の重要なる中繼地である

× 以上の見地から搭連は撫順と奉京方面との日支兩住民の經濟的結合を計る唯一の楔であつて

× その重要なる地に有蓋車の廻入、混保制實施に慾力したる中島正明翁の功は偉大なるものである

哈爾賓

鐵道線路破壞さる
勞農工夫陰謀

二十二日朝ボクラニーチナヤから哈爾賓へ向つて四露里の地點においてソウエート勞働者の陰謀により鐵道線路が破壞されたが直に修繕列車の運行には支障なく犯人も逮捕されたと

民會長高橋氏當選

當地邦人居留民會の會長選擧は二十三日午後三時から民會で擧行され、出席議員九名の互選の結果北滿電氣高橋貢一氏八票の多數をもつて當選した

安東

附屬地一帶に傳染病猖獗 二十三日は五名發生

安東縣附屬地一帶では近時傳染病猖獗を極め殆と毎日の如く二人三人の患者があり、本月に入つてから赤痢二十五名を筆頭に猩紅熱三人、腸チブス二名、流行性腦脊髓一名都合三十二人を數へ昨今尚も蔓延しつゝあるが、二十三日は左記の通り一時に五名も發患した

△赤痢山手町渡邊ケイ(三歲)七番通七丁目川端源也(四歲)山手町滿鐵社宅岩田勉(十歲)△猩紅熱七道溝商業家族許增兒(十歲)同許居兒(七歲)

學校組合協議

新義州學校組合の初顏合せは二十三日午後一時から公會堂に於て開會、伊藤府尹の挨拶及び組合の現況報告あり議席の抽籤後會計檢查員には連記投票の結果永井、大館野原氏當選し第十七號昭和三年度決算認定の件を可決同五時閉會したが、當日は初會議にも似ず委員の出席遲く定刻を後れること四十分餘の開會で早くも時間勵行が問題になつてゐた

クレー射撃會

安東職友會では廿八日午前八時から六道溝射撃場に於て、クレー射撃大會を開催する由で、既に撫順、奉天各職友會へも夫々案內狀を發したが、優勝者には滿洲鑛山藥會社寄贈のカップを初め入賞者にはメタル其他を贈呈すると

運友勝つ スポンヂ戰

全安東スポンヂビー組安東取引所對滿鐵運友クラブ決勝戰は二十二日午後四時三十分より驛前グラウンドにて田宮(球)安田(壘)兩氏審判の下に開始されたが、當日は絕好の野球日和にて兩側スタンドは觀衆を以て埋められ安東取引所側は大旗小旗を持出し盛んなる應援振を見せ、試合は終始エキサイトして形勢逆轉する事四度運友クラブ五回裏に敵失に貴重なる一點を得其の儘最後迄押して行き、遂に八A對七にて運友クラブの勝に歸し吉田運友主將は川俣安東新報社長より優勝カップを授與され安東新報の萬歲を三唱して連日に亘る全安東スポンヂ大會も幕を閉じた、時午後六時過ぎ當日の成績及びメンバー次の通り

(運友)—原木　田田本田藤川
桑岩林奧松山植佐石
486592731

(取安)—田村林　井田內村谷
羽中小北坂國小中紙
259378146

運友クラブ　20501 0A　8
回數　一二三四五六七　計
安東取引所　0120400　7

旅館組合の表彰式 二十三日擧行

安東旅館組合に於ては二十三日午前九時より京東警察署にて永年勤續の雇傭人表彰式を行ひ表彰狀及び金一封を授與した、因に表彰人名及び勤續年限左の通り

年限	旅館名	氏名
十年	元寶館	原田幸太郎
同	富久壽美	王作吉
五年	元寶館	中村ツヤ
同	同	藤川芳太郎
同	同	李鉄
同	安東ホテル	神田武彥
同	安東館	李玉堂

助役に記念品

前安東驛助役山澤靜一氏に對する記念品贈呈に關して大野幸作、廣田光雄、大津軍雄三氏の發起にて過般來より募集し北角時計店にて丸敍附三鞭酒カップ銀製一對を註文中の處、二三日前出來上りたるを以て二十一日書留小包を以て同氏に對し發送をなした

手附金を騙取

原籍黃海道沙里院北里二四八李昌善(三二)及び原籍平壤以下不詳趙斗萬(三四)の兩名は數年前より京城勸業證券現社外交員として勤務して居たが、本年六月十五日同社を解雇されたるに拘らず在職中本社より交附されたる債券賣渡契約書に會社印の押捺され居たるを奇貨として、六月十六日來安し下六道溝居住の鮮人鄭信模に、復興債券及勸業債券計二百四十圓外四名に對して同樣手段にて債券を賣付け各々より手附金として二十四圓を受取り其の儘騙取したが、本社よりの手配に依り搜查中李は原籍地沙里院にて逮捕され身柄を安東署に送致して來たので、當局に於ては目下取調べを進めて居るが、共犯者鄭をも逮捕すべく手配中である

家庭慰安映畫

滿鐵庶務課主催の第十二回家庭慰安巡映會は二十二日から開始してゐるが奉天以南の巡映地日割は左の通り因に今回の映畫はパラマウント社の彌次喜多海軍の卷六卷、同ロイドの福の神六卷で抱腹絕倒の珍映畫であると

△本溪湖三十日△橋頭三十一日△連山關一日△鷄冠山四日△蘇家屯五日△安東二日

强盜巡警を襲ふ

安東支那町公安局第二分局巡警白玉峰は二十二日夜雨を侵して巡警に出で、八道溝中學校裏で巡羅木に巡警認印を捺印せんとする際闇の中から突如二名の支那人怪漢現れ背後より巡警を毆打拳銃を强奪せんとしたが折よく東邊實業銀行の運轉手が通りかゝり右の騷ぎを目擊するや直に自動車から飛び下りて應援したので件の兩名は叶はじと逃亡したる由

工夫の大喧嘩 一名遂に殺さる 加害者四名を逮捕

去る十七日夕刻咸鏡北道厚昌郡東興面双南洞ノ森林鐵道工事場附近に於て人夫信田幾藏(三七)李泰石(三五)朴洪陽(三〇)金龍淑(三二)の四名は勞銀のことから同僚三十餘人と爭論を始めその場は一時鎭まつたが十八日前記四名は人夫十名を附近の南北川附近に伴れ出し高さ一丈餘の崖から突き落し這ひ上るものに石を投つけ無慘な目に遭はせたが、二十三日に至り同所より下流二里餘の地點で前記人夫中の一名が死體となつて發見さるるに至り四名は直に新義州署に連行嚴重取調べ中である

船舶倉庫完成 寄託事務も扱ふ

安東驛の船舶倉庫は最近完成この程から營業を開始したので一般船繰上頗る利便となつたが近く着後寄託事務も取扱ふ由

姦通脅喝犯人

新義州府外古津面石下洞四番地朴龍煥妻車天芝(三五)は去る大正十四年春以來夫の不在勝らなるを奇貨とし同面土橋洞十八番地農業李順成(三〇)と姦通し不義の歡樂に耽つてゐたが、此の程に至り夫朴龍煥の知るところとなり姦夫姦婦を相手取り姦通の告訴を提起してゐたが、新義州署に於て取調の結果右の事實及び擬て之を種に兩名を脅喝數回に亘つて現金五十餘圓其他衣類時計等を捲き揚げたる隣家の崔鳳基(三七)及び上橋洞二九番地農業朴秦浩(三二)等は夫々姦通罪脅喝罪で二十二日起訴された

明大生雄辯會

明治大學雄辯部鮮支遊說班赤神教授外學生七名は廿三日來安同夜公會堂に於て社會問題經濟問題に關する辯論會を催したが盛會であつた

流浪人の脅迫

原籍北海道小樽市德ノ江町一丁目十二現在住所不定無職前平定男(三一)は本年三月何等の的もなく原籍地を出で各地流浪後渡鮮各地にて乞食や合力を受けつゝ本月二十日頃來安、當地南三條通無限公司及び富士紡社宅の日本人の家にて合力を受けたが二十一日は富士紡社宅の長谷川氏宅にて之れに應ぜぬ處から脅迫的言語を用ひたるを以て妻女は恐怖して安東署に通報せるにより逮捕され目下取調中

加藤會頭歸鮮

昭和製鋼所の實現を期すべく先般來上京政府各要路に運動中であつた加藤新義州商業會頭は二十三日夜東京發歸途につく旨入電があつた

幼兒屍體遺棄

安東縣二番通八丁目月見橋下に二十三日朝生後約六ケ月の支那女兒屍體が裸體の儘ネル布團に包んで遺棄せられてゐたのを巡警中の西村巡查が發見したが安東署では目下支那官憲と協力犯人嚴探中である

高尾理事長東上

採木公司理事長高尾亨氏は來年度豫算に關して外務當局の承認を求むる爲か豫定より早く二十五日二十一時半安東發の急行列車で東上したが、滯京期間は約一ケ月の豫定で八月下旬歸安の筈であると

人事

▲慶應大學産業研究會學生キャンプ團十五名及び同東亞事情研究會學生十名は二十五日朝奉天より來安同十一時五十分の列車で南行した

▲京都府教育視察團十一名は廿六日夜平壤より來安安東ホテルに一泊の上翌朝奉天へ向つた

▲廣島高等師範附屬中學生三十七名は三十一日來安新安兩都視察の上北行する由

▲渡邊採木公司參事（新任長白分局長）廿二日夜の南行で惠山鎭に出張

▲神商大滿鮮視察團は廿一日來安一泊の上二十二日朝北行した

京城

强盜押入る

最近頻出する强盜事件の犯人がまだ一人も逮捕されず府內各署は全力を擧げて狂奔してゐる折柄、廿三日午前零時五分府內昌信洞四九薪炭商姜元變(四〇)方に白シャツ白ズボン、白靴、白手袋に白覆面といふ白づくめの三十七、八歲位の怪漢が裏手の一丈餘の煉瓦塀を乘越えて押入り、就寢中の主人を蹴起し夫婦を縛した上庖丁を以て脅迫し現金五十二圓を强奪して表戶から悠々立去つた、屆け出に接し所轄東大門署では直に非常線を張り犯人嚴探中であるが、京畿道警察部からは警官講習所から十五名の應援隊をはじめ府內各署から腕利の刑事を送り犯人逮捕に奔命してゐるが、午後一時頃鐘路三丁目方面から崔某外一名を容疑者として鐘路署に引致取調べ中である

運送同盟會の委員會開催

朝鮮運送同盟會では廿三日午後一時より通運支店に京仁委員會を開催歸城した、豐住氏より東京に於ける交涉顚末を報告したが近日同盟會全鮮委員會を開催對運合態度につき協議する由

電車顚覆事件 運轉手の公判

電車顚覆事件の責任運轉手石甲童(三二)にかゝる第二回公判は廿三日午後零時より京城地方法院四號法廷に具裁判長係り佐々木檢事立會の下に開廷、禁錮六ケ月の檢事求刑に對し寺田辯護士の減刑論があり來る卅一日判決言渡しで午後一時閉廷

吉林

六月鮮人戶口

吉林總領事館管內に於ける六月末現在調在住鮮人數は次の如くで之に依れば額穆縣內の四千四百〇二人が首位を占めてゐる

區別	戶數	男	女	計
省城	五九	一三七	一〇五	二四二
吉林	三七六	九五三	六四五	一五九八
樺甸	八四六	一八一二	一三二〇	三一三二
磐石	六一六	一三一六	一〇四五	二三六一
額穆	七八五	二七二五	一六七七	四四〇二
敦化	六二一	一九四九	一五一三	三四六二
舒蘭	一二〇	三二五	二四三	五六八
濛江	三六八	八〇一	五〇一	一三〇二
雙陽	一四九	三四八	二三三	五八一
計	三九二〇	一〇三六六	七二八二	一七六四八

先月と增減なし

コドモページ

ある夜のお話會 お化けの話（中）

武藤一枝

今度は私。私はづるくないので直に始めました。

「えゝと、或る船長が航海してゐました。或晩、それは眞暗で蒸苦い氣味の惡い風が吹く夜です。ふしぎな事には今迄早く走つてゐた船がだん〳〵おそくなる。何だか海の底から大きな手が出て船を捕まへてゐる樣に、いくら運轉手が急いでも船は進まない。船長は心配して室で考へてゐると、一人の水夫が青くなつてとんで來て「タタタイヘン〳〵」と引張る。そこで船長も胸をドキドキさせて甲板に上つてゆくと、船員達も眞青になつて、うろ〳〵してゐる、船長が驚いて海の中を見ると、幾十もの生首が眞暗な浪の上に浮んで、ギロ〳〵目を光らして船のまはりをグルリと取り卷いてゐる。船長はもうぶる〳〵しながら、自分のお守りにしてゐる觀音樣のお札を投つけて、運轉手を勵まし、やつと逃げる事が出來たつて。をはりよ」みんな怖がつて默つて居ます。私は大得意でした。伯父さんは怖くて寒くなつたと言ひお父さんも熱いお茶を入れて下さいました。

今度は伯父樣。

「或所に古い大きなお寺があつた。その寺の御所へ人が入るときつと出られなくなる。そこで「オーイ天狗さん明けてくれえ」と言ふとネ、遠くの山の方で「よおーーし」と氣味の惡い聲がしてひとりでに戸があくんださ」

「ワハ。天狗は酷い惡戯をするネ」

私達は大笑ひでした。

「天狗つて奴は丈が高くて顏が赤く鼻が長いのださうだが、僕はかう思ふね。昔外國人が日本へ流れついて、日本の山へなど入つて住んだのを日本人が天狗といふ化物にしてしまつたんだらう」とお父さんが言ひました

「さうですよ、ソラ、毎日くるロシヤパンやも大男で赤い顏で鼻が長いからね。大江山の酒呑童子だつて、ロシヤ人だつたとか言ふ」伯父さんも贊成してゐました。

夏の金剛へ 楠公の遺跡を訪ねて（五）

大連大正小學校長　湯下誠一郎

「今日はえろうよく鳴きますな。此處では鳴くのは少いですけれど」

「雨の降る日だつたら大概鳴きますけれど」

「鳥屋には飼うてうておまへんか」

「三年かかつてほとゝぎすを聞きに來るがよう聞きやはらん人がおますな」

ほとゝぎすの聲を橫に糸でぬひ合はすやうに婆あさんの話がつづいて出ます。ぽつり〳〵出るのですが婆あさんは長い年月此の山に住んで誰よりもよくほとゝぎすを知つてゐるのです。

ぜつぺきの山、千仭の谷、楠公の誠忠はこの山にこの谷にふん戰して血けむりをわきたゝせたであらうことを遠く深く思ひしのぶにほとゝぎすを以てしたことはまことにえ難いえものでした。

何やらの小鳥の聲。

口びるをふるはせるやうにピピイと鳴く聲。

帛をさくやうにひゞくするどい鳴き聲。

チイピイチイピイと鳴くやさしい歌聲。

コトコトとけたゝましく木を叩くやうなきつつきの聲。

それにまじはる鶯の聲。

上から來る聲、橫から來る聲。

縱糸が鳴く。橫糸が鳴く。

縱糸と橫糸とが美しい綾を織出してゐる」と讃まれたある先生の文そのまゝの景色です。

私はおよそ小一時間こゝの店さきに腰をおろして幾百となくほとゝぎすの聲、小鳥の聲を聞くことが出來ました

千早から金剛へ行く山徑のほど遠くない左がはに楠正儀卿のお墓があります。老松八九本、お墓をとりまいて仕へ人のやうにお墓を守つてゐます。足下の谷向ひでまたしきりにほとゝぎすが鳴きます。忠魂を弔はうとしてほとゝぎすを聞くのは斷腸の思ひがいたします。

坂を登ると道の櫟合からのしかゝるやうに枝をのばした栗の木が重々しく花をつけて甘つたるい臭りをかをらせます。

そこをすぎると大きな一本松があります。金剛山頂へ一六〇〇米突といふ標木があります。同じところに「楠公五所秘水」と刻んだらしい石柱があります。この水によつて千早の城がたもたれたといひます。山の中腹にふしぎに水の湧き出た泉です。今は二ケ所しか見えませんから三ところはきつと土に埋れてしまつたのでせう。

ふだん此の山に登る者は此の水をくんで、のどをしめすさうですが今日は水が少くてくめません。こゝでもまたほとゝぎすが鳴いてゐました。（未完）

面白い虫の世界（1） 木の葉があるく 印度に居る木の葉虫

木の葉によく似た虫はいろ〳〵ありますが、その中でも最も木の葉によく似てゐるのは此の寫眞にある種類の虫です。此の虫は「あるく木葉」といふ名がついてゐて、色といひ、葉脈のある工合といひ、周圍の枯かゝつたやうなところまで、どう見てもこれが虫だとは思はれません。そして周圍の木の葉の色に應じて自由に色を變へます。此の虫はインド及其の附近に居ます。飛ぶ翅がないから見つけたらすぐつかまへることが出來ます。此の寫眞は實物大の雌です。

サルノヒトマネ

「グッドモーニング」

「アー　イタイ　イタイ　ソンナニ　ツヨクテヲ　ツカンヂヤユビガ　チギレテシマウヨ」

「ニンゲンハ　コウシテ　アイサツヲ　スルノダヨ」

「ソンナ　イタイ　アイサツハ　モウ　ヤメテクレ」

「ソンナニ　イタイカイ？　スルトニンゲンナンテ　カシコサウナ　カホヲ　シテヰルガズイブンバカナ　アイサツヲ　スルモノダネ」

兒童の作品

ウチノイヌ

横前小學校一年　上野道子

ウチノ「トロ」ハカワイイデス。ウチノオトウサマガ　オカエリニナルト　ヨロコビマス　ウチノトロハ　ホントウニ　カハユウゴザイマス。ホントウニ　オモシロイデス　イツモガクコウカラ　カエルト　スグニアソビマス。「トロ」ハカミツクカラコハイデス　ゴハンヲヤリマスト　トビツイテ　ヨロコビマス。

マサゴウラ

大廣場小學校尋一　堀英子

キノフハマサゴウラニ　イキマシタ　ミンナソロツテ　イキマシタ　ママハオベントモツテ　コヅカヒサン　パパハサキニナツテ　ウチヨウサン　アトハミンナ　セイトデス　ミンナソロツテ　イキマシタ　マサゴウラハ　ヨイトコロ　オミヅガトテモ　キレイデス　キレイナシヨイ　イシコロガ　タクサンタクサン　アリマシタ　ソレヲヒロツテ　カヘツテキテ　ウエキノハチニ　イレマシタ

荷馬車

大廣場小學校二年　柴田正一

僕のお內の　よこがはに　お馬がれんがを　はこんでる　僕がねてゐる　じぶんから　毎日たくさん　はこびます　れんがはとつても　おもいから　お馬は二匹で　つんでくる　車のれんがを　すこしづゝ　にいやがおろして　ゐるあひだ　お馬はわらを　たべてます　おいしさうに　たべてます

ニドメノ 大チャンノタンケン（76）

ハルミチ作　ジラウ畫

「オヂサンハ　ドウシテ　コンナシマニ　キタノデスカ」大チャンハ　オホキナ　サクランボヲ　カジリナガラ　キキマシタ。オヂサンモ　サクランボヲ　カジリナガラ

「ソレヲ　イマ　ハナシテ　ミヤウト　オモツテヰタノダ。オヂサンハ　ハクウンマル　トイフ　オホキナ　フネノ　センチヤウダツタ。トコロガ　イマカラ　ハントシホド　マヘニ　ミナミノ　ウミヲ　コウカイシテヰルト　オソロシイ　カイゾクセンニ　オソハレテ　ニモツハ　ミンナ　ウバヒトラレ　オヂサンハ　トウトウ　カイゾクノ　トリコニ　ナツテシマツタ

五校の精鋭覇を目指し 滿洲豫選の火蓋を切る

正々堂々たる陣を張つて 炎天下に熱球飛ぶ壯觀

全滿洲北支那中等學校野球チームの精鋭を集むること五校、春以來練習に練習を重ねて十分の自信づけた純眞そのもののごときプレヤー七十餘名が、齊しく全國大會出場を期して參加した本社主催の滿洲中等學校野球豫選會は前日來の降雨によつて適度に濕潤、坦々平盤、絶好のコンデションと快晴に惠まれた滿倶グラウンドに於て二十五日より四日間烈々たる盛夏の白日下に炎暑を冒して、互ひに鍛へ得たる技倆を遺憾なく發揮して中等學生特有の正々堂々の陣を張ることゝなつた

九對四のスコアで 安東軍に凱歌擧る

大商梅本主將より優勝旗返還 井上學長の始球式

これより先午後二時二十分前年度の優勝校にして二宮野球部長に引率された大連商業梅本主將の捧ぐる大會優勝旗を先頭に奉天中學、青島中學、撫順中學、安東中學の順序で入場、

滿場の 拍手を浴びながら本村本社庶務課長の先導で一壘側より整然としてダイヤモンドを一周、本壘に向ひ各野球部長をトップに横列をつくつて整列、梅本大商主將より三好本社員に優勝旗を返還し、右終るや三好本社員より一場の開會挨拶あり、當日第一戰に臨むべき

遠來軍 にして初めて本大會に出陣の安東中學は一壘側に撫順中學は三壘側におの〳〵分れて陣し撫中先攻と決するや三時十分、竹中氏より開戰を宣し、井上旅順工科大學々長の手より投ぜられた純白の處女球撫順寺西捕手のミツトに收まるや場內を埋め二萬と註せられた觀衆は固唾をのみ全滿ファンの熱狂裡に迎へられた豫選大會の幕はきつて落された

撫中は 元全長春チーム」の投手だつた西田龜滿夫氏、安中は全安東主將吉本選手、各ベンチコーチとして作戰本部を固め一球一打微細に亘つて戰ひを進め撫中善戰したが戰ひつひに利あらず九對四で撫中惜敗し、午後五時卅五分終了した、試合經過左のごとし

試合經過

▲第一回 安中先攻 內村一邪匍後二正球を見送つて退き齋藤遊撃に軟直を呈し伊藤第一球を打つて一二壘間を抜き二盜更に捕手逸球に三進し宮岡の遊後飛失に生還先づ一點を收む中原選球の後を塩坂左前テキサスを放ち宮岡生還したが中原三壘に猛進し刺さる△撫中佐々木二匍を襲ひグラウンドヒツトとなり出壘したが武藤の遊匍を宮岡良く摑むで二走者を併殺し鮮かな守備振りを示す生田左中間に二壘打を放ち佐土原死球に二走者を出したが寺西の遊匍に佐土原封殺され好機を失す(安二撫零)

▲第二回 安中藤本外角の球を邪飛に打上げ投手に得られ平田二匍吉塚三振に代る△撫中吉野第二球を左前に快打し二盜加藤曲球を空振して倒れたが小冠者江副四球を利した後佐々木一二壘間を拔き吉野江副轡を揃へて生還武藤投敵匍に代るも同斷となり撫中軍に拍手揚る(安零撫二)

▲第三回 安中內村投敵匍齋藤遊匍伊藤一飛何れも撫中下田投手のコントロールに打擊を押へらる△撫中生田投手に直球を呈し佐土原三匍寺西二匍安中また守備の堅きを示す(兩軍零)

▲第四回 宮岡二一三の後を選球中原再び四球を利し塩坂の二匍に兩者進み續く藤本の中前安打に宮岡生還す平田三振吉塚の投敵匍に三壘走者牽制のつもりで三壘を離れたが惜しくも刺さる△撫中吉野二壘加藤遊匍の後江副再び四球を得て人氣を集めたが離壘して一二壘間に挾擊され惜しくも刺さる(安一撫零)

▲第五回 安中內村、齋藤共に凡飛を打揚げたが續く伊藤、宮岡共に選球し二盜の上ミスローに進壘其後を受け五番打者中原左中間に安打し伊藤還り塩坂も二壘頭上を拔き宮岡生還藤本再び選球する……此時撫中軍投手を生田に代へ下田遊擊を守る……平出第二球を右中間にヒツトし中原塩坂共に還り吉塚の投匍に辛うじて喰ひ止め安中軍は一擧に四點を奪ひ大勢撫中軍に不利となる△撫中下田遊匍佐々木一邪飛武藤遊匍(安四撫零)

▲第六回 安中內村、齋藤共に投匍伊藤二匍……撫中投手下田多過ぎた曲球を減じ內角の直球を投げて選球を防ぐ恐らくベンチコーチの注意によるか?……△撫中生田遊匍佐土原三振寺西二壘上安打に出で二盜吉野の三匍フイルダーチヨイスとなり二走者生き加藤の二凡飛を中原落し送球を怠る間に寺西、吉野虛を衝いて生還江副遊飛撫中二點を加ふ(安零撫二)

▲第七回 安中宮岡三振に退く匍を江副ハンブルして生かし捕手逸球に兩走者進壘更に藤本選球し一死滿壘平田二一となつた時捕手低球を逸し中原生還するも平田遂に三振し吉塚投匍に倒れ撫中軍危機を脫す△撫中下田三振佐々木二匍武藤三振と何れも凡退(安一撫零)

▲第八回 安中內村三壘に凡飛を揚げ齋藤の三匍を吉野トンネルして二壘に生かしたが伊藤右飛を摑まれ宮岡遊匍に後援なし△撫中生田中直を得られ佐土原三振の後を寺西左中間に三壘打したが主將吉野正球を見送つて惜しくも三振折角の好機を失す(兩軍零)

▲第九回 安中中原の遊飛を下田ポロリと落したが塩坂の遊匍で封殺藤本選球の後を平田の三匍を佐々木見本的のフイルダーチヨイスを行ひ一死滿壘となる吉塚三振に二死となつたが內村敵投手の疲れに乘じ樂々〇—一四と選球し塩坂押出されて生還又復一點を加へ計九點となる、齋藤二飛▲撫中最後の攻擊とてPH石島を出した甲斐なく惜しくも三振、江副三度び目の四球に出で(加藤代走)二盜するも下田三振し佐々木投匍に倒れ撫順軍遂に九對四で敗れた閉戰午後五時卅五分

安東	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
1 內村	5	0	0	0	0	1	1	0
9 齋藤	6	0	0	0	1	0	0	0
2 伊藤	4	2	1	0	2	0	1	0
6 宮岡	3	3	0	0	2	1	2	0
4 中原	2	2	1	0	0	0	3	1
3 塩坂	5	2	2	0	2	0	0	0
8 藤本	2	0	1	0	0	0	3	0
5 平田	5	0	1	0	0	2	0	0
7 吉塚	5	0	0	0	0	2	0	0
計	37	9	6	0	7	4	10	1

撫順	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
5 佐々木	5	0	2	0	0	0	0	0
7 武藤	4	0	0	0	0	1	0	0
16 生田	4	0	1	0	0	0	0	1
8 佐土原	3	0	0	0	0	2	1	0
2 寺西	4	1	2	0	1	0	0	2
3 吉野	4	2	1	0	2	1	0	1
9 加藤	4	0	0	0	0	2	0	0
PH 石島								
4 江副	1	1	0	0	1	0	3	1
61 下田	4	0	0	0	0	2	0	1
計	33	4	6	0	4	8	4	6

二壘打 生田
三壘打 寺西
殘壘數 安東一〇、撫順六
併殺數 安東一 塩坂 宮岡—中原
審判 北川(球)竹中(壘)

寫眞說明 【上】入場式に整列した五校の選手 【下】梅本大商主將から優勝旗返還 【右】井上工大學長の始球式

滿洲豫選大會第二日

第一勝戰青島中學對奉天中學

けふ午後三時半より於滿倶球場

バットの響き

安東、撫順共に初陣同志の顏合せ豫選大會の幕は切つて落された兩校の何れが强いか?弱いか?兩校技倆が全然未知數なだけに興味も加はり勝敗の數もとより戰前の豫斷を許さぬ▲フイルデングを一瞥すると殆ど似たり寄つたり、双方共遊擊手が特に光り捕手の投球、一壘手の危險性、全く大差は無いが幾分安東軍に練習の功を見出す▲撫順軍の生田遊擊手は守備完璧肩も良く中等學校選手としては出色、あれで第一回目の當りがフロックでなかつたら申分あるまい▲二壘手江副少年の活躍はたとへ過失一があつたにしても人氣を集めるに充分▲投手下田君の球勢の調子は頗る良好だつたが如何決して騒くなく落付きもあり三回迄せん餘りに曲球を弄し過ぎた▲とところへ安東軍の選球主義が効を奏し第四回二死後になつて四球連投の上に安打三を與へて四點の致命傷を蒙つた▲將にこの回が兩軍勝敗の分岐點となつたが更に交代投手の生田君も七、九回に四球で好機を與へ各一點づゝを獻上し遂に挽回の機を失ふ▲同時に撫順軍は肝腎な時にタイムリーエラーが多く第一回の遊飛も雖球ではあるが過失となり第五回の投手暴投、七回の捕手逸球や二壘トンネル、九回の遊飛失等總體に試合運に惠まれなかつた▲然し全軍最後迄力戰奮鬪、ベストを盡したところは賞讚に値する▲安中軍內村投手も好投した、低目の曲球が頗る効を奏したことゝ味方の守備を信じて凡打うち取主義に出たことは勝因の一つ▲遊擊宮岡君のプレー振りは撫中生田君と遜色なく第一回の併殺は將に一流ティームの感あり▲打擊は三番以下に良い當りをみせた▲だが兩軍共走壘の遲いこと、過失の處理が不敏活な點、捕手の二壘投球が些か頼り無いこと、未だく研究の餘地はある▲最後に昨日の試合で嬉しかつたのは第七回安東中原君が打者の際投球が着衣に觸れたかのやうに見受け北川主審が死球でないかを訊ねたが明瞭に否定してゐた▲恐らく自身に感じなかつた爲正直に答へたものと想像するが、あんな所謂一流チームの諸君は……?▲今日は青島中學對奉天中學、兩軍共優勝候補の評判あるだけ好球家の見逃せぬ白熱戰——開戰午後三時半

雜觀

滿洲豫選の始球式を行つた井上旅順工大學長は其昔高等學校時代に投手を勸めたと云ふ程の野球好きで當時ボールで突指した母指は今でも少し曲つたまゝで延びないさうである▲劈頭戰を承はつた撫順軍の捕手寺西君は廿何貫の其巨軀と云ひ顔からプレー振りまで元明大の名捕手梅田君に似て何とも云へぬ愛嬌があるので觀衆大喜び、それが形勢不利の同軍の豫鋭を揃つてボツクスに立ち六回目に內野安打を打つて出たのが動機で二點を回復し八回には中右間に絶好の三壘打をかつ飛ばしたので滿場破れるやうな大喝采▲巨漢の寺西君と好對照を爲すもの同じく撫順軍の二壘手江副君で、これは又寺西君と反對に五尺に滿たぬやうな可愛い選手で同君がボツクスに立つと觀衆から「坊つちやんカツ飛ばせッ」の聲が入方から起つて大人氣、ところでこの坊ちやん顔るの選球上手で四球を三つも一人で稼いで寺西君と共に撫順軍の人氣を二人で牒つた觀があつた▲撫軍のベンチコーチ西田君は日本の野球といふ事に常に細心の注意を拂ひ、動もすれば岐路に入易い現代の野球の純化について研究を怠らぬ人として定評があるが對安中戰には近來コーチャースラインに出る選手が一般のフイルダーと識別しがたい服裝をしてゐるのを改めさすべく、まづ撫中に率先させオーバーセーターを肩にさせて出したが安中もこれに刺戟されて撫中を見習はせたのは大會最初の好い感じだつた▲一方安東軍のベンチには態々安東からついて來た同中學の校長さんが暑さも忘れて終始選手を激勵してゐたが結局九對四のスコアーで大勝して汗みどろ砂まみれのまゝ選手達がベンチに引揚ぐると「よく戰つてくれた、よく勝つてくれた」と涙をうかべて喜んでゐたのは附近の觀衆を大に感激せしめた▲一、二回頃まで入場式に出たまゝのユニホーム姿で大連商業軍が一團となつてメインスタンドに觀戰してゐたのが何時の間にか見えなくなつた、不戰一勝者の幸運に惠まれた同軍としては他チームの戰ひを靜かに觀戰するのは頗る有利だらうにと誰かゞ云ふと、傍にゐた商業學校生徒の一團が口々に「ナアに敵は唯青島中學あるのみなんだ、他のチームなど研究しないでも大丈夫だい」とえらい鼻息▲當日は實業グラウンドに關大と實業の二回戰が五時から行はれたにも拘らず外野迄も一杯に詰つた觀衆は最後まで非常の興味を以て動かずに見物したのは學生チームの純眞な試合が持つ一種の魅力の結果と思はれた

撫中選手歸る

善戰の末遂に敗北の恨みを呑んだ撫順中學軍の大部分は二十六日二十一時三十分發の列車で歸撫する

4A—1 實業優勝す

關大の力鬪甲斐なし

昨日の二回戰成績

關西大學對大連實業團第二回野球戰は廿五日午後五時半より中央公園實業球場にて關大先攻で開始四A對一にて實業優勝す、伊藤(球審)大門(壘審)

回數	一	二	三	四	五	六	七	八	九	計
關大隊 得點	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
關大隊 安打	2	0	0	1	0	1	0	0	1	5
關大隊 敵失	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
實業 得點	0	0	0	0	0	3	0	1		4
實業 安打	0	1	1	0	0	3	0	1	A	6
實業 敵失	0	0	0	0	1	2	0	1		4

▲第一回 關大豐田左中間に二壘打せしが三壘に暴進して刺され小田の死後坂井二越安打せしのみ△實業二者凡退(兩軍零)▲第二回 關大三者凡退△實業一死後中島二遊間安打せしのみ(兩軍零)▲第三回 關大走者無く△實業一死後岩瀬左前安打に出で二盜せしも投手牽制球にて一二三間に挾殺さる(兩軍零)▲第四回 關大小田中前安打坂井のバンドに封殺され本田三振の時小田二壘を望んで重殺さる△實業三者凡退(兩軍零)▲第五回 關大二死後大橋四球に出でしのみ△實業一死後渡邊二匍失に出でしが木下の一匍に重殺(兩軍零)▲第六回 關大二死後小田左翼右に三壘打せしが坂井投匍△實業二死後中川二壘グランドヒツトに出で安藤一壘左をゴロに拔き中川三進安藤二盜高橋の遊匍野手失して中川生還、此の時安藤三進し高橋二盜、續く宮武二遊間に適時安打し二者生還し中堅手其球を本壘に高投し宮武三壘を占めしが中島遊匍(關零實三)▲第七回 關大山西四球に出でしのみ△實業三者凡退(兩軍零)▲第八回 關大走者無く△實業一死後中川四球を得しも二盜に死し安藤の遊匍野手トンネルに生き高橋の右越三壘打に生還して勝敗を決す(關零實一)▲第九回 關大一死後坂井左中間に二壘打し本田の一匍野手惡投して坂井生還、本田二壘を得しが後援なく實業軍に名をなさしめ同午後七時閉戰

關大	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
4 豐田	4	0	1	0	0	2	0	1
7 小田	4	0	2	0	0	0	0	0
9 坂井	4	1	2	0	0	0	0	0
1 本田	4	0	0	0	0	1	0	0
3 櫻井	4	0	0	0	0	0	0	0
8 小西	3	0	0	0	0	0	1	1
5 小寺	2	0	0	0	0	0	1	0
6 大橋	3	0	0	0	0	0	0	2
2 川村	3	0	0	0	0	1	0	0
計	31	4	5	0	0	4	2	4

實業	打數	得點	安打	犧打	盜壘	三振	四球	過失
7 中川	3	1	1	0	0	0	1	0
6 安藤	4	2	1	0	1	0	0	0
4 高橋	4	1	1	0	1	0	0	0
5 宮武	4	0	1	0	1	1	0	0
8 中島	3	0	1	0	0	0	0	0
2 渡邊	3	0	0	0	0	0	0	0
3 木下	3	0	0	0	0	0	0	1
9 平田	3	0	0	0	0	1	0	0
1 岩瀬	3	0	1	0	1	2	0	0
計	31	4	6	0	4	4	1	1

二壘打 豐田一、坂井一
三壘打 小田一、高橋一
殘壘數 關大五、實業三
併殺數 櫻井—大橋、渡邊—安藤

太平洋横斷機 正式に命名

【タコマ二十四日發電】プロムレー中尉の太平洋横斷機は本日正式に「シチー、オブ、タコマ號」と命名された、出發期は未だ確定してゐない

馬岩釣魚會

遼東タイムス主催の馬岩釣魚會は來る廿七、八兩日に亘り開催、會員六十名限り會費四圓、申込み同社へ

けふのラヂオ

昭和四年七月廿六日(金曜日)
自前十一時 相場(特産、錢鈔、株式、各地相場)
自午後〇時三十分 相場(特産、錢鈔、各地相場)ニユース
自午後三時三十分 相場(錢鈔、株式、各地相場)ニユース
自午後七時三十分
一、ニユース
二、映畫物語(栗島すみ子主演浮世小路)松葉時朗、帝國館管絃部
三、兒童科學講座(滿洲名物の鯉)神明高等女學校前田政太郎
四、ピアノ獨彈(未完成交響曲、全樂章シユーベルト作)カワレウスキー夫人メデウエデフ夫人
五、浪花節(文七元結)木村近衞
六、支那劇(開府)遼東倶樂部員
七、料理獻立
八、天氣豫報

元滿洲日日新聞社々長森山守次氏は豫て病氣の處去る二十日午後四時二十分大阪市外曾根阪急沿線芳正園に於て逝去被致候に就ては二十六日午後四時市內春日町大蓮寺に於て追悼會相營み申候間生前辱知諸君の御來會を希望致候
右謹告候也
昭和四年七月廿五日
滿洲日報社

愛慾の窓（50）

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

金（一〇）

友永は、久彦の言葉には答へようとはしないで、默つて手文庫を引寄せると、中から一束の手紙を取出した。

「……これを買はされたんだよ！」と、彼は吐き出すやうに云つた。

いふまでもなく、それは小森英輔がメリイ某といふ情人に書き送つた戀の文殼だつた。

「……僞物か眞物か、小森に鑑定して貰つてから、僞物だときまつたら金を拂はうと思つたんだが」

と、友永は汚らはしいものでも見るやうに、ぢろり手紙の束を尻眼にかけて「……一とほり僕の目を通したところでは、疑ひもなく小森のラブ、レターなんだよ！僕は目を瞑つて買取つてやつたよ、勿論、同時に今後は一切小森とは交渉を有たぬといふ證文を入れさせたが」

「……それは然し、小森君がすべきことぢやないかな、君の處へ持込むのは、筋がちがつてゐる」

久彦は苦々しげに云つた。

「……然し、小森は相手にならんといふのだから、擲つて置けば、騷ぎが起るからね。それぢや妹に可哀さうだからな、妹は何も知らんのぢやからね。小森を立派な青年紳士として信じてゐる妹のために、おれは手切金を支拂つてやつたわけさ！」

ぽいと、友永は葉卷の吸ひさしを灰皿に投げた。

「……さう、妹さんのために、ね」

久彦は嘆息を洩らした。

「僕はね、から見えても、妹を愛してゐるんだよ、親代りの責任もあるが、しかし僕はあれが可愛くてね……で、折角の小森との縁談も、こんなケチが附くやうぢや行末何うか知らと、ほとく思案に暮れてゐるところなんだよ」

友永は、いつもの快活さを何處へか失つて、ほつと聞えるほどの吐息をつくと、がつくりと頭を垂れた。

「……そりや御心配だらうが、然し僕、小森君の失敗も、若いうちには有りがちなことだし、妹さんが、妹さんの氣持が、小森君の方に傾いてゐるんならば……」

と、久彦は相手を慰めるつもりで云ひ出したが、しかし口先と自分の本身との間のギャップが、餘りにもはつきり意識されて來たので、ふつと口を噤んでしまつた。

何故、この機會に乘じて、小森を罵倒しないのか！小森の人格の下劣さを、迷へる友永の前にはつきりさせてやらうとはしないのか！仁科美知子とのこともある！

「……兎に角、實は僕、今夜、小森君に會ふことになつてるんだから、このメリイ、ダンス、ホールの一件も、僕から何とか確めようそして出來れば右の安心のなるやうに小森君とも話をつけよう」

久彦は、好加減に切り上げたかつた。

「……ウム、頼むよ、何、僕だつて小森かこんな失敗をしてゐるからといふて、そのこと自身にこだはりはせんさ！たゞ、こんなことに出會すと、何うも心もとなくてな、安心して妹を託する氣持が動搖して困るんぢやよ、はゝ」

友永は、さう云ひながら、久彦にその手紙の一束を託した。

「……小森に君から返すなり、または何も知らせずに君が燒却するなり、小森君との話の上で、何うとも處分してくれたまへ！手許に置いて、妹の眼にでも觸れると厄介だからね」

久彦はうなづいて、ポケットにその忌はしい文殼をおさめた。

「……妹さんは？」

「……銀座へ買物に出た。もうそろく歸るだらう、會つて行つてくれ給へ」

「……いや、僕も忙しい。今日は失敬しよう」

久彦は辭した。

滿日俳壇

島田青峰選

夕立

○大連 高木春藍
夕立や向ふの丘は雨の寄る
野の中を描り来る白雨かな

○哈爾賓 松本菱牛子
夕立や泥に塗れて活ける虫
夕立や毛脹れ雀ふりかぶり

○香川縣 高木宏影
夕立や海を隔てゝ島に降る
白雨はれ讃岐アルプス夕日照る

○大連 筧 鳴鹿
夕立の驛に兄まつ妹かな

○瓦房店 河野靜河
窓あけて早盃かなる夕立かな

○金州 森花溪月
夕立や橋掛け殘す午後の晴

○金州 福田背月
帆筵を揚げて入江の夕立かな

○大連 日野支鳥
對岸は白雨なるらし潮幹茶屋
岩鼻を出てゝ小舟や白雨晴
夕立に狹倉高く煽り建つ
夕立を聞いて添乳の女かな
窓枠に動かぬ虫や夕立す
支那街の軒下變や夕立す

扇

○煙臺 天江雨江
銀扇や親骨うらの小さき文字
秋近き要ゆるみの扇かな
筆立に挿せる扇のありにけり
人去りしあとの床机の扇かな
讃經の御僧の綴き扇かな
舞ひ終へし猿の扇をとられけり
灯に遠き床几の人の扇かな
お法話や控へ御僧の古扇

○大連 伊東昇水
疊みたるまゝの扇を持ち居たり
胸帽によりし翁の羽扇かな
たゝみたる衣の上の扇かな

○大連 阿部天潮
羽扇を打ちふる華人歩み來る
その中に讀めぬ文字ある扇かな
扇もて机の埃拂ひけり

○哈爾賓 玉川靜波
相對ひ話とぎれし扇かな
軒にまだ灯あるベンチの扇かな

○瓦房店 河野靜河
新しき繪扇のはや破れけり

○大連 高木春藍
扇捨てゝ團扇に代ふる暑さかな

○大連 日野支鳥
御僧の手垢にちみし扇かな
扇子もて人分け行くや村芝居

滿日俳壇募集規定

次回課題「夏野」「蛇」「蕃茄」（トマト）▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切八月五日▲封筒に「滿日俳句」と明記の事▲投稿先、東京市牛込區若松町八二、島田青峰宛

島谷汽船出帆

●南鮮裏日本各港函館小樽行 大成丸 八月四日 鮮海丸 八月十五日
●寄港地 鎮南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、萩、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽
●南鮮裏日本北海道樺太行 長成丸 七月廿五日
●寄港地 鎮南浦、仁川、釜山、舞鶴、敦賀、伏木、新潟、函館、小樽、大泊
●各等客室設備あり
島谷汽船株式會社大連出張所 大連市山縣通一五三
代理店 大三商會 電長四七一一・三四八二・六三三

大連汽船出帆

●青島、上海行 大連丸 七月廿六日前十一時 奉天丸 七月廿九日前十一時 榊丸 七月卅一日前十一時
●天津行 天潮丸 七月廿七日前九時 長平丸 七月廿九日後二時 天潮丸 八月一日後二時
●登州府、龍口行 龍平丸 七月廿九日後六時
●香港廣東行 英丸 七月卅日 千山丸 八月三日 英順丸 八月五日
●名古屋行 東尚子 七月廿六日 五大星丸 七月卅日
●營口行 長順丸 七月廿五日 益進丸 七月廿九日
大連汽船株式會社 電話番號代表四一八五番
專屬荷扱店（大連敷島町） 永和公司 電話七二七五・七八六八番
阪神航路專屬荷扱店（大連須磨町） 澤山兄弟商會 電話長五二六五・四六八一

日本郵船出帆

●歐洲行 水戸丸 八月卅日漢堡行 對馬丸 九月廿一日漢堡行 でらごあ丸 八月三日李浦行 りおん丸 九月一日李浦行
●北米行 愛宕丸 八月三日紐育行 甲谷陀丸 八月廿四日紐育行

近海郵船大連出帆

●長崎、神戸、大阪、横濱行 相模丸 八月三日 玄武丸 八月廿二日
●横濱行 玄武丸 七月廿五日 淡路丸 八月十日 勝浦丸 八月十六日
●天津、牛莊行 相模丸 七月廿七日 淡路丸 八月三日 勝浦丸 八月九日 玄武丸 八月十五日
●基隆、高雄行 神州丸 七月廿四日

大阪商船出帆

●門司神戸（大阪行）午前十時出帆 香港丸 七月廿六日 あめりか丸 七月廿九日 はるびん丸 八月一日 うらる丸 八月四日
●上海福州基隆高雄行後三時出帆 盛京丸 七月廿九日 長沙丸 八月廿九日 福建丸 八月廿一日
●朝鮮經由長崎鹿兒島行 關東丸 八月十一日
●北米シヤトル、タコマ行（上海神戸四日市横濱經由） ぱりい丸 七月廿八日
●紐育行（神戸四日市横濱經由）船客お斷り はばな丸 七月廿八日
●歐洲行（香港新嘉坡經由）船客お斷り あとらす丸 八月一日
●天津行 河南丸 七月廿七日前十時 武昌丸 八月三日 貴州丸 八月十日
●横濱直行（後三時出帆） 貴州丸 七月廿五日 河南丸 八月一日 武昌丸 八月一日
大阪商船株式會社大連支店 電話四一三七番
專務船客案內所滿洲旅館協會 信濃町滿東ホテル內電四一三一番
乘船切符發賣所 大連市伊勢町 ジャパンツーリストビューロー大連案內所電五五五四番
專屬荷客扱店（大連市山縣通） 國際運輸株式會社大連支店 電話三一五一番
大山通り列符發賣所電七〇三四番 沙河口切符發賣所 東來洋行內 電話九五〇六番
ニホーム荷扱所 電話四八〇二番

朝鮮郵船大連出帆

●青島、仁川行 會寧丸 七月卅日
●仁川、長崎、鹿兒島行 羅南丸 八月一日
朝鮮鐵道各主要驛及本社各寄港地 貨物受證發行
右汽船出帆日時は天候其他の關係により變更する事有之候
水路圖誌（海圖）販賣所 キューナード汽船會社 船客業務代理店
近海郵船株式會社大連代理店 朝鮮郵船株式會社大連代理店
日本郵船株式會社大連出張所 大連市山縣通電話三七三九 七八四六番
監部通（吾妻通） 專屬客荷販扱店 丸二商會 電話四二四六・五八八八番

阿波共同汽船

●芝罘、威海衛、青島行 第十六共同丸 七月卅一日後七時
●青島行 第廿一共同丸 七月廿八日後七時
●芝罘、威海衛、仁川行 第廿六共同丸 八月一日後七時
●青島行（滿鐵とは貨物連絡取扱致候） 長山丸 七月廿七日前十時
大連市山縣通二〇〇番地 阿波國共同汽船會社 大連支店 電長六八九一・五〇〇二番

高橋汽船大連出帆

大連芝罘間命令定期船
●芝罘行 福壽丸 七月廿七日午後六時
大連龍口安東縣命令定期船
●安東行 長壽丸 七月廿九日午後四時
代理店 大連加賀町三〇 鹿玉軒記 電六二一七・三八五一

政記輪船出帆

永利號 七月廿六日芝罘行
英利號 七月廿六日青島行
泰利號 七月廿八日芝罘行
有利號 七月廿八日龍口行
福利號 七月廿九日芝罘行
政記輪船股份有限公司 電話四一四一番

日清汽船大連出帆

●青島、上海行午前九時出帆 唐山丸 七月廿九日 華山丸 八月七日
代理店 大阪商船株式會社 大連支店 電話四一三七番
專屬荷客扱店（大連市山縣通） 國際運輸株式會社 電話三一五一番

社船大連出帆

●龍口青島行 南都丸 七月
●元山清津行 千歳丸 七月
●門司八幡行 富士丸 七月卅日
●日本海行 ちた丸 七月卅日
栃木商事株式會社大連出張所 大連市山縣通一二九 電話七四一八番

(明治卅八年十月二十五日第三種郵便物認可)
夕刊　滿洲日報　七月二十五日

日本の批准書寄託され不戰條約効力を發生
愈よ廿五日午前四時

(ワシントン廿五日發電)不戰條約に對する日本の批准書は寄託され玆に同條約は廿五日午前四時よりいよ〳〵完全に効力を發生することゝなつた、我國においては廿五日官報號外を以て發布された

官報號外で不戰條約公布

【東京廿五日發電】不戰條約は愈々二十五日官報號外を以て左の如く公布された

朕樞密院顧問ノ諮詢ヲ經テ昭和三年八月二十七日パリニ於テ帝國全權委員ガ關係各國全權委員ト共ニ署名調印シ且ツ第一條中ノ字句ニ關シ昭和四年六月二十七日ヲ以テ帝國政府ガ宣言スル處アリタル戰爭放棄ニ關スル條約ヲ右帝國政府ノ宣言ヲ尊重シテ批准シ玆ニ右帝國政府ノ宣言ト共ニ之ヲ公布セシム

御名御璽

昭和四年七月二十五日

內閣總理大臣　濱口雄幸
外務大臣男爵　幣原喜重郎

宣言

帝國政府は一千九百二十八年八月二十七日巴里に於て署名せられたる戰爭拋棄に關する條約第一條中の「其の各自の人民の名に於て」なる字句は帝國憲法の條章より見て日本國に限り適用なきものと諒解する事を宣言す

昭和四年六月二十七日

各大臣副署

批准書及宣言文
我政府今明日中發表

【東京二十五日發電】日本政府は米國より公電あり次第二十五日午後又は二十六日の官報號外を以て不戰條約文批准書並に宣言を發布することゝなつた、批准書並に宣言文左の如し

批准書

天佑を保有し萬世一系の帝祚を踐める日本國皇帝「御名」此の書を觀る、有衆に宣示す

朕昭和三年八月二十七日巴里に於て帝國全權委員が關係各國全權委員と共に署名調印し且つ第一條中の字句に關し昭和四年六月二十七日附を以て帝國政府が宣言する處ありたる戰爭拋棄に關する條約を閲覽點檢し右帝國政府の宣言を存して之を嘉納批准す

神武天皇即位紀元二千五百八十九年昭和四年六月二十七日東京宮城に於て親から名を署し璽を鈐せしむ

御名國璽

四十一ケ國代表出席し盛大な條約宣布式
けふホワイト・ハウスにて

【ワシントン二十四日發電】日本の批准書寄託を最後として愈効力を發生するに至つた不戰條約宣布式は、本日ホワイトハウスに於て莊嚴に擧行された、參集せる調印國代表者は四十一ケ國で式場たるホワイトハウスの東の間には馬蹄形に卓を列べ大統領フーヴー氏其主席を占めその右には前大統領クーリツヂ氏、左には同條約の主唱者前國務長官ケロッグ氏が坐し、米國上院外交委員長ボラー氏はケロッグ氏の背後に、又國務長官スチムソン氏はクーリツヂ氏の背後に起立し其他本條約に參加調印せる四十一ケ國の代表者は夫々外交團の順位により左右に居流れ露國代表のみは出席しなかつた、軈て大統領フーヴー氏の同條約の宣布の式辭を終りたる後、ワシントンにおける全外交團關係者はフーヴー大統領の賓客としてホワイトハウスの大食堂における午餐會に出席した、尙當日の宣布式は全部ラヂオにより全國に放送された

近くハルビンで支那側巨頭會議
萬、張兩氏ら赴哈

【武田特派員ハルビン二十五日發】黑龍江萬福麟氏は近々來哈し暫く滯在するものゝ如く既に旅館の準備も出來てゐるが、メリニコフ氏と會見するや否やは不明で、吉林から張作相氏も之と前後して來哈し巨頭會議が開かれる模樣である

支那民衆團體遽に反露氣勢を揚ぐ
更に日本をも漫罵

【上海特電二十五日發】露支間に東鐵事件の平和的解決意見濃厚となりつゝある昨今に至り、支那各民衆團體は遽に反露宣傳の氣勢を揚げるに至つたが、昨夜開かれた市民大會及び各路商商業聯合會大會にてはロシアが東鐵を利用して共産宣傳の本據とせるに鑑み一致ロシアに反抗して東鐵を回收せよと主張すると共に日本が此機會に乘じて攪亂を圖らんとするのを防止せよといつてゐる、而も奇怪なことには各種決議、スローガン中に日本とロシア及び共産黨を併立せしめて日本に漫罵を浴びせかけ商業聯合會の如きは露支交渉に乘じて日本は破壞手段を執る虞あるからその野心の挑發を防ぐため日本政府に警告を發すると共に日本民衆に忠告を打電することを決議してゐる

米國を介して日本の調停慫慂
國民政府が對內策上

【南京二十五日發電】國民政府は幣原外相と汪駐日公使會見內容の詳細なる公電其他英米佛等列强方面の情報を次々に接受して蔣介石、胡漢民、王正廷氏等時局對策につき議を練つてゐるが、國民政府の

露支問題に英米干與は反對
在哈獨逸領事の意見

【ハルビン二十四日發電】ドイツ領事は本日午前十一時八木總領事を訪問し勞農總領事館保管につき本國政府の訓令に接したので保管の任に當る事になつた旨の挨拶をなしたが、同領事は此際東支鐵道問題は露支兩國乃至日露支三國で解決すべきで、滿洲問題に英米を干與せしめる事の不利を述べ今回の米國の主張する露支調停運動には反對の口吻を洩らし同問題に對する日本の意嚮を訊したと傳聞する

琿春方面露人示威運動

【淸津特電二十五日發】去る十九日咸鏡北道西水羅の對岸、岸峰社のロシア人四百名赤旗を押し立て示威運動をしたが廿二日再び隣接部落で大示威運動をなしたに對し支那側は警備部隊を琿春方面に集中し萬一に備へてゐる模樣である

駐露支那外交官けふ引揚げ
勞農政府の旅券を得

【モスコー二十四日發電】駐露支那代理公使事務取扱以下館員は勞農政府より旅券を受け取り本日歸國するはずである

廣東の反露大示威運動

【廣東二十四日發電】露支國交斷絕以來省政府、黨部では輿論の統一に努めてゐたが、二十四日打倒ロシア帝國主義の大示威運動行はれ參加者約六萬陳銘樞氏以下の激勵演說ありそれより市內目拔を練り歩いたが當日租界等の警戒は嚴

廣東軍出動準備
陳氏より中央に打電

【廣東二十四日發電】廣東第八路兵と飛行機隊を派遣する旨中央政府に打電した總指揮部は陳濟棠氏の名を以て勞農討伐のため命令一下三個旅團の

勞農の感情緩和のため日本攻擊を開始す
奉天國民外交協會が

【奉天特電二十五日發】張學良氏の嚴命により排日を止め一致協力し勞農に對すと稱せられた張氏秘書杜重遠氏の主宰する奉天國民外交協會は二十日左の如き宣言を支那全土各級黨部、各省政府、各民衆團體及び各新聞社に通電し、日本は東鐵問題は軈て滿鐵の回收となるんことを虞、勞農ロシアを敎唆し支那との紛糾を大ならしむることとによりて漁夫の利を占めんとし新聞通信機關をして蠱惑的記事を滿載せしめてゐると、勞農ロシアの感情を日本を攻擊することによつて緩和すべく支那一流の宣傳を始めた

(前略)我國は勞農側の協定遵守を促し兩國の和平を圖るため五月二十日哈爾賓總領事館を搜査し、七月二十一日協定の實行を迫つた、這は全く今後兩國の和平解決を促さんがためで公利のあるところ勞農側も知らざる筈なく不幸事件の發生するが如きこと斷じてあるべきでない、然るに過日來日本全國は我が民衆がこの精神に基き引續き南滿の各鐵道侵略の野心ありとし恐怖の結果、露支間の國交を惡化せしめ漁夫の利を占めんとし、新聞により謠言を放ち兩國民を惑はすに努めてゐる・勞農側は最初それに惑されモスコーの民心を沸騰せしめたが、その後かの地の新聞は我國の措置には不滿足ながら支那の和平促成の意義あることを知り、二十三日勞農鐵道部長が勞農側の軍隊移動は

國民政府、突然西原借欵不承認
裏面に魂膽あるらし

【南京二十四日發電】國民政府外交部は本日突如西原借欵を承認せざる旨正式聲明を發した、該借欵に對して突然此擧に出た裏面には何等かの魂膽ありと信ぜられてゐる

楯の半面
辭める山本滿鐵總裁(二)

嚴父の總裁慈母の副總裁

奉天、春日小學校の講堂で催された社員告別式の席上、社員を代表した山西撫順炭礦長の挨拶のうちに

「山本總裁は嚴父のごとく、松岡副總裁は慈母のごとく……」と云ふ一節があつた、嚴父慈母の譬へ――こんな場合の、この種の挨拶として昔からよく言ひ舊された言葉で、言葉そのものに勿論何等の新味はないが、今更めて「山本總裁は嚴父の如く松岡副總裁は慈母の如く……」と繰返して見ると、過去二ケ年間の滿鐵における事實は全くその通りであつた、疊々山嶽の如き嚴父の總裁、洋々春海の如き慈母の副總裁――此の譬へは、何んと恰も昔から兩者の爲め準備されて居たやうに、ピタリと當て嵌るではないか。

◇――◇

その嚴父の山本氏と、慈母の松岡氏が今日の如き好配遇として結びつく、抑の緣固は果して何時ごろからの事であらう、それについてまた一つの面白い想ひ出で話がある――すなはち時はまさに我日本が國運を賭して世界にその存在を認められるに至つた、かの日露戰役の眞最中であつた、未だ若かりしころの松岡副總裁は、外務省の一外交官補として、初めて上海に赴任したのである。

西歐人の中に威張る一邦人

正副總裁最後の惜別行――こゝは奉天行き列車の一等室、山本松岡の兩氏が向ひ合つて腰かけた椅子の横側で、筆者は不圖思ひ出すまゝに、質問の矢を兩氏に向けた。

「私は曾て友人から面白い話を聞きました、それは何でも副總裁が初めて官補として上海に赴任された時――上海クラブの西洋人の間に只ひとり、傲然として威張つて居る日本人があつた、その樣子が餘りに目立つので不思議に思つて彼果して何者?と訊して見ると、それが外でもない、三井の山本条太郎氏、だつたと云ふのです、この話は果して眞實でせうか何うでせう?」

◇――◇

山本總裁はニヤリと笑つたまま直には應へず、松岡氏が膝乘り出して答へることに

「ウンそれは本當の話だ、但し稍內容は違ふ――と云ふのはだ、僕はその日本人が山本さんであると云ふことを初めて知つたわけではない、したがつて彼果して何者か、などの疑問を持つた筈もないからね」

と、更にいわくに

「もつともその當時、總裁が威張つて居たことだけは確に事實だがねハヽヽ、」

◇――◇

すると今度は山本氏が「何アに威張つてなんか居るもンんか、俺は只あたりまへに日本人の面目を保つて居ただけだよ」と、輕く否定して後、サモ感慨深さうに言ひ出した。

「成程さう云へばあのころ松岡君も大分若かつたね、まだほんの書生ツぽだつたからなあ……」

「いや總裁もまだ若かつたですよ、何にしろ男盛りの元氣旺盛で日本人と云へばジャップジャップと馬鹿にして居たころだ、彼等と對等にやつて居たのは總領事の小田切(萬壽之助)さんと貴方だけでしたからね」

この所、大滿鐵の嚴父慈母、いやに老人臭い昔噺を始め出したものだ、但興味しん〳〵たる話はなほも續く。【寫眞は廿三日遼陽滿鐵社員の山本總裁送迎】

荻川放談(70)
東支鐵道(其四)

世界無二の我儘者たる支那と露西亞、國際信義なんかは毫も彼等の念頭にない、それに向つて第三者の居中調停、否妥協勸告さへも無駄と思ふ、彼等の頭腦に國際信義が閃き出さない限り彼等を國際の外に立たしめ、振舞ふがまゝ互ひに喧嘩をさせておき、以て國際の難有味を呑込ますが善い、識者傳ふるところによると、支那は旣に此居中調停なり妥協勸告なりを望みありとか、并は國際の難有味を知るが如きも、其處に自分の信したる我儘の失敗を、國際の難有味で繕ひ貰はんとする擾着が潛むては、世界に國際利用の我儘者横着者の根が絕えまい、須らく世界は今度の本事件に關し支那を放りつぱなし置くべきであることに至ると露西亞は偉い、まだ少しの弱音を吐かぬ、尤も仕掛けられたる喧嘩であり、且支那を見縊つとる關係もあらうが寧ろ支那と反對に、第三者の容喙を許さぬとの態度に立つ、併し克く考へて觀ると、本事件惹起の根源は露西亞にある、若し露西亞に露支間の條約や協定を守るの誠意ありしならば、支那も之に我儘を働かし得なんだであらう。

◇

それで、如何に露西亞の態度が偉いと云つたとて、國際の精神からすると、何時かは露西亞の國際信義無視に對し、一本參らせてやらねばならぬのである、會々支那が凹んで哀れみを列國に乞ふ、その乞ふに與からなる國際信義無視の悔悟が見え出したならば、妥協勸告でもない、居中調停でもない、外國は本事件に干涉し、支那を立て露西亞を叩き、露支關係を相互に取交しある條約協定の純正なる地位に引戻すべきものであるまいか、斯く云ふも現在支那が弱音を吐き出したからで、若し情勢が之と反對となれば、勿論露西亞を立て支那を叩くことゝなる。

◇

如上の見解を持し列國が本事件に臨まんか、其處に露支兩國の自覺を喚起し、妥協勸告も居中調停も要らず、事件は圓滿に解決すまいかと思ふが、そう運はないなら干涉じや、さて干涉ともならば、誰か之に任ずべき、面倒のことながら、我日本を措いて他に適當の國はない、それは斯ふした干涉には威力を伴はしめねばならぬに、日本を外として此處へそうしたことを克くし得るはなく、況して此處に日本ほど深く利害關係を繫ぐがなきに於てをやで、日本は列國に代つて此役目を負ふべし、これ世界の爲め東洋の爲で、云ふ勿れ斯くの如きは不戰の精神に悖ると、決して然らず、是れ乃ち平和に向つての活動のみ、萬一にも斯くあらんか、列國は正に日本へ感謝すべし。

支那軍隊輸送問題
關東廳で協議會

滿鐵線における支那軍隊輸送問題に關し二十五日午前十時關東廳に於て福岡警務局長、大場保安課長、飯島高等課警部、鈴木外事課屬、關東軍の板垣高級參謀、花井參謀、滿鐵囑託佐藤少佐、太田滿鐵々道部運轉課長等參集して協議し大體具體案を得て十二時半散會したが細目に亘つて尙研究中である

(前略部分)……立場に在るが、確闘するに國民政府に勸告し來るものと信ぜらるゝに至つた

唐氏次長に復活

【上海二十四日發電】外交部長王正廷氏は露支問題等外交重要問題多事なるため常任外交次長を置くに決し引退中の唐悅良氏が復活就任することゝなり兩三日中に南京に赴くに決した

白露の侵入を防止するがため支那に對しては絕對和平解決の筈だと闡明してゐるが如きその尤たるもので、日本が荒唐無稽の謠言を放つことを立證してゐる、我が民衆は我が外交當局を擁護しロシヤに嚴重交涉せしむると共に日本の陰謀を防ぎ我が國外交の最後の勝利を獲得せんことを望む

進退は誰にも掣肘されぬ
山梨總督着京

【東京二十五日發電】山梨朝鮮總督は二十五日午前九時五十五分東京着十京したが「自分の進退は誰にも掣肘されない、用が濟んだら歸鮮するか否かまだ判らぬ」と述べた

畑軍司令官挨拶

關東軍司令官畑英太郎中將は來る廿七日午後六時半から旅順偕行社に於て着任挨拶のため在旅官民代表者一同を招待する筈

松岡副總裁社員に訓話
あす協和會館で

松岡滿鐵副總裁は二十六日午後四時より協和會館に於て社員に對し「獨身社員」を中心として一般社員へ」の題目で訓話する由

人事

▲山西恒郎氏(撫順炭礦長)二十五日八時半着列車で來連

大觀小觀

◇不戰條約本日より効力を發生す恒久平和具現の記念日たれ。

◇相手を監禁の儘外交折衝したが見事に撥ねつけられた。一寸例のないことだ。

◇植民地首腦部は一齊に辭めるが後任は暗中飛躍の鉢合せでなかなか決まりさうもない。

◇廿四日附で拓務大臣が木下關東長官に何やら訓電を發した。新聞の中で最も働いて而も一番あはてゝるやうに見える。

◇山本總裁は樂隊入りで歡送されこの人を送るには相應はしい。

◇不良少年の保護感化は急務である、不良少年を生む不良兩親の感化救濟は更に急務だ。

天氣豫報

二十六日(曇り後晴れ)南の風
日出四時四七分日沒七時十二分
滿潮前零時三十五分後一時
干潮前六時廿五分後七時卅五分

各地の溫度

	十一時	昨日最高
大連	二七、一	二五、〇
旅順	二七、〇	二四、九
營口	二六、一	二八、七
奉天	二五、八	二九、三
長春	二九、六	二九、一

けふ空晴れわたり 戰の日は遂に來た

大連商業で優勝旗の告別式 滿洲豫選大會始る

[illegible]來の曇天に氣遣はれ[illegible]ひに臨む七十餘名が[illegible]安東、撫順は勿論、[illegible]ウーミングアップに[illegible]ウンドに最後の練習[illegible]に參集の上野球部選[illegible]いに選手の首途を激[illegible]年度の優勝チーム大[illegible]に引率され本社本村[illegible]勝つも敗るもあと四[illegible]旗告別式】

惡疫流行の季に入り 家庭を脅かす赤痢

誘因系統は果實が一番多い 嚴重に虎疫も豫防

[illegible]の設備不完全な工場を監[illegible]これを改善せしめ市中の塵芥[illegible]の破損した物その他老朽物[illegible]飲食物、廢棄物の處置を周到なら[illegible]重にして夏期衛生の萬全を[illegible]方針であると

大連署

上海の

消毒を

營口で檢疫

[illegible]腺ペスト發生せるにつき當[illegible]では同地海港檢疫官をして[illegible]り入港する船舶に對し檢疫[illegible]に決し二十四日より檢疫官[illegible]ップ氏指揮の下に嚴重な檢[illegible]始した

埠頭の見學團

滿鐵埠頭においては從業員の常識涵養の一助として例年夏枯閑散期を利用して閑散期利用見學團を組織するが、本年も來月初旬左記名所を見學する事になりて甲乙二班の見學團を組織した

周水子紡績工場▲周水子小野田セメント工場▲沙河口工場▲滿蒙物資參考館▲工業博物館▲南滿瓦斯會社▲金福線

埠頭廣場に 丸太の山

閑散期の偉觀

夏枯れの大連埠頭、廣い構内ががランとして流石に閑散期の港の寂寥ぶりを見せてゐるが、埠頭廣場に松丸太が山の樣に積上られてゐるこれは樺太から老虎丸と云ふ船で積まれて來たもので總計約五千噸、用途は滿鐵沿線各地の杭木用と云はれてゐるが事實は四洮、奉海等の沿線各地から支那民屋建築材料とする爲であると

花柳病の 豫防勵行

逢廓組合で

花柳病の豫防に就いて關東廳衛生課では管下警察署に命じ種々具體的方法を明示しこれが勵行を慫慂して來たに拘らず主意が充分徹底せず取締末だしの感あつたが今回逢坂町遊廓では一兩日前總會を開き協議の結果

今後は男子用便所にも南滿電氣會社の發明にかゝる自働式溫熱洗滌器を備へ付け且つ旅順監獄に注文中であつた豫防劑納入の抽斗付女子用枕五百個も近く出來上るので一齊に之れを使用して花柳病豫防に努める事になつたと

小學校夏休み

市內各小學校は本日を以て第一學期の授業を終り明二十六日よりいよ〳〵夏季休暇に入るが各小學校では本日午前中夫々終業式を擧げ休暇中の心得について校長から訓話があつた

都市野球大會 出場チーム

十四都市代表の顏觸れ決る

來る三日から開始

【東京二十五日發電】第三回全國都市對抗野球大會はいよ〳〵八月三日から五日間に亘つて明治神宮球場に於て擧行されるが出場チームは左の十四都市代表と決定した

大連市（滿洲倶樂部）、京城（全京城）、門司市（門司鐵道局）吳市（全吳工廠）、神戶市（神戶實業團聯盟）、大阪市（全大阪）、京都市（全京都）、名古屋市（名古屋鐵道局）、橫濱市（全橫濱）東京市（東京倶樂部）、長野市（長野保線事務所）、高崎市（甲陽倶樂部）、仙臺市（仙臺鐵道局）、札幌市（札幌鐵道局）

組合せは八月二日午前九時半より東京日々新聞社樓上に於て抽籤に依り決定するはずで試合開始の三日は午前九時から入場式を行ひ十時より三試合、四日は九時より三試合、五日は九時より四試合、六日は午後一時より二試合、七日は午後二時半より決勝戰を行ふことになつてゐる

エレクトラで 樂士馘首

京城の喜樂館

【京城特信】映畫伴奏用エレクトラの出現により東京を中心として映畫館の樂士失業問題が起りその成行が注目されてゐる矢先、京城府本町の日活直營の喜樂館にては四ケ月間に亘るエレクトラ試用の結果、去る廿二日八名の樂士を馘首したので朝鮮映畫界の樂士連中は大恐慌を來してゐる

支那人の 恐喝

記者と僞り

小崗子泰山街二五四號松山（三五）は新聞記者と稱して去る八日漢字新聞關東報記載の小崗子大龍街吳服商廣盛福店員事件に就いて主人顧偏寧を恐喝せる事發覺數日前より小崗子署に取調べられて居たが、二十五日恐喝未遂として一件書類と共に法院へ送られた

說は本年二月頃春日町某新聞社に勤めて居た事あり又六月頃越後町某辯護士事務員たりし事あつたのを利用し某新聞記者の名刺を振廻して居たものである

歐洲行郵便物

支那發は遲着

露支國交斷絕以來日本業務と歐洲間に發着する郵便物は敦賀浦鹽間船便を利用することゝなつたことは既報の通りであるが支那發着のものは歐洲發郵便物は同線により遞送されるが支那發のものは當分の內日本の媒介に依り亞米利加經由發達することになつたので多大の遲着を免れないと

森山守次氏 追悼會

あす大蓮寺で

元滿洲日日新聞初代社長森山守次氏は豫て病氣の處去る二十日午後四時二十分大阪市外曾根崎阪急沿線芳正園に於て逝去したので明二十六日午後四時市內春日町大蓮寺に於て本社主催の追悼會を行ふ筈である

大阪商大の 旅行團

十六名來連

大阪商科大學本年度滿鮮支那旅行團一行十六名は朝鮮及び沿線各地の視察を了へ二十五日朝八時着の列車で鈴木陽作、杉武夫兩教授に引率されて來連、直に信濃町鎭西旅館に投宿した

本日は市內及埠頭、中央試驗場——遊園、沙河口工場、星ケ浦老虎灘、滿鐵本社、中央公園を見學、明廿六日午前七時五十分大連發列車で旅順に行き廿七日出帆の天潮丸で天津に向ひ中支各地觀察の上八月四日天津發同八日大阪歸着の豫定だと【寫眞は大連驛頭の一行】

近く諭旨退去

問題の支社長

大連山縣通り一一四某新聞支社長長屋計三（假名）は二十四日大連署高等係に呼び出され觀警部補より種々取調べられる處あり、廿五日午前十時には奉天本店より來連した重役下野重二郎氏態々大連署に出頭、長屋の不都合に關して懇々陳謝したが、長屋は支社長の職を解かれ大連署より公序良俗を紊すものとして近く諭旨退去になる模樣である

トロツキーの けふこの頃

土耳其の小島に佗住

息子のイワンに警戒の眼

【コンスタンチノーブル發】露支兩國の風雲急なる時勞農政府反幹部派の大立物トロツキーはどうしてゐるか、トルキスタンの流刑地から遙々此のヨーロツパの一角まで出て來たものゝドイツ入りも英國入りも叶はず立往生の態で今では當地から程遠からぬプリンセス島のプリンキポに元王族の莊大な別莊を借受けそこに夫人と令息とだけで昔に變るわび住居を續け例の自叙傳をセッセと書いてゐる。この夏はまづそこに落付いて又どこの國へか潜れ込む工夫をすることであらう。

◇

氣の毒なのは夫人で本國にゐる令孃二人と末の令息達の身の上を思つてヒステリー氣味になつてゐる。此の頃では夫人は何人にも面會せず家の中に引籠りきりで稀に夫君や令息と共に自動車で松の並木道をドライヴすることがあつても絕對に人を近付けず人目を避けることトルコ婦人以上だといはれてゐる。新聞記者連はしきりに夫人にインタービウを求めてゐるが決して會見しないので窓を通して夫人の姿を垣間見る位が關の山である

◇

コツク部屋での噂では夫人は讀書もあまりせず物云ふことも稀でたゞヂツと坐つたきりなさうである。そして又夫人は召使の者の話では非常なしまり屋で嚴格であると云はれてゐる。トロツキー一家の中で最も元氣なのは令息のイワン君である。父と共に嚴重な監視の下に置かれ政治に關係することを禁ぜられてゐるが流刑生活の中にも餘り屈託のない生活を送つてゐる。父トロツキー氏は今に健康からも政治からも見離されることになるかも知れないが第二世イワン君はその頑健な身體と若さを資本としてどんな前途を開展させるか分らない。ロシア本國政府がこのイワン君に對し凄い眼を光らしてゐる所以はそこにある（寫眞はトロツキー）

歐洲行は 浦鹽經由

每週月曜日一回

東支線に依る歐亞連絡は露支國交斷絕の結果杜絕され現在哈爾賓に立往生せる歐洲行き旅客は邦人、外人を合せて五十五、六名にも及んで居る、目下獨逸領事が之が連絡について斡旋中であるが何時埒が明くか今のところ判然せぬ狀態である、然しモスコー交通人民委員會よりの鐵道省への入電によればハバロフスク經由浦鹽モスコー間の連絡列車は平常通り運轉し居り、又敦賀浦鹽間の連絡船も定期に就航して居る由であるから歐洲行きの人々は之に據るが良いと、尙在滿者で內地まで引揚げて敦賀に出でずとも京城より淸津に出で朝鮮郵船にて浦鹽に出でる方法もある、國際列車の浦鹽發着時間は

浦鹽着	月曜日	十三時
同發	同	十五時三十分

敦賀浦鹽間定期船の發着は

敦賀發	土曜日
浦鹽着	月曜日
浦鹽發	水曜日
敦賀着	金曜日

夏を涼しく送る 日本一周の旅

巨船亞米利加丸で

◆出發と歸着　大連出發八月八日、九月二日大阪着解散、大連迄乘船券進呈

◆視察の箇所　青島、臺灣、長崎、宮津、北海道、樺太、千島、東京、日光觀察

◆參加の費用　Aクラス團費一五〇圓（月賦拂込の便法も有ります）

上甲板一面に日覆を施し藤椅子を設け全員に開放します。終日甲板上で暮されたらBクラスと待遇は同じです。一ケ月間凉しく、愉快な、健康增進の生活を考へて下さい。

◆申込所　ツーリスト・ビユーロー大連、奉天、營口、長春、撫順、安東、哈爾賓、天津、北京、上海各地案內所▲滿洲日報社、並支社支局▲大阪商船大連支店

主催　ジヤパン・ツーリスト・ビユーロー大連支部　滿洲日報社

後援　大阪商船會社

マキノ省三氏

マキノキネマの社長として日本映畫界に飛躍しつゝあつた牧野省三氏は廿五日午前一時腎臟病で逝去せる旨市內關係筋に入電があつた

日大生歡迎會

日本大學校友會では支那滿鮮視察の途明二十六日青島より入港の大連丸にて來連する日本大學商學部及び新聞學會學生二十名の歡迎會を同日午後六時三十分より伊勢町浪速ホテルルーフに於て開催する筈で會費は三圓（當日持參の事）同校友會員は是非御出席を乞ふと、出席希望者は齋藤篤太郎（電話四、七六五）及び內海安吉（電話四、〇五〇）兩氏方へ申込まれたいと

●●●●●●鈴木吳服店大賣出し　市內浪速町鈴木吳服店では夏物一切を現金買上げに對し廿五日は一割引廿六日は二割引、廿七日は三割引の破格投賣會を催すと

◇……滿鐵柔道部では昨夏野球團を組織し鐵道部と對抗試合をして二九對一三で大勝し大に氣焰をあげてゐたが主將の投手山田六段が肩を痛めたので一時やめてゐたが、最近陣容を整へ近く記者團に挑戰すると

◇……新台子驛夫韓致堂といふ男は去る二十二日長女が病死したので支那の慣習に從ひ高粱稈に包み犬に喰はれて成佛するやうに棄てたと手柄顏に話してゐる【鐵嶺】

◇……安東沙河鎭間の土木工事に安東支那監獄の囚人約四十名を日給二十八錢で使用してゐるが成績良好であると【安東】

平安異香(60)

葉多黙太郎作　中一彌畫

陷穽(二)

「それは本當のことでございますか」

驚愕に、泣き濡れた眼を大きく見開いた幸——幸はじつと師輔の顏に眼を据ゑた。喰ひ入るやうな眼だつた。

嘘であつてくれ——と思ふ。僞りであつてくれ。徒らな脅かしであつてくれ——愕きと憤りと悲しみの中に、必死の祈りがあつただが幸は失望した。師輔の返答を待つまでもない、その顏色で春光が捕はれたといふのは眞實だと直覺した。同時に瞼が熱くなつて、新しい淚がはら〳〵と膝に落ちた

「こたへたと見えるな娘。大分當惑してゐるやうだな。無理はない、可愛いゝ男が遠島になつて、再度とこの世で會はれない、といふのは悲しい話だ。遠島ならまだしもだが、おぬしの首つたけの男の首が、チョンと斬られてコロリと落ちて、泥にまみれて轉がるのは思ふても堪るまい。さうしよと思へば今夜を待つまでもなく、今の今俺が一口命令しさへすればいゝのだ遠島、打首御意のまゝだ。だが俺は無益な殺生は好まない性だ。殊に前途有爲の青年だ。助けてやりたいよだから娘、さう何時までも強情を張らずに俺の意に從ふのだ。な、いゝか。さうすりやーーさうだな、おぬしのいぢらしさに免じて春光を助けてやるよ。どうだ、それでも厭かな」

師輔は文机に頰杖のまゝだ。ねつとりと絡むやうにさう云つて、灯影にうなだれた處女の橫顏を見入つた。

が、まだ諦めの色が見へない。深い困惑に沈んで、思ひ惱んでゐるらしい樣子が、苦さうな息づきに窺はれるのだつた。

師輔はふと何かを思ひついたやうにニタと微笑む。

「おぬし達の年頃の娘は、よく貞操がどうのかうのと云ふものだが——」と師輔、狡猾さうな聲。

「そんな事を思ふて出世を取逃がすやうなことがあつては一生の不覺だよ。貞操つて何のことだい？何が貞操なんだ？それ見ろおぬしだつて知らない。おぬしばかりでない、誰だつて知らないのだ。云つて聞かさうか、實はそんなものは男の方便なんだ。女を縛つておく口實なんだ。男は女を獨占しておきたいからさ、だからおぬし……」

「……」

言葉なかばに女が顏をあげた。何か決心したらしい樣子だ。

師輔はしめたと思つた。それで言葉を切つて幸の脣の動くのを待つた。

「殿樣」

幸は眞直に灯を見つめて云つた。

「殿樣、私をお殺しなさつて下さい。そして春光樣も、あの方もお殺しなさつて」

「うぬ！」

瞬間、險惡なものが師輔の面をよぎつた。が、すぐにそれが殘忍狂暴な微笑に變ると、

「うむ、さうか。では俺の方では俺の方で、最後の手にとりかゝる

泣く喚くはおぬしの勝手。暴れるもいゝ、狂ふもいゝ。さあ始めるぞ娘、覺悟をするがよい」

狂暴な野獸は遂に牙をあらはした、師輔は遂に自分自身を狂奔する獸慾に任せた。文机を拂つて、突嗟に伸びる腕——。

「アレー」

叫んだが幸は逃げることは出來なかつた。肩へ手がかゝつたと思つた瞬間、早くも身體は抱き竦められてゐた。激しく波打つ男の胸だつた。頸に毛むじやらな太い腕が絡んでゐた。

幸は全身の血が凍つたのを覺えた。がたゞそれだけだつた。遂に知覺が薄らいで、ずん〳〵深みへ落ちて行く——。

「あゝ」

幸の心は叫んだ。いけない、いけない、あたしは氣絶する——知覺を失つた後のことを思ふと怖ろしい。今のうちに今の間に、舌を嚙んで……。

師輔は己の腕にぐつたりとなつた處女の、汚れのない眞赤な脣を眺めた。

貪るやうに女を抱きすくめてーーだが、その時、昏絶してゐるらしい處女の口が微に動いて、貝を並べたやうな齒並の隙間から、赤貝の身のやうな舌が押出されたのを、師輔は不思議なものに思ひながら凝視した。

映畫と演藝

杵屋佐吉師匠　八月來連演奏

長唄界の新人として歐米各地に晉樂の研究旅行をなし廣く三味線を世界に紹介し、また常に新曲物に手をつけて名聲のある杵屋佐吉師匠は今秋の朝鮮博覽會の新作長唄作曲の依頼を受け來月初旬京城に來るのを機會に當地の快樂其他長唄同好者有志は同師匠をはじめ松島庄三郎、杵屋勝五郎等一行十名を招聘し二日間滿鐵協和會館に於て演奏會を開催する筈で佐吉師匠は先年左團次と來連して以來五年目であると

映畫界東西

◇松竹蒲田では流行小唄「浪花小唄」を柳さく子主演で製作するマキノと競映

◇城戸蒲田撮影所長は都下一流の作詩者作曲家を招聘して晉樂部を新設した

◇大河內傳次郎の次回作品は佐々木味津三原作の「謎の人形師」と內定し相手役は伏見直江

滿洲日報

婦女界
新手藝・誌上展覽会

第一會場　第二會場　第三會場　第四會場　第五會場　第六會場　第七會場

手輕に出來る新手藝
▼凉味の溢るゝ銀紙細工を初め、夏の生活に直ぐ役立つ一流手藝家考案の新手藝を發表！誰にでも簡單に應用出來る點が特色！！

奥樣の趣味の新手藝
▼專門家以外の趣味の奥樣の頭と手とで、出來上つた獨自の味ひを持つ新手藝を發表！藝術味豊かなその出來榮えをご覧下さい

廢物利用の主婦の手藝
▼廢物利用であつて、しかも廢物利用らしく思はせない所に多大の苦心をした主婦の新手藝です。經濟と趣味を兼ねた新手藝！！

歐米で流行の新手藝
▼この頃の新手藝は殆ど外國から流行がはいつて來ます。新刊の外國雜誌から、特に日本人向きな小物手藝を擇んで親切に紹介

氣の利いた賣品から
▼街を歩いたり百貨店へ行つてみたりすると、非常に氣の利いた品が見つかります。特に目についた品の作り方を詳細に公開！！

手藝材料のいろいろ
▼この頃流行する新手藝の材料と、費用とを調べたものです。材料費の研究が第一です。手藝に趣味を持つ方々の見逃せぬ記事

衣類と附屬品の部
▼色々の動物の形になつてゐる幼兒用の食事前掛など、飛びつくような新案品です。其他最新流行品を紹介

特輯グラビヤ **婦人と手藝新風景**
新手藝を樂しむ奥さま方とその作品とを、グラビヤ版でご紹介…

小布と毛糸で下絵とおつくりになつた人形──小林やす子

出品目錄
出品は豐富、解說は懇切!!

- 銀紙細工とビーズ手藝……川村須磨子
- 服飾用髮飾用の造花……小幡繁子
- フランス形手提の作方……千葉和子
- ビーズ編應用ピアノ掛……山田松子
- 面白いゴンドラ織
- ワツクスの瓶細工……荒川喜美子
- クツシヨンと夏の手提……今泉(?)英子
- 風變りなパルトー作方……淺田滋子
- テーブルかけの編み方……田邊操
- 趣味深い花籠の作り方……寺島やす子
- 有合せの紐で絞染長襦袢……山田秋子
- 小布と靴下でお人形……今泉靜江
- 玩具發用象形手提作方……千葉智子
- 葉巻の空箱で作つた針箱
- 蚊やり線香の箱でビーズ入れ
- 面白い毛糸刺繍……川澄須磨子
- アプリケの應用法
- 洋服かけと洗濯物入れ
- クロスステッチと刺繍
- ラフイヤのクツシヨン
- 鏡に工夫した手提
- 龜甲紗の刺繍
- 高級婦人帽子の作方……佐藤ピアレット
- 幼兒用の食事前掛……三越子供部
- 安全腰巻の作り方……川原歌子
- 本号表紙寫眞の洋服……三越婦人服部

愛讀者の誌上整容美粧座談會
美人はどうすれば出來上る？
○石鹸、白粉、水白粉、粉白粉、クリーム、化粧水、洗顔料、洗髮料等一切の使用經驗談です。
○各人各種の美容秘訣の持寄り交換會です。美人になる秘訣の研究會です。ぜひご覧下さい!!

連載自傳 **越えて來た道**（都河主幹）
一投稿家から見出され滿九年間讀者を熱狂させた石井朋昌畫伯が本社を飛出す迄

濱口新首相夫妻を訪ふの記（太田菊子）
高速度的スピードの組閣ぶりに人々をアツと言はせた其翌日、首相夫妻との会見記

戀の浦邊条子篇（高山雪夫）
歌劇女優を振出しに、女給からキネマスター、一躍玉の輿に乗つた彼女の盛衰記

我が家の夏の自慢料理
- 魚料理七種
- 茄子料理三種
- トマト料理三種
- 鳥肉料理四種
- キャベツ料理三種
- 漬物六種
- 胡瓜料理四種
- 南瓜料理二種
- つくだ煮三種

合計卅五種!!すぐ応用のきく物ばかり!!これこそ主婦の必讀記事!!

眞夏の流行（子爵夫人 蜂須賀美子 / 瑞鵬）
- 酷暑時の外出着の着付……藤原綾子
- **洋髮競技會の入賞**（結び方六種）
- 季節向のドゼウ料理……橋本小次郎
- **關西式の麵類料理法**（貴志文四郎）
- 風味よきゼリーの作方……白十字堂主
- **汗のついた衣類の手入法**（大妻コタカ）
- 家庭遊び用具の色いろ……岸邊福雄
- **男子用白服洗ひ方**（正宗興四郎）
- 秋播き野菜類の作り方……白木正光

脚と足のダルさを治す法（野地繁久）
費用要らずで誰にでも簡單に出来るあんま術の秘傳を公開！大評判の家庭マツサージ講座

夏と子供に就ての座談會
出席者
井村延子　丹羽芳一　岡田道一　竹内茂代　竹内嘉兵衛　中河幹子　山田眞一　佐々木竜子　岸邊福雄　都河竜　太田菊子

夏の育兒はこれを讀んで初めて安心！難かしい夏の育兒について教育家、醫師、お母樣方十一方が痒い所へ手の届くように懇談された、眞に到れり盡せりの記事!!
○牛乳簡易試驗法　○晝寢のさせ方　○林間學校に就て
○アセモの手當法　○間食の注意　○暑中休暇に就て
○疫痢の時の注意　○遊ばせ方と玩具等々
何は置いても本記事ばかりは、ご覧置き下さい

盛夏の家庭衛生（福井博士）
夏負け豫防法アセモの良藥海水浴の注意等々

漫画紀行 **越後から佐渡へ**（涼しい漫文！居ながらにして旅の出來る讀物！）前川千帆・細木原青起・宮尾しげを

長篇小說 **明暗禍**　菊池寛（岩田專太郎畫）
中篇小說 **三つの結婚**　畑耕一（小田富彌畫）
探偵小說 **池水荘綺譚**　甲賀三郎（田中良畫）
長篇自傳 **自畫像**　藤原義江（長谷川露二畫）
中篇 **誰の愛**　細田源吉・大倉桃郎
長篇 松尾多勢子
長時代 **愛の獵人**　福田正夫
長篇 **淀君**（全文削除）

本號 **五十錢**（送料三錢）半年三圓廿錢 一年六圓廿錢（送料共）
東京市丸ビル三階　振替東京二九三七
婦女界社

永原小兒科醫院
大連南山麓柳町三三
共營住宅電車停留所前
電話七九八七

フランス刺繍並に各手藝材料
講習（月・木 午後一時より四時まで / 日曜日 午前九時より十二時まで）
トキワ町 まるひ屋
電話八五〇八番

高柳保太郎將軍著
日英兩文 五色旗たふる
三六判美本百八十頁　定價金六十錢（送料四錢）

好評嘖々
本篇は五色旗仆れて南京政府の樹立された頃から約一年に亘る支那の時事問題に觸れての著者の所感を蒐めたもので、英文としてマンチユリアデリーニウス紙上を飾り好評嘖々、論旨は公平にして私なきは既に定評あるところ、今英文の外、和文をも加へて單行上梓したから、讀者は一層の興趣を覺へるであらう。敢て識者の座右にすゝめる。

- 滿蒙觀　價一・五〇 送四
- 滿蒙手ほどき　價一・五〇 送四
- 新興支那とは何ぞや　價一・五〇 送四
- 支那の歩み　價一・五〇 送六
- 滿蒙の情勢　價一・五〇 送六
- 改訂最新滿蒙地圖（昭和四年版）定價金一圓 送料四錢
- 滿洲寫眞帖（昭和四年版）定價一圓五十錢 送料十錢

大連市紀伊町九十一
中日文化協會
電話三七四一一　振替大連二八五〇

今井小兒科醫院
大連市紀伊町二七
電話六〇五〇番

大連の紙屋
和洋紙各種
製圖小間紙
大連大山通
大光明洋行
電話七〇五九
振替大連三三四〇

最新刊
- 鳥居龍藏著 **西比利亞から滿蒙へ**　賣價三圓六十七錢送料十四錢
- 羽枝史郎著 **娘煙術師**　賣價一圓五十七錢送料十錢
- 古賀殘星著 **詩集煙**　賣價一圓五十七錢送料八錢
- 宇垣一弘著 **日本少年の聲**　賣價一圓八十九錢送料十二錢
- 石上欣哉著 **女優情史**　賣價一圓六十八錢送料十錢
- エムタソヴエトニン著 **外交十年史**　賣價二圓十錢送料十錢
- 田口稔著 **滿洲の地方色**　賣價一圓二十錢送料八錢
- 大谷光瑞著 **帝國之前途**　賣價六十錢送料六錢
- 村島歸之著 **善き隣人**　賣價一圓五十七錢送料十錢
- 蓬田鑛造著 **幕末百話**　賣價二圓十錢送料十四錢
- シユニツツレル著 **西洋十夜**　賣價一圓七十八錢送料六錢
- 石井春年著 **ナポレオン物語**　賣價九十四錢送料八錢
- 木村小舟著 **少年理科物語**　賣價八十九錢送料八錢
- 佐藤寛次著 **農産製造學**　賣價一圓五錢送料六錢
- 齋藤佐次郎著 **新ロビンソン漂流記**　賣價一圓三十六錢送料十四錢

最新刊
- レーニン著 マルクス主義批評論　賣價一圓五十七錢送料六錢
- 高田德佐著 受驗參考 答案（式化學問題解法粹）賣價一圓八十九錢送料八錢
- 榎本秋村著 英雄研究 ナポレオン秘史　賣價一圓五十七錢送料八錢
- 主婦之友社著 パンの作り方三十種　賣價六十三錢送料四錢
- 久保虎賀壽著 エーミルラスク 判斷論　賣價二圓七十三錢送料十四錢
- 古閑荘主人著 天下の人物（維新の巻）　賣價二圓六十二錢送料十八錢
- マグドナルド著 議會と革命　賣價一圓五錢送料六錢
- ヴアルガ著 世界經濟年報　賣價一圓五錢送料八錢
- 讀賣新聞社著 日本名寶物語　賣價二圓十錢送料十錢
- 西條八十著 新選西條八十集　賣價一圓五十錢送料八錢
- 三浦藤作著 參考東洋教育史　賣價三圓六十七錢送料十四錢
- 永島儀雄著 戀愛の神秘　賣價一圓五十七錢送料四錢
- 二葉主人著 平凡　賣價十錢送料二錢
- 蘇峯德富猪一郎著 第十冊 新聞記者と新聞　賣價五十二錢送料四錢
- 蘇峯德富猪一郎著 土佐の勤王　賣價六十三錢送料四錢
- 一岸一太著 神道の批判　賣價一圓七十八錢送料六錢

大連市大山通　滿書堂書店部

國際關係處理上に新に與へられた重大義務
不戰條約の効力威大
米大統領宣布式にて力說

【ワシントン特電二十四日發】本日の不戰條約宣布式にてアメリカ大統領フーヴァ氏は同條約成立の經緯を略說し規定條項を說明した後、左の不戰條約は文明諸國民の良心と理想主義とに愬ふるべく提案されたものである、同條約は國際法上新らしき手段を暗示するものであると、國際關係處理上に新しき理想を與へるものである、又戰爭の廢棄に對する本條約の威力は凡ゆる將來の國際關係、行爲に對して廣汎に感ぜられるであらうことを余は敢て豫言する、この本條約宣布の好機會と茲に効力を發揮せる同條約に對する強烈な義務觀念とに刺戟されたる我等は更に進んで凡ゆる機會を捉へて本條約履行とその中に陳述せられたる政策の進展とに努むべきであると力說した

幣原外相の宣布式祝電

【東京特電二十五日發】不戰條約宣布式に際し幣原外相は廿五日米國務長官スチムソン氏に宛左の如き祝電を發した

ケロッグ氏の命名と結びつけられたる條約がその効力を發生するに際し、余は衷心祝意を表せんと欲す、戰爭の浪費慘害を痛感し來りたる人類の覺醒を證明する本條約は國際關係に新機軸を劃するものにして、軍備縮少問題の如きも之を以て出發點となすを適當とすべし、この不戰條約が今や完全に實施さる〻に至りたるは余の最も欣懷とするところなり

英國首相、下院で海軍々縮を聲明
米國訪問は十月ごろ

【ロンドン特電二十四日發】英國首相マクドナルド氏は本日下院にて左の如く說明した

建艦中止 一九二九年度の海軍計畫中今秋迄は一切の契約を結ばず、又その進捗に着手することも一切許さない

英首相渡米 余のアメリカ訪問は十月頃決行すべく、我等は軍縮案に就ては各國の平和的要求を容認することが出來、又英米兩國の海軍が偕に均衡なるべき主義にて一致してゐる

軍縮豫備會議 英米兩國が先づ軍縮に對する豫備的意見の一致を見るとは列國の間に汎く意見一致を見る豫想である、先の余とドーズ米國大使との會見の內容はワシントン會議列席國に通牒してあるから、近く豫備會議を招集し總ての國が相集つて廣汎なる協約に到達すべく試みるであらう、右協約は國際聯盟の軍縮委員會に報告されるであらう

米大統領 歡迎聲明
海軍々縮に對し

【ワシントン特電二十四日發】英國首相マクドナルドの下院に於ける海軍軍縮の聲明はアメリカに於て歡迎されアメリカ大統領フーヴァ氏も歡迎の聲明を發した

米國も軍縮を發表
巡洋艦三隻の起工中止

【ワシントン二十四日發電】米國大統領フーヴァー氏は本日左の如く巡洋艦起工中止を發表した

米國は余が英國との間に成立すべしと期待してゐる海軍々縮問題最初的協定に對し米國政府海軍工廠に於て起工準備の整つてゐる三巡洋艦が如何なる効力を有するかを研究する機會に到達するまで右巡洋艦三隻を起工せぬ事とした

米國軍事費を大削減

【ワシントン廿三日發電】フーバー大統領は軍事費に大削減を爲すため全陸軍豫算調査の特別委員會を設置すべきを發表した、蓋し今日の軍事計畫では千九百三十三年にて其の軍事費は世界最大額に達すると

軍事費削減の主眼

【ワシントン二十三日發電】別項アメリカの尨大なる軍事計畫に對し新陸軍長官グッド氏が提案せる陸軍計畫修正案は、現在の計畫に依る軍事豫算に大削減を加へてアメリカの軍事費をして不戰條約及び海軍々縮交涉に依つて新たに釀成された世界各國の軍事關係に適應せしむることを主眼とす

樞府例定本會議

【東京二十四日發電】樞密院では暑中にも拘らず二十四日午前十時から宮中に定例本會議を開き

一、日本國とスペイン國間通商航海條約暫定取決めに關する件

外三件を上程各案共可決し十時半散會したが、幣原外相は本會議終了後各顧問官の諒解を求むる爲め特に居殘りを求めて露支間紛爭の經過並に之に伴ふ日本の態度方針につき詳細報告を爲した

露支會見不調に終りメ總領事即時歸哈す
支那側再び軍事行動を進めて張作相氏全軍を指揮

【長春特電二十四日發】廿四日長春で行はれた張作相、メリニコフ兩氏の會見は支那當局がその當時まで極秘に附してゐたが其後判明したところによれば、右兩氏の會見は全く豫め計畫されたもので事實は支那側が歸國せんとするメリニコフ氏を無理に引留めて張作相氏に會見させたものである、兩氏の間に立つて斡旋の勞をとつたのは蔡運江交涉員で、最近中央政府が稍軟化したので外國の調停ある前に兩國間で何とか平和的解決の途を講じやうと兩氏の間を往來し斡旋に努めた結果、漸く會見の段取りまで漕ぎつけたものである、支那側が廿二日廿三時廿九分發の北行列車を最後に軍隊及び軍需品の輸送をピタリと止めて今日まで一輛も動かさなかつたのは全く右の前提であつた、然し兩氏の會見が遂に不調に終りメリニコフ氏は即時歸哈することゝなつたので支那側は再び豫定の軍事計畫を進め一旦歸吉した張作相氏は近く自ら哈爾賓に出馬して全軍の指揮に當るものと信ぜられてゐる

メリニコフ總領事哈市へ

【長春特電二十四日發】張作相氏と會見したメリニコフ勞農總領事の乘つた客車は二十四日十時三十分其の儘寬城子驛に廻送したが、十四時二十分長春發列車に連結し蔡交涉委員李副理事長同伴多數の護衛兵に護られハルビンに向つた

監禁狀態のまゝメ總領事歸哈す

【ハルビン特電二十四日發】長春において張作相氏と會見のため赴長したメリニコフ總領事は談判遂に決裂となつた爲め監禁狀態の儘今夕歸哈した、これによつて見れば支那側は未だ今後メ氏を介して交涉の糸口をつけんとするものと見られる、只長春談判破裂を總ての決裂と見、また支那側が攻勢に出ると見るは早計であると消息通は觀察してゐる、しかし何れにしても東北首腦會議直後の長春談判は少くとも一兩日中に何等かの形となつて現はれ來るものとして注目されてゐる、なほメ氏の歸哈はメ總領事が支那側吉長鎭守使の警戒あると雖も武裝は斷じてゆるさぬ滿鐵構內にあつてメ氏にしても支那側の監禁から脫出せんとの意志あらば容易にこれをなし得る筈なるに、そのまゝ歸哈したことは一般にロシヤ側が日和見であることを裏書するものだといはれてゐる

支那側が誠實を示さば第三國の調停に應ぜん
廿四日幣原外相を訪問したる駐日ロシヤ大使強調す

【東京特電二十四日發】露支紛爭問題に關しロシヤ大使トロヤノフスキー氏は廿四日午後五時外務省に幣原外相を訪問懇談のうへ同六時歸館したが、右會見に於て幣原外相は「日本は現下の露支紛爭に就ては調停の意志ある」旨を婉曲に表明して露國が調停に應ずべき條件につき意嚮を質したところ同大使は支那今回の態度は毫も誠意が無かつたから今後支那が誠實を示すにあらざれば絕對に第三國の調停を受けない、しかして若し支那が眞に誠意を披瀝し武力によつて回收した東支鐵道を舊狀に復せしめ拘禁せる露人を釋放する等の具體的誠意を示さば、其の時は第三國の調停を受け入るべしと事前狀態回復を絕對的條件として强調し、別段何等決定することなく双方の探り合で午後六時會見を終つた

哈市の支那側要人重要會議を開く
南京、奉天側の軟化せるため新に對露方針を協議

【武田特派員ハルビン廿五日發】メリニコフ、張作相兩氏會見の後をうけて東鐵支那側幹部は極度の緊張を示し、今朝珍しくも八時といふに特別區長官張景惠氏の東鐵管理局前の公館へは呂榮寰督辦を始め蔡交涉員、范其光、李紹庚等の巨頭が車を連ねて參集し門前は自動車の列を作つて重要會議を開催した、會議は九時に開かれたが正午に至るも終了しない、議題は云ふ迄もなく蔡運升氏が昨日張作相氏から與へられた指令に基くもので、メリニコフ氏以下ロシヤ側要人の歸國問題よりも國民政府及び奉天側が最初の意氣込に反して急に軟化したに基因するハルビン支那側幹部の態度を決定すべき重要會議と見られその成行を注視されてゐる、會議中刺を通じたる記者に對し張景惠、呂榮寰兩氏は共に代人を以て「お察し下さい、お目に懸れぬ理由は遠からず判明します」と傳へ面會を謝絕した

長春分隊にて補助憲兵增置

【長春特電二十四日發】時局ますます急迫しわが長春憲兵分隊では憲兵の不足を生じ第三十八聯隊から兵五十名を借りて補助憲兵として二十四日から服務させる事となつた

北平公使團協議
廿四日東鐵問題につき

【北平二十四日發電】二十四日午前十一時より豫定の如く和蘭公使館に於て外交團全體會議開かれ英米白和各國公使、日佛代理公使全部出席、何れも緊張せる面持ちにて會議に入つたが、東鐵問題に關する情報は殆ど日本側獨占の感があつた、先づ各國居留民保護問題及び國際交通路遮斷善後策等につき何等かの決定を見るであらうと云はれてゐる

北平外交團 意見を交換せず

【北平二十四日發電】本日の外交團會議では東鐵問題に關する正式の意見交換はなかつた模様で國際交通遮斷問題に關する列國の商議はなほ多少時日を經たる後となるべくアメリカの調停又は支那の調停俟顯說具體化せば日、英、佛、米の四國公使の會議招集されるであらうと

更迭した滿日社長
（左）新任の高柳氏と辭任した山崎氏

不戰條約成立で和平勸告か
米國が各國と共に

【東京特電二十四日發】露支關係については未だ何等積極的に和平勸告調停等何等の行動には出てゐないことが明かになつたが、二十四日正午不戰條約成立と同時に列國と共に同條約の精神に基いて同問題に關し露支兩國の注意を喚起し、また和平勸告を爲すこともあるべく二十四日の祝賀式席上について米國務卿スチムソン氏よりこの問題について何等か言及するにあらずやと豫想されてゐる

國境における支那側の防備
大體の方針決まる

【東京特電二十四日發】露支國交斷絕に鑑み南京政府は東北國境方面に對しては張學良氏を、西北國境方面に對しては閻錫山氏を、新疆方面は金樹仁氏をして各防備に任ぜしむるもの〻如くである、張學良氏は目下責任の位置に立つを避け一々中央の指示を仰ぐに努めてゐる、なほ東北國境には吉林黑龍江兩省の部隊を第一線と爲し奉天省の部隊を第二線と爲す方針らしい

御挨拶

此度小生滿洲日報社長を辭任仕候に就いては在職約二個年の間大方各位より公私共に多大の御懇情を辱うしたる段感荷措く能はざる所に候將來も不相變御交誼を蒙り度御挨拶まで如斯御座候 敬白

追而行李匆忙取纏め出發のこと〻相成一々拜顏の機會を不得乍失禮以紙上御寬恕を希上候

昭和四年七月二十六日

山崎猛

東京千駄谷原宿三〇七

辱知各位

東鐵問題は單獨解決する
孫科氏豐臺で語る

【北平二十四日發電】東鐵回收善後策に關し政府の重要使命を帶びる鐵道部長孫科氏は今朝十一時豐臺まで出迎へた記者に東鐵問題は支那が全權として哈爾賓に赴く樣な事は無い對露交涉は朱紹陽が全權たるに決してゐる、露支は國交に斷交したが國際聯盟にも不戰條約關係にも支那は東鐵問題を持ち出す意志はない、中央に單獨解決法がある政府は和平解決を希望し、露國でも駐獨露國大使が支那公使蔣作賓の下に人を派し和平解決方につき商議してゐる

國際列車杜絕後
最初の外人旅客來哈す

【ハルビン特電二十四日發】歐亞國際列車杜絕後初めて六十名の外人旅客が當地に到着した、一行の語るところによれば彼等は國[…]十六露里まで鐵道を利用しそれから特別に自動車を雇ひ漸く國境を越えたもので、チタには列車不通のため立往生の外人多數あり、一部はモスクワに引返したものもあるが大部分はなほ列車の回復を待つてゐると

東鐵商業支部奉天に二つ

【奉天特電二十四日發】東鐵商業部奉天支部は支那側の罷免せるモロゾーフ氏前支部長の强硬なる態度と、所在地がわが滿鐵附屬地なるが爲め支那側も強制處分が出來ぬので、二十四日商埠地華北飯店に設けた新支部內で支部長邢玉灝氏は白露事務員を指揮して事務をとつてゐるこの爲め奉天には二個の東鐵商業部が出來たことゝなつた

國境守備協議 兵員を增加か

【ハルビン二十四日發電】張作相氏は張學良氏の代表として一兩日中に當地に來り張景惠、萬福麟兩氏と國境防備計畫を協議する筈であるが、露支交涉を有利に導くため國境守備軍を更に增加する方針であると、尙目下滿洲里方面には二萬、ボクラニチナヤ方面には一萬の守備軍があると

地方長官會議で
緊縮方針につき訓示

【東京廿四日發電】政府は財政緊縮の方針を貫徹すべく閣僚政務官等が時期を見て街頭に乘り出す事となつてゐるが、來月五日よりの地方長官會議にても、この方針を訓示する筈である、之れにつき安達內相は左の如く語つた

現內閣は一大決心を以て整理緊縮をなす事となつた結果、道路河川港灣等の事業も一時繰り延べの已むなきに至つたに就て我輩は曩に關西にて之等の地方人心への影響を見て來たが、識者は勿論地方民は國家を救ふため此の方針を好く諒解してゐる樣である、今後益々官民一致努力すべく之れに就て地方長官會議を機會に充分訓示して徹底せしめて置く方針である

黃河航運會社への補助金交附を中止

【東京二十四日發電】第五十六議會で問題となつた例の秋山政之助氏一派の支那黃河航運株式會社に對して航路補助金五百萬圓下附に關しては、未だ別動隊たる天來公司が運搬權を有するのみで會社設立に就ては形式上完備を見てゐないので遞信當局では補助金交附を中止する事に決定した

安樂椅子

▲關東廳には現在長官用の自動車を始め內務、警務兩局長用に財務部長と共用で合計九臺あり、濱口內閣の緊縮方針を遵守するなら三臺までに削除出來るといふ▲然し警察署の自動車を全部廢止すれば幾らか財源の緊縮になるだらうが、犯人を喜ばせる譯にも行くまい▲滿鐵總裁の月給が千二百圓と書いたのは誤りで實は之より多いさうだ、今まで知らなかつた山本氏に稍原稿書役が殊更少額に報告したやうに誤解されるとお氣の毒だから此に訂正して置く

國際列車
廿五日シベリヤ線に連絡か

【ハルビン特電二十四日發】歐亞連絡列車杜絕のため當地に空しく立往生せる歐洲行旅客は邦人十五名、外人四十名あり他にシベリア經由を斷念し南下したものもあるが、二十三日總領事及び獨逸領事が勞農領事と交涉のうへ二十五日二十二時五十分發國際列車は滿洲里にてシベリヤ線に連絡せしめることにほゞ諒解成れる模樣で、この列車にはメリニコフ氏も監禁を解かれて乘り込むものではないかと見られてゐる

支那側メ氏の引揚阻止か

【ハルビン特電二十四日發】當地勞農總領事館では、メリニコフ氏は廿五日十八時三十分發車で當地を引揚る豫定であるといつてゐる支那が更に同氏の出發を阻止するに至るやも測られないと見られる

波斯ル族叛亂
政府軍敗戰す

【テヘラン二十四日發電】當地に達した報によれば波斯の內亂でルール族叛軍に投じ政府軍と會戰した結果政府軍は約一千名の戰死者を出したと

南京軍官學校見學團

【奉天特電二十五日發】南京中央軍官學校政治科教官學生東北視察團一行三十六名は二十四日朝九時着奉、商埠地大陸飯店投宿張學良氏のお聲がゝりで特別待遇を受けつゝあるが、一行の視察目的は東北四省の軍事、黨務、政治、外交、社會狀態及び鐵道問題研究にあると云ふが本二十五日は航空隊、二十六日兵工廠、二十七、八兩日講武堂、迫擊砲廠參觀後東支鐵道問題發生のため北滿旅行を中止して長春吉林視察後旅順大連視察に向ふことになつた、因に一行の主なる者は團長萬金鑄、指導員張一淸、政治教授黑鶴大、醫師侯澤民、總務部長吳健、編輯長韓作人、交際部長郝逸源、宣傳部長錢正庄、黨務部長徐鴻濤、政治部長吳日夫、經濟部長李寶興、軍事部長宗夫問、文科部長劉如心、社會部長陸熙乾、外交部長吳越

關東長官に拓相訓電
露支形勢に鑑み

【東京廿四日發電】露支の形勢に鑑み松田拓相は廿四日木下關東長官に對し左記要領の訓電を發した

露支の形勢如何に依つては滿鐵並に附屬地に於ける我が特殊權益を侵害さる〻惧れあるを以て此の際露支の形勢の推移には特に注意を拂ひ機を逸せず報告を爲すと共に、支那軍隊並に軍需品の輸送等重大事項の措置に就ては其の都度本省に協議相成り度し

實行豫算査定の大藏省會議

【東京二十四日發電】實行豫算査定に關する大藏省會議は引續き二十四日午前八時半から開かれ午前中に大藏、陸軍、海軍、農林の復活要求に對する查定を終り午後は司法、文部、商工、遞信の分に着手し二十四日中に一般會計全部の查定を終へ各省にそれぞれ再交涉するに至る筈である、而して內務、大藏、陸海軍の復活要求中には尙最後の決定を與へぬ重要費目あり之等に就いては二十六日首相の歸京迄に井上藏相と各所管大臣と直接交涉に依り成案を纏め閣議には問題を留保せざる方針である

山崎代議士 廿六日離連す

前滿洲日報社長山崎猛氏は廿六日出帆香港丸にて東上の筈である、尙同氏と共に退社して上京する人々は八月上旬乃至中旬の間に相前後して離連の豫定である

關東廳辭令（廿四日附）

關東廳高等法院判官 行山義光
兼補高等法院上告部判官

關東州小學校訓導 堀江好雄
任關東州公學堂教諭

關東州公學堂教諭 柳ミヤノ
依願免本官

滿洲日報

露支事件の中心點を看よ

危機に瀕した露支兩國の關係は、その後も引續き危險狀態の儘であるが、此の事件の中心問題として我國の最も注意すべき點は、不合理なる手段を以てする支那の國權恢復熱と、陰險なる手段を以てするロシアの赤化政策である。露支國交の危機は實にこの兩國の詭計から起つた不詳事と謂はねばならぬ。嚴正至公なる第三者の立場より之を評すれば、露支兩國共にその態度が公明正大を缺ぎ、理義甚だ不透明であり、陰謀と陰謀の鉢合せであると謂つても、敢て過言ではないのである。

◇

支那の東北政權は常に赤化防止を唱へ、東支鐵道に對する措置もまた赤化防止の手段なるが如く聲明せるも、それが國權恢復熱の一發露であることは爭ふべからざる事實で、而も非合法的暴力によつて其の目的を遂威せんと企てたるは、決して他の同情を得る所以でない。ロシアは支那の暴力行爲を出來るだけ隱忍し、成るべく平和的手段を以て東支鐵道問題を解決せんとしたのであつたが、讓れば讓るほど益々伸しかゝつて來る支那の態度に辛抱が仕切れなくなつて、遂に七月十四日の最後通牒となつたのであらう。此の成行きから云へば、ロシアに暴力の最終手段たる武力行使を決意せしめたのは、支那の惡辣なる暴力行爲であると言つても、敢て不可なしと吾等は信ずるものである。即ち喧嘩を賣つたのは支那だと云ふことになる。

◇

無理押しの腕づくで喧嘩を賣つて置いて、先方がそんなら喧嘩を買はうと力み出すと、喧嘩はしたくない、平和的に解決したいとは、妙な心的作用といふべく、支那ならでは能きない不可思議な藝當である。謂ゆる自衛といふ好文字を捉へて、支那はたゞそれ丈けの武力的用意をすると言つたのも、同じ心理から考へ出した題目であらう。併しながら勞農ロシアの赤化政策なるものも、勿論決して公明正大なるものでは無く、彼のソヴエート組織の下に宣傳員を他國に潛入させ、マルキシズムやレーニンズムの押賣りをすると云ふことは、一種の思想的侵略政策とも言ふべきもので、國際道德の上から云つても許さるべき事でない。ロシア側の宣傳するが如く、ロシアが東支鐵道を支那赤化の最後の策源地としたか否かは不明だが、さう疑はれても仕方があるまいと思ふ。

◇

だが支那にロシアの赤い手を伸ばさせたのは、支那それ自身であり、嚴密にいへば、今の國民政府とその與黨たる國民黨であると云へる。此事は世界公知の事實で、吾等は已にこれを一言して置いたが、ロシアの赤化政策を十分に知りながら、一時的にもせよ、之れと手を握つた支那の國民政府と國民黨は、餘り大きな聲で赤化防止は言へない筈である。一昨年四月の北京ロシア大使館臨檢事件は、赤賊討伐を逓呼した當時の北方政權の非常手段であり、哈爾賓ロシア總領事館への手入れは之を模倣したものと謂ふべく、廣東共産黨事件のため、國民政府もその年の十二月に廣東ロシア總領事館の包圍搜索を行ひ、對露國交斷絕を宣言したが、斯んな事が起つたのも、支那がロシアと一時餘り手を握り過ぎた結果であると謂はねばならぬ。

◇

ロシアは支那本部に何等の權益を持つて居らず、その權益と認むべきものは北滿の東支鐵道位ひだが、赤化防止の名の下にこの唯一の權益を支那に回收されることは、ロシアの甚だ苦痛とする所であらう。支那の非合法的なる暴力行爲を忍びに忍んで來たロシアが、遂に劍を按じて起つに至つたのは、心事諒とすべき點あるも、主義押賣りの赤化政策には感心能きない。ロシアは此の機會に思想的侵略政策を放棄すべきであらう。若しそれ不合理なる詭計的手段を以てする支那の國權恢復熱に對しては、今次の事件に鑑み、我國も亦大いに注意し警戒するところがなくては成らぬ。

東支問題に關する露支の豫備會議　哈爾賓に於て開催か

【哈爾賓】當地支那側では南京政府の特派した朱紹陽氏の來哈を待つてゐるが、氏の使命につき露字紙の傳ふるところによれば、朱氏は紛糾せる東支問題解決のため露國政府と交涉すべく赴莫するもので當地には多分滯在しないだらうといつてゐるが、別にまた露國側全權セレブリヤコフ氏の來哈說が再び傳へられてゐるから朱氏の旅程も變更され、或は當地において東支問題に關する露支豫備會議が開かれるのではないかとも見られてゐる

故意に辭職する者は逮捕して處罰す　東支從業員に對して　范管理局長より嚴命

【哈爾賓】東支鐵道のソウエート側從業員が時局に憤慨してドシドシ辭表をたゝきつけて出勤しないため、東支鐵道では白系露人を狩集め補充に努める一方、范其光管理局長は再度の嚴命を發しこの際故意に辭職するものは逮捕し相當の罰に處すべき旨を布告した

露人を逮捕　鐵嶺支那官憲が

【鐵嶺】北滿の形勢頗る重大化し險惡となつたので危險と見た露人は續々南下し、鐵嶺にも數名の露人が憔悴れた姿を街頭にさらしてゐたが、城内の支那宿に入つたところを支那官憲では直に捕へ五六名の者を公安局に抑留してゐるやう

東支商業部の奉天支部問題

【奉天】東支鐵道商業部奉天支部長モロゾーフ氏は事務所の經費問題で强硬なる態度に出で、千代田通りの支部事務所はそのまゝ閉鎖されてゐるが、新支部長荊玉璞氏等は今回范管理局長から任命し來れる白系二露人と共に今回南市場華北飯店内に支部を開設し、廿四日より事務を見ることゝなつたと

管理局副局長任命

【哈爾賓】東支鐵道支那側理事季紹庚氏は今回同鐵道管理局副局長に任命された

考古學上疑問の南京城趾か　龍井村の西北にて新城趾發見せらる

【間島】考古學上の疑問となつてゐる南京城址は間島地方にあるとだけで、其の所在に就いては從來學者區々とし古くは內藤湖南博士や朝鮮史編修囑託川口卯橘氏、近くは城大の鳥山教授などが研究しそれぞれ推定を下してゐるが、文獻からすれば疑問づきである、ところが最近龍井郊外の水南村で、印紋瓦の南銅物と銅鏡を發見した總領事館警察部の木川警部が右の發見に力を得て奧地勝覽に書いてある「西北の山城」といふのを探査中、正に西北に當る山嶺に新しく城址を發見したので同氏は打悅び目下調查の手を進めてゐるが、若し之が文獻にいふ處の西北の山城でないとしても新しく城址を發見したことは間島の考古學上に一大貢獻としたわけで考古學者の大に喜ぶ處であらう

場所は 龍井水南村を距る西北約一里の地點、馬鞍山に聳える通稱三山洞の尖つた山で、西北の山麓平地から約三百五十メートルの高さ、東南の平地から約二百メートルの高さを持つ全山片麻岩から成る峻嶮な山で、その恰好は恰も朝鮮の紗帽狀を呈し、山嶺に

國民政府の對外宣言（上）　露國の對支國交斷絕に對し十九日發表したる

【上海】ロシアの對支國交斷絕に對して南京政府が十九日發表せる對外宣言は左の通りである

◇

一九一九年より一九二〇年に至る間に於てソウエートロシア政府は一再ならず支那人民および政府に向つて宣言を發表したが我支那人民および政府はその聲明平和の素願にもとづき、遂にその

兩國の 邦交を確立し坦懷之を接受した、一九二四年露支協定を訂結して我政府および人民は常に坦白互助の精神に基き誠意を以て相對して來た、しかるに一九二七年支那南北各地に於てソウエート聯邦は在支大使館領事館および國營商業機關を利用して赤化宣傳

共產黨庇匿、支那政府顚覆および支那國家社會破壞を陰謀せる事實發覺し、支那政府は遂にソウエート聯邦駐支使領の承認を取消し、ソウエート聯邦國營商業機關の營業を停止し以て禍亂を防止し、相手方の自發的覺醒を促さゞるを得ざるに至つたその後國交漸次恢復せるため北支那に非正式滯留せるソウエート聯邦使領人員、商務代表およびその他國營事業機關に對しては一に

寬大を 旨として現狀を維持して來た、しかるに何ぞはからん本年五月二十七日北滿一帶に於けるソウエートロシア共產黨領袖は哈爾賓ソウエート領事館に於て第三國際共產宣傳大會を開きたるところ、東省特別行政長官は現場にてこれを逮捕し、支那の統一破壞、暗殺團組織、東支鐵道爆破等各種の秘密文書および種々の赤化宣傳內亂助長の證據を搜查獲得した而して逮捕犯人は多くは東支鐵道重要職員、東支鐵道職工聯合會、ソウエート聯邦中央商業聯合會、商船局、極東石油局、極東國家貿易局等の機關の支配人および委員であつたので該地方當局は亂源を杜絕し、治安を維持するため東支鐵道に對して

相當の 處置をとるとゝもに上述ソウエート聯邦の各機關を封鎖せざるを得なかつた

素燒の水甕や、古瓦の破片がすでに夥しく掘り出されてゐる

代のものと違つた

【間島】……の一角に凹起した面積六十間四方の堡壘然たるものがあり、これは自然岩盤であるが長さ卅間と四十間の二段の石垣をめぐらし、その凹起の下に七十五間四方の平坦地があり目下耕作されてゐるが、近代のものと違つた素燒の水甕や、古瓦の破片がすでに夥しく掘り出されてゐる、山嶺に立つと銅佛寺及び局子街平野、頭道溝平野、東盛湧平野並に之に位置する銅佛寺、局子街、頭道溝、龍井等の都邑は勿論一眸のうちに收まり四方八方展望の利く要害である、二十餘年前右山鹿に住む鮮人古老の談によると同嶺から矢鏃や石斧やうのものも今日までに多數發掘されたとのことである

現金な支那官憲　鮮農壓迫根絕

【撫順】露支間の風雲急を告げると共に撫順縣下及びその背後地、興京、通化、桓仁地方の中國官憲の邦人に對する態度は極めて友誼的になり、鮮農壓迫の如き不祥事が根滅した、今まで諸種な名目で鮮農を搾取し中國地主を援護して高調してゐると

ゐたが、近來はその態度が頗る公平となり寧ろ鮮農側の肩を持つ位である、且不逞鮮人の討伐逮捕等にも協力的厚意を見せ日支親善を

文書に調印し完全に解決　數ケ月紛糾を續けた　撫順の鮮農問題

【撫順】數ケ月に亘り紛糾を續けてゐた農業公司對鮮人農民組合間の問題も奉天領事が仲裁する事となり二十四日十一時の列車にて文副領事來撫し、直に撫順驛樓上に於て田村り三氏、鮮農側は金組合長外二名、大林署長、蜂須賀高等主任等列席の上最後の協定に移り相互に理解ある計らいの爲疾風的に解決した、

即ち公司側は當初の聲明の如く同部落鮮農七十一戶に對し將來同公司の存續する限り鮮農一千人の生活の安定し得るやう小作地を耕作せしめる事、楊家溝水溝及從來鮮農の小作權ある三十町步の水田の權利に對し文副領事大林署長等の適當と認むる金額を支拂ひその代り前記各權利を公司側に讓る事とし十八時十分朝代表者間の話は

完全に まとまり文副領事は二十四日十八時四十分の列車にて一まづ歸奉林總領事に顚末を復命し、二十五日早朝再び來撫關係鮮農全部をあつめ右交涉の詳細を說明し再び紛糾の起らぬやう正式に文書を作成各調印、さしもごたくしてゐた同問題も茲に目出度く解決した

百五十馬力のモーターに交換　奉天給水塔の能力增加

【奉天】十萬人の給水に堪へ正に東洋一の大を誇る奉天の新給水塔は昨年十一月卅日完成しそれと同時に百十馬力の吸水モーターを据えつけ一時使用してゐたが、モーターの破損により現在は舊給水タンクを使用してゐる關係上送水壓力小なるため遠距離にある高層建物の屋上までは給水不充分な嫌ひがあるが、奉天地方事務所水道係では目下前記百十馬力のモーターに代へるに百五十馬力のモーターを英國に注文中で該モーターは八月下旬までには到着する筈で、更に之が据へつけ工事に一ケ月を要するから新給水塔を使用するのは十月にならうと、猶新給水塔に龜裂を生じ使用に堪へぬ噂が傳へられてゐるがそれはその給水塔工事時期が結氷期に入つたためモーター內部の附屬が不十分であつたためで、既に之も完成したので給水は全く支障はないと

宇佐美部長一行の動靜

【哈爾賓】宇佐美鐵道部長一行七名の消息は一時全く杜絕しその安否さへ氣遣はれてゐたが、二十三日鳥蘇浦鹽商業部より當地國際支店への入營によれば、右一行は皆無事で目下ハバロフスクより浦鹽への途中にあり、浦鹽には二十五日到着翌二十六日同地から金剛山丸にて海路淸津に向ひ、元山京城經由歸哈の豫定であると

〆總領事沈默

【長春二十四日發電】張作相との會見後メリニコフ總領事は頗る亢奮の模樣で、永井長春領事にも個人の資格で來たからと稱して面會せず、記者團にも時局問題には口を緘して語らなかつた

葬式と花環　哀愁生

大連に於ける葬儀が年々華美に流れる傾向が近頃特に著しく吾人の眼に映じて來た、其の中最も甚しきものは即ち花環の殖えた事である、知人の不幸に對し哀悼の一禁じ難くその葬儀を盛んにすることは友情心の發露として誠に結構ではあるが、一面純心であるべき花環の使用を沒却して自他共に之を廣告に利用する卑劣な人もある樣だ、又公私を混合した名札を見受けることも少くないのは不愉快な事實である、而も喪主の方では難有迷惑に感ずる場合が往々あるから花環を供へるものは廣告めいた不純な下心や虛榮心にかられず必要な場合に限つて双方の地位と身分とを考慮に入れ相應しいものを贈つて欲しい、次に花環の損料は甚しく高價である、之其證據には近頃市中に葬具屋が增加したことは彼等が暴利を貪る反面の事實を語るものであると思ふ、何とか其筋で相當取締りをして欲しいものだ、今や政府は緊縮方針を樹て自ら範を垂れて財政の立直しに腐心してゐる際である、國民はお互に華を去り實に就くことが急務であり花環の如きも一些事として看過することは許されない

投書歡迎　中傷を目的とするのは採らず　新聞行數五十行以內のこと

商品

◇後場

銘柄	約定期	値段	枚數
麻袋（保合）			
錢鈔	延七月末	三五〇	二〇
出來高	一萬枚		

◇定期

銘柄	約定期	値段	梱數
綿糸（保合）			
福助	十一月限	二二九、〇〇	一〇
出來高	十梱		

錢鈔

◇定期後場（單位錢）

期	寄付	高値	安値	大引
近期	九二三五	九二三〇	九三三五	九二二五
遠期	九二三〇	九二三五	九二一〇	九二三〇

神戸期米

限	後場寄	後場引
七月	二四四七〇	二四五三〇
八月	二四五八〇	二四六九〇
九月	二三八三〇	二三八三〇
十月	二二九〇〇	二三九〇〇
十一月	二二一三〇	二二一三〇
十一月	二一九四〇	二一九一〇
十二月	二一七一〇	二一六七〇

東京期米

限	後場寄	後場引
七月	二七八〇	二七七九
八月	二七七九	二七七四
九月	二七二九	二七三三

大阪期米後場は休み

限	後場寄	後場引
七月	二七八〇	二七七八
八月	二七一七	二七一六
九月	二六九八	二六九〇六

橫濱生糸

限	後場一節	後場二節
七月	一三一〇	一三一一〇
八月	不申	一二八六〇
九月	一二六五〇	一二六五〇
十月	一二六一〇	一二六五〇
十一月	一二六五〇	一二六八〇
十二月	一二六一〇	一二六七〇

滿日地方版

奉天

四十餘名がお嫁に行く
自働式電話開通で辭めた交換姬たち

奉天郵便局における自働式電話開通と共に永年電話の交換事務に携はつてゐた百卅五名の交換手は不必要となり從つて全部お拂箱にされる譯であるが、自働式電話開通後も市外その他に事務員を要するので百卅五名の中希望者を採用することゝなつた、しかしこの機會に結婚するもの又は事務をやめて內地に引揚げるもの合計四十七名もあり、故に事務希望者は八十八名で今度は却つて不足を感ずる狀態に陷つた、そして四十七名中殆ど全部が結婚するもので中には姉妹揃つて花嫁になると云ふ芽出度いものもある、なほこれまで克己精勵よく事務に携はつた人に對しては自働式電話開通を機會に表彰式を行ふことゝなつたが多分八月上旬にならうと

電氣展を開催
二十六日から五日間

南滿電氣奉天支店では一般電氣智識普及のため廿六日から五日間每日午前九時から午後十時まで大々的に電氣展覽會を開催することゝなつたが、今回は最初の試みであり且つ奉天に見られぬ電氣に關する各種の材料が陳列される筈で一般から非常に期待されてゐるが、陳列品の主なるものは左の通りである、入口には送電線の鐵塔二本に裝飾をこらし內部は十室に分つ

第一室 照明の智識に關する說明
第二室 新式器具展覽會即賣をなす市中各電氣商店からも各種出品あり
第三室 西洋間の應接兼居間の模型同室には電氣寫眞の設備あり
第四室 寢室の模型
第五室 炊事場の模型
第六室 レントゲン醫療器
第七室 中央廣間 舞臺照明の模型、奉天市街夜景の模型、電氣科學を說明する模型、自働交換臺の模型、水力及び火力發電所の模型
第八室 東京電氣照明に關する出品
第九室 アイスクリーム、菓子の實演同室では該品實費提供
第十室 休憩室

大相撲
千秋樂勝負

日本大相撲常の花一行の千秋樂は前日に比し更に人出多く大入滿員の盛況を呈した、中入後の勝負左の通りで一行は廿四日夜奉天を引揚げ鞍山に向つた

勝	負
綾櫻	栃の森
蘇の里	常盤野
出羽ケ嶽	大島
常陸島	高の花
武藏山	常陸嶽
天龍	若常陸
和歌島	新海
外ケ濱	玉碇
三役	
信夫山	若葉山
常陸岩	山錦
常の花	大の里

ご覽なさい、何と可愛い、そして涼しい寫眞ではありませんか、これは熊岳城溫泉に聚落してゐるたくさんの團體の內熊岳城小學校の一組ですが、いま朝のお勉強を濟まして彼等のお庭に飛込んで來たところです、どの子供も色黑々となつて水を跳飛したりお友達に戲れたり砂地を掘つたりしてゐます、そして時々彼等の樂しい溫泉聚落の歌がさんさんたる眞夏の陽光を搖かして涼しい風に送られてきます

溫泉聚落の歌

一、川面を渡る夏の風、岸邊の柳影涼し、流るゝ水の淸らかに、嬉しきこの地熊岳城
二、朝、夕べに湯あみして、川瀨をかけろ面白さ、岸邊並木の夕涼み、樂しや我等の溫泉聚落

神社問題判決
來る卅一日言渡

この程總領事館に告訴提起中であつた本溪湖神社問題の第一回民事公判は廿四日午前十時から同館法廷に於て開廷され、來る卅一日判決言渡しをなす筈で目下反對者側に對し業務妨害を以て警察の手で取調べ中である

虐待されて家出した二人の女

兩親なく叔母に當る身賴の許に厄介となつてゐたが、その虐待に堪へかね苦勞するなら滿洲まで行つて共に稼ぎ少しなりとも恩返しをしやうと堅い決心をなし來奉した從姉妹同志の年若い二人の女性がゐる、その一人は長崎縣生れ山本千代子假名(二〇)今一人は小田敏子假名(一九)と稱し、兩人とも平壤にある時敏子は叔母が料理店を開業してゐる關係上酌婦を迫られ身の不遇をかこつてゐる折柄、千代子はその叔母が餘に有福でないため色々虐待され遂に敏子に同情し互に打ち解けた身の上相談に淚ぐましい覺悟は定められ、共に平壤の叔母の許を無斷家出し十八日安東まで來り安東署でその由を打ち明けた處、安東署でも大に同情し一應の解決は同署でなすことゝになり兩人は喜び勇んで廿日奉天に來たものであるが、奉天でも大に之に同情する人あり仲介の勞をとつて某旅館に傭はることゝなつた

旅順スケッチ
(四) 河野青陶

博物館の人氣物で旅順きつての水の達人

寸暇もなき鮮かなクロウル(背泳)の多忙さには氣の毒さをむしろ感じる この子身體に似合はぬ象の樣な泣き聲をする

奉警軍大勝
熊岳城實習生との劍道試合

奉天警察署對熊岳城農業實習所生の對抗劍道試合は廿四日午前七時から奉天署演武館に於て擧行され兩軍とも善戰したが、結局奉警軍は廿三對十七で不戰二組を殘し大勝した

蚖牛哨に馬賊

蚖牛哨驛を南東に距る六支里の地點にある支那部落に廿三日午前三時五十分頃數名の馬賊襲擊し劉某方を燒き拂つて逃走した、原因は劉に對する何等かの遺恨らしいと

運轉手の試驗

奉天署では來る廿九日午前九時から自動車運轉手の試驗を行ふことゝなつたが、受驗者は日本人九名支那人十名露人五名合計廿四名であると

步兵市街演習

松井師團長の臨時檢閱に係る我奉天步兵第卅三聯隊の奉天市街演習は廿四日午前六時から一時間に亙つて行はれ千代田公園に於て講評

人事

▲松井第十六師團長 廿四日來奉
▲岩井少將 二十四日來奉
▲乾奉天署長 廿四日歸奉

熊岳城

小學童溫泉聚落
成績極めて良好

滿鐵沿線各小學校中の虛弱兒童として特に選ばれて保健靜養の爲め集つた溫泉聚落兒童一同は既に聚落期間の半を過ぎた今日、虛弱そうに見えた兒童も砂浴、水浴、溫浴の結果と適當の慰安を與ふる精神保養との結果が頗る快活に身體も日燒けして丈夫になつてゐる樣だ、彼等可憐の兒童等の口より木蔭のベンチに戲れながら樂しき我等の溫泉聚落の歌が涼しく洩れてくる

鐵嶺

鐵道復舊工事に
保線區員の大努力

亂石山附近の水害は既報の如く列車を停むるに至り二十二日應急工事の結果下り線のみを使用單線徐行運轉により辛ふじて上下列車の運行を見てゐたが、鐵嶺保線區では磯谷區長が總指揮となり全員を督して現場の復舊を急いでゐたが何分にも一面の泥海であり東部から流れる水勢は烈しく盛んに上り線の橋を洗ふので工事の如くならず、何れも野營と食料の必需品を攜行疲れたる者は眠り癒えたる者は働くといふ眞に晝夜兼行の努力を續け、磯谷氏は全員指揮の爲め全く不眠不休淚ぐましいまでに全力を盡した結果、二十二日午後二十二列車より上り線の運行を開始するに到り全く復舊したが、連日の工事に磯谷區長の努力振りは筆舌に及ばず近親者は何れも其絕倫なる精力を嘆賞した

自働警鈴設置
滿鐵社宅に

當地滿鐵社宅では今回盜難豫防の爲め自働警報器を社宅係から配給設備する事となり二十四日三十五戶を取付けたが、成績によつて全部に備へ付ける筈であると、此警報器は扉の開閉每に自働的に鈴が鳴り響く裝置になつてゐる

聚落兒童歸る

星ケ浦海濱聚落に參加した鐵嶺小學の兒童は二十四日十時半着列車で何れも元氣よく歸鐵し、久し振りに出迎への父兄を見て喜び眞黑な顏に白い齒を見せてゐた

店員指導講演

滿鐵商工課主催井關教授の在滿邦商經營直接指導は各地に亙つて實施せられ、指導班は本月二十五日來京出發渡滿の由なるが、鐵嶺には美川多三郎氏來鐵し八月二十四日より廿八日まで(中一日休み)四日間每日二軒宛を指導するに決定、二十九日は店員指導の講演會を催ふすと

鐵ホ移轉新築

淋れ行く居留地は年々益々居住邦人の轉出を見つゝあるが、又復由緖深く例へ居留地に邦人の人影が無くなつても引揚ぬと頑張つてゐた鐵嶺ホテルが移り行く世相には抗し得ず、加えて二十有餘年の歷史ある建物も老朽となり改築の急に迫られたので當主中野氏も愈居留地に見限をつけ施設の完備した附屬地移轉の肚を決め、物色の結果五條通元淸水病院の跡に移轉と決定したといふ、同病院跡は目下益濟寮修繕の爲め獨身者が居住せるを以て益濟寮の改修終ると共に移轉する模樣であれば多分九月下旬頃にならう

疫痢で死亡

廿二日疫痢の爲め入院した當地機關區宿舍日色智惠子(六つ)は二十三日遂に死亡したる由、鐵嶺では疫痢の死亡者二名子を持つ親達は注意が肝要

庄野巡查轉任

鐵嶺警察署庄野文雄巡查は今回旅順警察署に轉任二十四日出發赴任した

今日の案內(廿六日)

◇宮森教授講演會 滿鐵主催の宮森東大教授講演會は午後七時半より小學校講堂に於て開催す演題は「芝居の觀方」入場無料多數の來場を望むと
◇河合の出張廉賣 お馴染の既成洋服廉賣大連河合商會は本日から二日間商品陳列館で夏物最終の投賣をすると

開原

淸河流域の鮮農
洪水の災禍甚し
家屋流失し食糧品缺乏
附屬地鮮人救護に奔走

去る十六日豪雨の爲淸河及び其他諸河川共增水氾濫の爲め同流域の水田事業に從事せる鮮人等は家屋は殆ど

浸水 倒壞流失し漸く身を以て高地へ避難し居るが旺哆蘭東の如きは十四戶全部倒壞流失し附近の墓地が漸く水面より浮び出で居るを見て之に一同避難し、安平麻袋等にて雨露を凌ぎ居たるが、第二回目の出水にて遂に此墓地も膝を沒するまで水に浸る事となり小兒老人等三十餘名を支那部落に送り一、二室を借りて起臥せしめ、他の壯者四十餘名は尚同墓地にて日を送り居るも食料缺乏し飢餓に瀕しつゝありとの情報に接せる當屬地の居住鮮人有志等は天候定まらざる今日人命に關する事なれば打捨て置き難しと、夫々

義金 を醵出し慰問團を組織し二十一日食料品を調へ同地慰問に向ひたるが、道路水中に沒し水は胸の邊まであり聞きしにまさる慘狀にて慰問團は直に支那部落に交涉間借りして避難せしむる事とし、二十二日歸來し、二十三日は鐵道西部落を慰問したるが此處も亦五戶全部流失し悲慘の狀態であつた、二十四日は開原城東門外部落を慰問せるが此處亦九戶倒壞流失し慘狀目もあてられずと、猶小九社扶餘村等淸河流域一帶に亙り浸水倒壞流失等の厄を蒙らざる地方なき模樣なれば、引續き各地を慰問し當面の救護に奔命しつゝある、尚被害地一帶は今尚滔々と

水勢 強く流れ農作物は稍高きは流失低きは埋沒し、今秋收穫の見込みもなく明年收穫期まで如何にして生活すべきかについて被害農民一同は生きた心持もなく悲嘆に暮れて居ると

街路照明竣成

既報せる掏鹿大街鮮銀角より正隆角までと開原大街正隆角より東洋街交叉點までの街路照明工事はブラケツトの取り付を終り愈竣成一兩日中には夜の散步が明るくなり圓形廣場の夜店への人足も一層賑はしくなるであらう

糞便汲取り澁滯

開原衛生係にては本春以來市內各戶の糞便及び汚水汲取りに大改革をなしたが、連日の降雨のため作業澁滯し運搬道路不良の爲め能率上らず、加ふるに雨水の便所に浸入する個所等あり、平時よりは非

輸入組合員の貯金積立開始

既報した鞍山輸入組合の商團員は愈八月一日より積立會を開催し貯金すると

菓子商組合總會

鞍山菓子商組合總會は二十三日午後七時より赤城町八雲當川上萬太郎氏方に於て開催し役員の改選及定欵の削除增補を行ひ其他種々協議したが會長小原文五郎副會長保田鹿之助會計加藤政人の三氏再當選した

鞍山

氏子總代會

二十五日午後一時より地方事務所に於て氏子總代會を開き雅樂部設置規約其の他の件に付き種々協議した

在鄉軍人會映寫會

在鄉軍人會鞍山分會では二十七、八の兩日午後七時三十分より中學校講堂に於て活動寫眞會を開催するが其プログラムは左の如し
御大禮大觀兵式、雨中の御親閱全國大會及御大禮觀艦式、南滿洲鐵道の守備三卷、高松宮樣二卷

海濱聚落兒童歸開

開原小學校の海濱聚落兒童二十六名は夏家河子に一週間の樂しい海濱生活を終へ、三好野田兩先生に伴はれ色黑々と達者な笑を浮べて二十四日歸開した

公主嶺

表沙汰となつた支那官憲の啀合
董旅團長の身邊危し

既報警察權の蹂躪と軍部職權侵害とで公主嶺公安分局長と騎兵第一旅第七團長との職權爭ひの結果、懷德縣公安局長の出馬となり當時管理局に仰がんと強硬談判を開始したので、流石に傲慢の董團長も商務會其他の立證があるので不利の立場となつたのを悟り非行を陳謝し商務會等が仲裁役となり問題を惹起した平康裡に於て和解の宴を開催關係者を招しお茶を濁さんとしたのであるが、折惡く各地を巡察中の奉天公安管理局高及同地諮議吏治調查員原宗翰、同省政府路議懷德縣康平四縣調查員向宸實の三氏はこの紛糾事件を探知し來公、念入りに調查を遂げ省政府に急電したので問題は本筋に入り董團長の身邊が頗る危險となつた、董側は各方面に運動現職維持に狂奔の一方、巡警側は局長より再下命があるまで任意の警備をなしつゝあるので、殆ど無警察の現狀に支那市住民は不安の低雲は一掃されず自警に努めてゐる

ピストル密賣

公主嶺市內市場町三丁目無職……(二一)に對し拳銃密賣の風評が高まつたので、當署勤務古田刑事は油斷なく彼の擧動に注意中之れが眞相を突止めたので、去る十七日の午前七時臨檢家宅搜索を行ひ隱匿しあつたモーゼル拳銃五挺、コールト拳銃三挺、彈丸四百九十五發と獨逸式長銃彈丸百六十五發及阿片等を押收本署に引致取調べたところ、彼は本月七日及十二日の二回に亙りモーゼル拳銃一挺、彈丸百發付を現大洋百四十五圓で密賣したことが判明した、然し密賣の情報著と認められ嚴重に戒告の上釋放された、主犯者……谷之身は銃器の密賣常習となし滿鐵列車拔ボーイ郭玉田と連絡をとり密運搬をなしつゝあることを自白したと

公陵雜信

▲……夏枯に際し各方面の椅子に……界は茲許……▲青木署長の榮轉……弓道部、筆劍會、官民合同……

營口

省政府邊業銀行
分號を設置

遼寧省政府では邊業銀行の業務を擴張することゝなり當地にその分號を設置することに決し、當分の間當地官銀號分號內に置くことゝなり、主任は元厚發合支配人であつた李翰三氏が之に充たることゝなつた

大連將棋聯盟特選
滿日五人拔戰

(藤田君一回勝二回目)
(八ノ七)手 先番初段 ▲藤田 ...
後手初段 △澤田 賢太

▲六八飛△六四金▲六二馬△七七桂▲同金△七一銀▲六四飛△六三步▲七一馬△同玉▲五一銀△六一香▲六八飛△五八步ナル▲同飛△五三銀

戰の跡 三段 宮本金三

「孔子曰く」「容貌を以つて人を採る我之を子羽に失す……」と之れと同一の意味で將棋でも形だけ見て其全般を計ると飛んでもない失敗を演ずるものである……

撫順

撫順滿俱軍
優勝して
二十四日凱旋

大阪九州合併
相撲興行

煤都餘燼

哈爾賓

鐵道線路
破壞さる
勞農工夫陰謀

民會長
高橋氏當選

安東

附屬地一帶に傳染病猖獗
二十三日は五名發生

安東縣附屬地一帶では近時傳染病猖獗を極め殆ど毎日の如く二人三人の患者があり、本月に入つてから赤痢二十五名を筆頭に猩紅熱三人、腸チブス二名、流行性腦脊髓一名都合三十二人を數へ昨今尚も蔓延しつゝあるが、二十三日は左記の通り一時に五名も發患した
△赤痢山手町渡邊ケイ（三歳）七番通七丁目川端源也（四歳）山手町滿鐵社宅岩田勉（十歳）△猩紅熱七道溝商業家族許增兒（十歳）同許居兒（七歳）

學校組合協議

新義州學校組合の初顔合せは二十三日午後一時から公會堂に於て開會、伊藤府尹の挨拶及び組合の現況報告あり議席の抽籤後會計檢査員には連記投票の結果永井、大館野原氏當選し第十七號昭和三年度決算認定の件を可決同五時閉會したが、當日は初會議にも似ず委員の出席遲く定刻を後れること四十分餘の開會で早くも時間勵行が問題になつてゐた

クレー射撃會

安東職友會では廿八日午前八時から六道溝射撃場に於て、クレー射撃大會を開催する由で、既に撫順奉天各職友會へも夫々案内狀を發したが、優勝者には滿洲鑛山藥會社寄贈のカップを初め入賞者にはメタル其他を贈呈すると

運友勝つ
スポンチ戰

全安東スポンチビー組安東取引所對滿鐵運友クラブ決勝戰は二十二日午後四時三十分より驛前グラウンドにて田宮（球）安田（壘）兩氏審判の下に開始されたが、當日は絶好の野球日和にて兩軍スタンドは觀衆を以て埋められ安東取引所側は大旗小旗を持出し盛んなる應援振を見せ、試合は終始エキサイトして形勢逆轉する事四度運友クラブ五回裏に敵失に貴重なる一點を得其の儘最後迄押して行き、遂に八Ａ對七にて運友クラブの勝に歸し吉田運友主將は川俣安東新報社長より優勝カップを授與され互る全安東新報の萬歳を三唱して連日に亘る全安東スポンシ大會も幕を閉じた、時午後六時過ぎ當日の成績及びメンバー次の通り

（運友）原木　田田本田藤川
桑岩林奥松山植佐石
486592731

（安取）田村林　井田内村谷
羽中小北坂國小中紙
259378146

回數	一	二	三	四	五	六	七	計
運友クラブ	2	0	5	0	1	0	A	8
安東取引所	0	1	2	0	4	0	0	7

旅館組合の表彰式
二十三日擧行

安東旅館組合に於ては二十三日午前九時より京東警察署にて永年勤續の雇傭人表彰式を行ひ表彰狀及び金一封を授與した、因に表彰人名及び勤續年限左の通り

年限	旅館名	氏名
十年	元寶館	原田幸太郎
同	富久壽美	王作吉
五年	元寶館	中村ツヤ
同	同	藤川芳太郎
同	同	李錄
同	安東ホテル	神田武彦
同	安東館	李玉堂

助役に記念品

前安東驛助役山濱靜一氏に對する記念品贈呈に關して大野幸作、閔田光雄、大津軍雄三氏の發起にて過般來より募集し北角時計店にて丸盆附三鞭酒カップ銀製一對を註文中の處、二三日前出來上りたるを以て二十一日書留小包を以て同氏に對し發送をなした

手附金を騙取

原籍黄海道沙里院北里二四八李昌善（三〇）及び原籍平壤以下不詳趙斗萬（三四）の兩名は數年前より京城勸業證券現物社外交員として勤務して居たが、本年六月十五日同社を解雇されたるに拘らず在職中本社より交附されたる債券賣渡契約書に會社印の押捺され居たるを奇貨として、六月十六日來安し下六道溝居住の鮮人鄭信模に、復興債券及勸業債券計二百四十圓外四名に對して同樣手段にて債券を賣付け各々より手附金として二十四圓を受取り其の儘騙取したが、本社よりの手配に依り捜査中李は原籍地沙里院にて逮捕され身柄を安東署に送致して來たので、當局に於ては目下取調べを進めて居るが、共犯者鄭をも逮捕すべく手配中である

工夫の大喧嘩
一名遂に殺さる
加害者四名を逮捕

去る十七日夕刻滿鐵北道厚昌郡東興面双南洞、森林鐵道工事場附近に於て人夫信田幾藏（三七）李泰石（五〇）朴洪陽（四〇）金鳳淑（四〇）の四名は勞銀のことから同僚三十餘人と爭論を始めその場は一時鎭まつたが十八日前記四名は人夫十名を附近の南北川附近に伴れ出し高さ一丈餘の崖から突き落し這ひ上るものに石を投つけ無慘な目に遭はせたが、二十三日に至り同所より下流二里餘の地點で前記人夫中の一名が死體となつて發見さるに至り四名は直に新義州署に連行嚴重取調べ中である

船舶倉庫完成
寄託事務も扱ふ

安東驛の船舶倉庫は最近完成この程から營業を開始したので一般船主頗る利便となつたが近く着後寄託事務も取扱ふ由

姦通脅喝犯人

新義州府外古津面石下洞四番地朴龍煥妻車天芝（三五）は去る大正十四年春以來夫の不在勝ちなるを奇貨とし同面土橋洞十八番地農業李鍾成（三〇）と姦通し不義の歡樂に耽つてゐたが、此の程に至り夫朴龍煥の知るところとなり姦夫姦婦を相手取り姦通の告訴を提起してゐたが、新義州署に於て取調の結果右の事實及び豫て之が種に兩名を脅迫數回に亘つて現金五十餘圓其他衣類時計等を捲き揚げたる隣家の崔鳳基（三七）及び上橋洞二九番地農業張泰浩（二〇）等は夫々姦通脅喝

強盗巡警を襲ふ

安東支那町公安局第二分局巡警白玉峰は二十二日夜雨を侵して巡邏に出で、八道溝中學校裏で巡邏木に巡警認印を捺印せんとする際闇の中から突如二名の支那人怪漢現れ背後より巡警を毆打拳銃を強奪せんとしたが折よく東邊實業銀行の運轉手が通りかゝり右の騷ぎを目擊するや直に自動車から飛び下りて應援したので件の兩名は叶はじと逃亡したる由

家庭慰安映畫

滿鐵庶務課主催の第十二回家庭慰安巡映會は二十二日から開始してゐるが奉天以南の巡映地日割は左の通り因に今回の映畫はパラマウント社の彌次喜多海軍の卷六卷、同ロイドの福の神六卷で抱腹絶倒の珍映畫であると
△本溪湖三十日△橋頭三十一日△連山關一日△鷄冠山四日△蘇家屯五日△安東二日

明大生雄辯會

明治大學雄辯部鮮支遊説班赤神教授外學生七名は廿三日來安同夜公會堂に於て社會問題經濟問題に關する辯論會を催したが盛會であつた

流浪人の脅迫

原籍北海道小樽市稻ノ江町一丁目十二現在住所不定無職前平定男（二九）は本年三月何等の的もなく原籍地を出で各地流浪後渡鮮各地にて乞食や合力を受けつゝ本月二十日頃來安、當地南三條通無限公司及び富士紡社宅の日本人の家に合力を受けたが二十一日は富士紡社宅の長谷川氏宅にて之れに應ぜぬ處から脅迫的言語を用ひたるを以て妻女は恐怖して安東署に通報せるにより逮捕され目下取調中

加藤會頭歸鮮

昭和製鋼所の實現を期すべく先般來上京政府各要路に運動中であつた加藤新義州商業會頭は二十三日夜東京發歸途につく旨入電があつた

幼兒屍體遺棄

安東縣二番通八丁目月見橋下に二十三日朝生後約六ケ月の支那女兒屍體が裸體の儘ネル布團に包んで遺棄せられてゐたのを巡警中の西村巡査が發見したが安東署では目下支那官憲と協力犯人嚴探中である

高尾理事長東上

採木公司理事長高尾亨氏は來年度豫算に關して外務當局の承認を求むる爲か豫定より早く二十五日二十一時半安東發の急行列車で東上したが、滯京期間は約一ケ月の豫定で八月下旬歸安の筈であると

人事

▲慶應大學産業研究會學生キャンプ團十五名及び同東亞事情研究會學生十名は二十五日朝奉天より來安同十一時五十分の列車で南行した
▲京都府教育視察團十一名は廿六日夜平壤より來安安東ホテルに一泊の上翌朝奉天へ向つた
▲廣島高等師範附屬中學生三十七名は三十一日來安新安兩都視察の上北行する由
▲渡邊採木公司參事（新任長白分局長）廿二日夜の南行で惠山鎭に出張
▲神商大滿鮮視察團は廿一日來安一泊の上二十二日朝北行した

京城

強盗押入る

最近頻出する強盗事件の犯人がまだ一人も逮捕されず府内各署は全力を擧げて狂奔してゐる折柄、廿三日午前零時五分府内昌信洞四九九新炭商姜元變（四七）方に白シャツ、白ズボン、白靴、白手袋に白覆面といふ白づくめの三十七、八歳位の怪漢が裏手の一丈餘の煉瓦塀を乘越えて押入り、就寢中の主人を蹴起し夫婦を縛した上庖丁を以て脅迫し現金五十二圓を強奪して表戸から悠々立去つた、屆け出に接し所轄東大門署では直に非常線を張り犯人嚴探中であるが、京畿道警察部からは警官講習所から十五名の應援隊をはじめ府内各署から腕利の刑事を送り犯人逮捕に奔命してゐるが、午後一時頃鐘路三丁目方面から崔某外一名を容疑者として鐘路署に引致取調べ中である

運送同盟會の委員會開催

朝鮮運送同盟會では廿三日午後一時より通運支店に京仁委員會を開催歸城した、豐住氏より東京に於ける交渉顛末を報告したが近日同盟會全鮮委員會を開催對運合態度につき協議する由

電車顛覆事件
運轉手の公判

電車顛覆事件の責任運轉手石甲童（三〇）にかゝる第二回公判は廿三日午後零時より京城地方法院四號法廷に具裁判長係り佐々木檢事立會の下に開廷、禁錮六ケ月の檢事求刑に對し寺田辯護士の減刑論があり來る卅一日判決言渡しで午後一時閉廷

吉林

六月鮮人戸口

吉林總領事館管内に於ける六月末現在調在住鮮人數は次の如くで之に依れば額穆縣内の四千四百〇二人が首位を占めてゐる

區別	戸數	男	女	計
省城	二九	一五七	一〇五	二六二
吉林	三七六	九五三	六四五	一五九八
樺甸	八四六	一八一二	一三三〇	三一四二
磐石	六二六	一三二六	一〇三五	二三六一
額穆	七八五	二七二五	一六七七	四四〇二
敦化	六三一	一九四九	一五一三	三四六二
舒蘭	一一〇	三二五	二四三	五六八
濛江	三六八	八〇一	五〇一	一三〇二
雙陽	一四九	三四八	二三三	五八一
計	三九二〇	一〇三九六	七二八二	一七六七八

先月と増減なし

コドモページ

ある夜のお話會 お化けの話（中）

武藤一枝

今度は私。私はづるくないので直に始めました。

「えゝと、或る船長が航海してゐました。或晩、それは眞暗で暑苦い氣味の悪い風が吹く夜です。ふしぎな事には今迄早く走つてゐた船がだん／＼おそくなる。何だか海の底から大きな手が出て船を捕まへてゐる樣に、いくら運轉手が急いでも船は進まない。船長は心配して室で考へてゐると、一人の水夫が青くなつてとんで來て「タタタイへン／＼」と引張る。そこで船長も胸をドキドキさせて甲板に上つてゆくと、船員達も眞青になつて、うろ／＼してゐる。船長が驚いて海の中を見ると、幾十もの生首が眞暗な浪の上に浮んで、ギロ／＼目を光らして船のまはりをグルリと取り卷いてゐる。船長はもうぶる／＼しながら、自分のお守りにしてゐる觀音樣のお札を投つけて、運轉手を勵まし、やつと逃げる事が出來たつて。をはりよ」みんな怖がつて默つて居ます。私は大得意でした。伯父さんは怖くて寒くなつたと言ひお父さんも熱いお茶を入れて下さいました。

今度は伯父樣。

「或所に古い大きなお寺があつた。その寺の御所へ人が入るときつと出られなくなる。そこで「オーイ天狗さん明けてくれえと言ふとネ、遠くの山の方で」「よおーーし」と氣味の悪い聲がしてひとりでに戸があくんだとサ」

「ワハ。天狗は悪い悪戯をするネ」

私達は大笑ひでした。

「天狗つて奴は丈が高くて鼻が赤く鼻が長いのださうだが、僕はから思ふね。昔外國人が日本へ流れついて、日本の山へなど入つて住んだのを日本人が天狗といふ化物にしてしまつたんだらう」とお父さんが言ひました。

「さうですよ、ソラ、毎日くるロシヤ・パンやも大男で赤い顔で鼻が長いからね。大江山の酒呑童子だつて、ロシヤ人だつたとか言ふ」伯父さんも賛成してゐました。

夏の金剛へ 楠公の遺跡を訪ねて（五）

大連大正小學校長 湯下誠一郎

「今日はえろよく鳴きますな。此處では鳴くのは少いですけれど」

「雨の降る日だつたら大概鳴きますけれど」

「鳥屋には飼うてうておまへんか」

「三年かかつてほとゝぎすを聞きに來るがよう聞きやはらん人がおますな」

ほとゝぎすの聲を横に糸でぬひ合はすやうに婆あさんの話がつづいて出ます。ぽつり／＼出るのですが婆あさんは長い年月此の山に住んで誰よりもよくほとゝぎすを知つてゐるのです。

ぜつべきの山、千仭の谷、楠公の誠忠はこの山にこの谷にふん戰して血けむりをわきたゝせたであらうことを强く深く思ひしのぶにほとゝぎすを以てしたことはまことにえ難いえものでした。

何やらの小鳥の聲。口びるをふるはせるやうにビビイと鳴く聲。帛をさくやうにひゞくするどい鳴き聲。

チイビイチイビイと鳴くやさしい歌聲。

コトコトとけたゝましく木を叩くやうなきつつきの聲。

それにまじはる鶯の聲。上から來る聲、横から來る聲。縱糸が鳴く。横糸が鳴く。縱糸と横糸とが美しい綾を織出してゐる」と讀まれたある先生の文そのまゝの景色です。

私はおよそ小一時間こゝの店さきに腰をおろして幾百となくほとゝぎすの聲、小鳥の聲を聞くことが出來ました。

千早から金剛へ行く山徑のほど遠くない左がはに楠正儀卿のお墓があります。老松八九本、お墓をとりまいて仕へ人のやうにお墓を守つてゐます。足下の谷向ひでまたしきりにほとゝぎすが鳴きます。忠魂を弔はうとしてほとゝぎすを聞くのは斷腸の思ひがいたします。

坂を登ると道の横合からのしかゝるやうに枝をのばした栗の木が重々しく花をつけて甘つたるい薫りをかをらせます。そこをすぎると大きな一本松があります。金剛山頂へ一六〇〇米突といふ標木があります。同じところに「楠公五所秘水」と媚んだらしい石柱があります。この水によつて千早の城がたも「たれたといひます。山の中腹にふしぎに水の湧き出た泉です。今は二ケ所しか見えませんから三ところはきつと土に埋れてしまつたのでせう。ふだん此の山に登る者は此の水をくんで、のどをしめすさうですが今日は水が少くてくめません。こゝでもまたほとゝぎすが鳴いてゐました。（未完）

面白い 虫の世界（1） 木の葉があるく 印度に居る木の葉虫

木の葉によく似た虫はいろ／＼ありますが、その中でも最も木の葉によく似てゐるのは此の寫眞にある種類の虫です。此の虫は「あるく木葉」といふ名がついてゐて、色といひ、葉脈のある工合といひ、周圍の枯かゝつたやうなところまで、どう見てもこれが虫だとは思はれません。そして周圍の木の葉の色に應じて自由に色を變へます。此の虫はインド及其の附近に居ます。飛ぶ翅がないから見つけたらすぐつかまへることが出來ます。此の寫眞は實物大の雌です。

ニドメノ 大チャンノタンケン（76）

ハルミチ作 ジラウ畫

「オヂサンハ ドウシテ コンナシマニ キタノデスカ」大チャンハ オホキナ サクランボヲ カジリナガラ キキマシタ。オヂサンモ サクランボヲ カジリナガラ

「ソレヲ イマ ハナシヲ シヤウト オモツテヰタノダ。オヂサンハ ハクウンマル トイフ オホキナ フネノ センチヤウダツタ。トコロガ イマカラ ハントシホド マヘニ ミナミノ ウミヲ コウカイシテヰルト オソロシイ カイゾクセンニ オソハレテ ニモツハ ミンナ ウバヒトラレ オヂサンハ トウトウ カイゾクノ トリコニ ナツテシマツタ

サルノヒトマネ

「グッドモーニング」

「アー イタイ イタイ ソンナニ ツヨクテヲ ツカンヂヤ ユビガ チギレテシマウヨ」

「ニンゲンハ コウシテ アイサツヲ スルノダヨ」

「ソンナ イタイ アイサツハ モウ ヤメテクレ」

「ソンナニ イタイカイ？ スルトニンゲンナンテ カシコサウナ カホヲ シテヰルガズイブン バカナ アイサツヲ スルモノダネ」

兒童の作品

ウチノイヌ

横前小學校一年 上野道子

ウチノ「トロ」ハカワイイデス。ウチノオトウサマガ オカエリニナルト ヨロコビマス ウチノトロハ ホントウニ カハユウゴザイマス。ホントウニ オモシロイデス イツモガクコウカラ カエルト スグニアソビマス。「トロ」ハカミツクカラコハイデス ゴハンヲヤリマスト トビツイテ ヨロコビマス。

マサゴウラ

大廣場小學校尋一 堀英子

キノフハマサゴウラニ
イキマシタ
ミンナソロツテ
イキマシタ
ママハオベントモツテ
コヅカヒサン
パパハサキニナツテ
コウチヨウサン
アトハミンナ
セイトデス
ミンナソロツテ
イキマシタ
マサゴウラハ
ヨイトコロ
オミヅガトテモ
キレイデス
キレイナシロイ
イシコロガ
タクサンタクサン
アリマシタ
ソレヲヒロツテ
カヘツテキテ
ウエキノハチニ
イレマシタ

荷馬車

大廣場小學校二年 柴田正一

僕のお內の
よこがはに
お馬がれんがを
はこんでる
僕がねてゐる
じぶんから
毎日たくさん
はこびます
れんがはとつても
おもいから
お馬は二匹で
つんでくる
車のれんがを
すこしづゝ
にいやがおろして
ゐるあひだ
お馬はわらを
たべてます
おいしそうに
たべてます

五校の精鋭覇を目指し 滿洲豫選の火蓋を切る

正々堂々たる陣を張つて 炎天下に熱球飛ぶ壯觀

全滿洲北支那中等學校野球チームの精鋭を集むること五校、春以來練習に練習を重ねて十分の自信づけた純眞そのもののごときプレヤー七十餘名が、齊しく全國大會出場を期して參加した本社主催の滿洲中等學校野球豫選會は前日來の降雨によつて適度に濕潤、坦々平盤、絶好のコンヂシヨンと快晴に惠まれた滿倶グラウンドに於て二十五日より四日間烈々たる盛夏の白日下に炎暑を冒して、互ひに鍛へ得たる技倆を遺憾なく發揮して中等學生特有の正々堂々の陣を張ることゝなつた

九對四のスコアで 安東軍に凱歌擧る

大商梅本主將より優勝旗返還 井上學長の始球式

これより先午後二時二十分前年度の優勝校にして二宮野球部長に引率された大連商業梅本主將の捧ぐる大會優勝旗を先頭に奉天中學、青島中學、撫順中學、安東中學の順序で入場、

滿場の拍手を浴びながら本村本社庶務課長の先導で一壘側より整然としてダイヤモンドを一周、本壘に向ひ各野球部長をトツプに鞍列をつくつて整列、梅本大商主將より三好本社員に優勝旗を返還し、右終るや三好本社員より一場の開會挨拶あり、當日第一戰に臨むべき

遠來軍にして初めて本大會に出陣の安東中學は一壘側に撫順中學は三壘側におの〳〵分れて陣し撫中先攻と決するや三時十分、竹中氏より開戰を宣し、井上旅順工科大學々長の手より投ぜられた純白の處女球撫中寺西捕手のミツトに收まるや場内を埋め二萬と註せられた觀衆は片唾をのみ全滿ファンの熱狂裡に迎へられた豫選大會の幕はきつて落された

撫中は元全長春チームの投手だつた西田龜滿夫氏、安中は全安東主將吉本選手、各ベンチコーチとして作戰本部を固め一球一打徹細に亘つて戰ひを進め撫中善戰したが戰ひつひに利あらず九對四で撫中惜敗し、午後五時卅五分終了した、試合經過左のごとし

試合經過

▲第一回　安中先攻内村一邪飛齋藤遊撃に軟直を呈し伊藤第一球を打つて一二壘間を拔き二盜更に捕手逸球に三進し宮岡の遊後飛失に生還先づ一點を收む中原選球の後を鹽坂左前テキサスを放ち宮岡生還したが中原三壘に猛進し刺さる△撫中佐々木二壘を襲ひグラウンドヒツトとなり出壘したが武藤の遊匍を宮岡良く攔むで二走者を併殺し鮮かな守備振りを示す生田左中間に二壘打を放ち佐土原死球に二走者を出したが寺西の遊匍に佐土原封殺され好機を失す（安二撫〇）

▲第二回　安中藤本外角の球を邪飛球に打上げ投手に得られ平田二匍吉塚三振に代る△撫中吉野第二球を左前に快打し二盜加藤曲球を空振して倒れたが小冠者江副四球を利した後佐々木一二壘間を拔き吉野江副轡を揃へて生還武藤投獻匍に代るも同點となり撫中軍に拍手揚る（安二撫二）

▲第三回　安中内村投獻匍齋藤遊匍飛伊藤一飛何れも撫中下田投手のコントロールに打撃を押へらる△撫中生田投手に直球を呈し佐土原三匍寺西二飛安中また守備の堅きを示す（兩軍零）

▲第四回　宮岡二―三の後を選球中原再び四球を利し鹽坂の二匍に兩者進み續く藤本ノ中前安打に宮岡生還す平田三振吉塚の投獻匍に三壘走者牽制のつもりで三壘を離れたが惜しくも刺さる△撫中吉野二壘加藤遊匍の後江副再び四球を得て人氣を集めたが離壘して一二壘間に挾撃され惜しくも刺さる（安一撫零）

▲第五回　安中内村、齋藤共に凡飛を打揚げたが續く伊藤、宮岡共に選球し二盜の上スローに進壘其後を受け五番打者中原左中間に安打し伊藤還り鹽坂も二壘頭上を拔き宮岡生還藤本再び選球する……此時撫中軍投手を生田に代へ下田遊撃を守る……平田第二球を右中間にヒツトし中原鹽坂共に還り吉塚の投匍に辛うじて喰ひ止め安中軍は一擧に四點を奪ひ大勢撫中軍に不利となる△撫中下田遊匍佐々木一邪飛武藤遊匍（安四撫零）

▲第六回　安中内村、齋藤共に投匍伊藤二匍……撫中投手下田多過ぎた曲球を減じ内角の直球を投げて選球を防ぐ恐らくベンチコーチの注意によるか？……△撫中生田投匍佐土原三振寺西二壘上安打に出で二盜吉野の三匍フイルダーチヨイスとなり二走者生き加藤の二凡飛を中原落し送球を急る間に寺西、吉野虚を衝いて生還江副遊飛撫中二點を加ふ（安零撫二）

▲第七回　安中宮岡三振に退くも中原四球（代走）を利し鹽坂の二匍を江副ヘンブルして生かし捕手逸球に兩走者進壘更に藤本選球し一死滿壘平田二―一となつた時投手低球を逸し中原生還するも平田遂に三振し吉塚投匍に倒れ撫中軍危機を脱す△撫中下田三振佐々木二匍武藤三振と何れも凡退（安一撫零）

▲第八回　安中内村三壘に凡飛を揚げ齋藤の三匍を吉野トンネルして二壘に生かしたが伊藤右飛を攔まれ宮岡遊匍に後援なし△撫中生田中直を得られ佐土原三振　後を寺西左中間に三壘打したが主將吉野正球を見送つて惜しくも三振折角の好機を失す（兩軍零）

▲第九回　安中中原の遊飛を下田ポロリと落したが鹽坂の遊匍で封殺藤本選球の後を平田の三匍を佐々木見本的なフイルダーチヨイスを行ひ一死滿壘となる吉塚三振に二死となつたが内村敵投手の疲れに乘じ樂々〇―ルと選球し鹽坂押出されて生還又復一點を加へ計九點となる、齋藤二飛▲撫中最後の攻撃とてPH石島を出した甲斐なく惜しくも三振、江副三度び目の四球に出で（加藤代走）二盜するも下田三振佐々木投匍に倒れ撫順軍遂に九對四で敗れた閉戰午後五時卅五分

寫眞說明

【上】入場式に整列した五校の選手【下】梅本大商主將から優勝旗返還【右】井上工大學長の始球式

滿鐵正副總裁の 大連官民招待告別宴

◇―廿四日滿洲館庭園にて

滿鐵正副總裁の大連官民招待告別宴は二十四日午後五時より滿洲館庭園に於て行はれた、出席者各官衙、社關係者、各國領事、中國人及び新聞通信關係者等百八十餘名立食の宴半にして山本總裁は今回辭任するに就ての挨拶をなし就任以來二年寄せられたる厚意を謝し「今後諸君は大連市の爲めに努力せられ度い」と結び石本市長一同を代表して答辭を述べ續いて松岡副總裁は外人側に例の流暢な英語で挨拶を述べ獨逸領事デルクス氏の答辭ありそれより正副總裁は各テーブル毎に色々御世話になりま[illegible]

青森縣下に 水喧嘩

警官百餘名出動

【青森二十四日發電】青森縣下は旱天續きのため各所に水爭ひが起つてゐるが、二十四日小阿根堰を中心に南津輕郡光田寺村、常盤村の兩村民約一千餘名は午前三時ごろ衝突し石合戰となり負傷者十七名を出し警官百名出動鎭撫に努めてゐる、また引續き檢事局よりは檢事一名現場に急行した

……したとニコ〳〵して極碎けた挨拶をなし互ひの健康を祝つて一同和氣靄々裡に六時散會した

太平洋横斷機 正式に命名

【タコマ二十四日發電】ブロムレー中尉の太平洋横斷機は本日正式に「シチー、オブ、タコマ號」と命名された、出發期は未だ確定してゐない

ラヂオを通じて 緊縮方針の演說

來月一日濱口首相が

【東京二十四日發電】濱口首相は緊縮豫てラヂオを通じて全國民に緊縮政策の徹底を期する意嚮を持つてゐたが、愈來る八月一日午後七時二十五分から約四十分に亘つて東京放送局愛宕山スタジオのマイクロホンに向つて得意の長廣舌を揮ひ全國中繼放送に依つて六十萬の聽取者に訴ゆる事に決定した、放送する内容は勿論國民の節約生活の必要を力說するのであるが近く歸京のうへ打ち合せをなす筈

宵の奉天萩町に 四人組居直强盜

醫大の教授宅襲はる

【奉天特電二十四日發】二十三日午後九時半頃奉天萩町十五番地滿洲醫大豫科教授福田八十楠氏邸にそれ〴〵棍棒を所持せる四名組の强盜押入り折から留守居中であつた同氏夫人きみ（三〇）を脅迫し黒絲乾製オーバー外二十八點價格四百七十五圓餘を强奪し逃走した奉天署では目下犯人嚴探中であるが右犯人は最初竊盜の目的で屋内を見張り人影のないのをみて家に入らんとしたが夫人が出て來たので突然强盜に居直つたものらしい

不良兒の救濟指導に 保護員を設ける

滿鐵の伊藤眞也氏に囑託

都會性により都市膨脹に伴ふ副産物として生れる不良少年少女を救濟し指導するため思想善導の一機關として保護員を大連に設ける方針であつた關東廳學務課では、政府の財政緊縮策に官制改正が通過せず本年は一部間に合せ式として保護員囑託を設けることに決定し滿鐵々道部人事主任伊藤眞也氏に交涉し囑託として承諾を得たので近く大連に實施することになつたこれによつて少年少女の保護要視察人が幾分でも救濟されるに至るであらう、尙保護員の使命及び目的とする處は不良少年少女の相談を守け家庭と協力して善化に努める方針である

天候晴れ次第 一氣に東京へ

タコマ滯在の太平洋横斷機 燃料は十四時間分を餘して

【タコマ二十三日發電】近く太平洋横斷飛行を決行すべきブロムレー中尉がロスアンゼルスから當市に飛來せる時のガソリン消費量につき調査を行つた專門家の計算によれば同中尉がタコマ東京間を無着陸で完全に飛んだのち尙一時間十八ガロンの割合で更に十四時間飛べるだけガソリンが殘る見込みであると、同中尉出發時日は未定であるが天氣晴れ次第急遽出發するものと期待されてゐる

露國飛行機

世界一周計畫

【ワシントン廿三日發電】露國飛行機「ソウエートの國」號が八月一日モスクワを出發しシベリヤを横斷しシヤトルに着きそれより米國を横斷せんとする計畫に對し米國は本日その飛行場着陸を許可したが右飛行機は日本には立ち寄らぬ事となつてゐる

永井醫師も 取調べらる

女事務員の墮胎嫌疑事件で

大連市役所事務員佐藤梢（二三）の墮胎嫌疑により分娩當時診斷した若狹町四三永井病院こと永井淸子も廿四日午後三時から大連署に呼び出され新津警部補の取調べを受けたが、永井は佐藤の分娩に對し器械藥物等人工を用ひて墮胎した形跡なくまた分娩した當時診斷書に嬰兒が生存してゐたに拘らず死産とし妊娠七ケ月にあつたに拘らず六ケ月と記入した點に就いては分娩當時嬰兒は生存してゐたと雖も假死の狀態であり、人工呼吸などを施してもその効なく息を引き取つたので斯く認めまた妊娠は七ケ月かも知れないが、滿で勘定したから六ケ月と記載したと佐藤に對し有利な證言を與へた

鐵工所侵入事件

隊長の處罰を條件に 支那側陳謝の意を表す

【奉天特電二十四日發】昨日支那憲兵隊の奉天十間房鐵工所侵入事件に關し二十三日午後三時朱交涉署日本科長、雷憲兵隊偵緝長が領事館警察を訪れ馬第二部隊長を責任者として處罰する事を條件として種々陳謝の意を表せるも應接の三浦警部は事重大であるから總領事に取次ぐに止めるとはねつけた

拐帶ボーイ

山東生れ當時西崗街六〇福興棧ボーイ薛芳德（二二）は十五日午後五時主人の金票大洋取混ぜ二百圓餘を竊取青島方面に逃走したが、二十四日午後九時敦賀丸にて再び舞戻つたのを平和街に於て小崗子署刑事に逮捕された

掏摸常習者捕はる

遼寧省生れ住所不定喬德信（四五）と云ふ掏摸常習者は廿三日午後九時小崗子露天市場で客の懷中を覗つてゐる處を小崗子署刑事に捕つたが掏つた財布三つを所持してゐた餘罪ある見込

けふのラヂオ

昭和四年七月廿六日（金曜日）
自前十一時　相場（特産、錢鈔、株式、各地相場）
自午後〇時三十分　相場（特産、錢鈔、各地相場）ニユース
自午後三時三十分　相場（錢鈔、株式、各地相場）ニユース
自午後七時三十分
一、ニユース
二、映畫物語（栗島すみ子主演浮世小路）松葉詩助、帝國館管絃部
三、兒童科學講座（滿洲名物の蠅）神明高等女學校前田政太郎
四、ピアノ獨彈（未宇成交響曲、全樂章シユベールト作）カワレウスキー夫人メデウエデフ夫人
五、浪花節（文七元結）木村近衞
六、支那劇（闘府）連東倶樂部員
七、料理獻立
八、天氣豫報

元滿洲日日新聞社々長森山守次氏は豫て病氣の處去る二十日午後四時二十分大阪市外曾根阪急沿線芳正園に於て逝去被致候に就ては二十六日午後四時市內春日町大蓮寺に於て追悼會相營み申候間生前辱知諸君の御來會を希望致候
右謹告候也
昭和四年七月廿五日
滿洲日報社

愛慾の窓（50）

戸川貞雄作
淺枝次朗畫

金（一〇）

友永は、久彦の言葉には答へようとはしないで、黙つて手文庫を引寄せると、中から一束の手紙を取出した。

「…これを買はされたんだよ！」

と、彼は吐き出すやうに云つた。

いふまでもなく、それは小森英輔がメリイ某といふ情人に書き送つた戀の文殻だつた。

「……贋物か眞物か、小森に鑑定して貰つてから、金を拂はうと思つたんだが」

と、友永は汚らはしいものでも見るやうに、ぢろり手紙の束を尻眼にかけて「……一とほり僕のは眼を通したところでは、疑ひもなく小森のラブ、レターなんだよ！僕は目を瞑つて買取つてやつたよ、勿論、同時に今後は一切小森とは交渉を有たぬといふ證文を入れさせたが」

「……それは然し、小森君がすべきことぢやないかな、君の處へ持込むのは、筋がちがつてゐる」

久彦は苦々しげに云つた。

「……然し、小森は相手にならんといふのだから、抛つて置けば、騒ぎが起るからね。それぢや妹に可哀さうだからな、妹は何も知らんのぢやからね。小森を立派な青年紳士として信じてゐる妹のために、おれは手切金を支拂つてやつたわけさ！」

ぽいと、友永は葉卷の吸ひさしを灰皿に投げた。

「……さう、妹さんのためにね」

久彦は嘆息を洩らした。

「僕はね、かう見えても、妹を愛してゐるんだよ、親代りの責任もあるが、しかし僕はあれが可愛くてね……で、折角の小森との縁談も、こんなケチが附くやうぢや行末何うか知らと、ほと〳〵思案に暮れてゐるところなんだよ」

友永は、いつもの快活さを何處へか失つて、ほつと聞えるほどの吐息をつくと、がつくりと頭を垂れた。

「……そりや御心配だらうが・然し君、小森君の失敗も、若いうちには有りがちなことだし、妹さんが、妹さんの氣持が、小森君の方に傾いてゐるんならば……」

と、久彦は相手を慰めるつもりで云ひ出したが、しかし口先と自分の本身との間のギャップが、餘りにもはつきり意識されて來たので、ふつと口を噤んでしまつた。

何故、この機會に乘じて、小森を罵倒しないのか！小森の人格の下劣さを、迷へる友永の前にはつきりさせてやらうとはしないのか！仁科美知子とのこともある！

「……兎に角、實は僕、今夜、小森君に會ふことになつてるんだから、このメリイ、ダンス、ホールの一件も、僕から何とか確めよう、そして出來れば右の安心のなるやうに小森君とも話をつけよう」

久彦は、好加減に切り上げたかつた。

「……ウム、頼むよ、何、僕だつて小森がこんな失敗をしてゐるからといつて、そのこと自身にこだはりはせんさ！ただ、こんなことに出會すと、何うも心もとなくてな、安心して妹を託する氣持が動搖して困るんぢやよ、はゝ」

友永は、さう云ひながら、久彦にその手紙の一束を託した。

「……小森に君から返すなり、または何も知らせずに君が燒却するなり、小森君との話の上で、何うとも處分してくれたまへ！手許に置いて、妹の眼にでも觸れると厄介だからね」

久彦はうなづいて、ポケツトにその忌はしい文殻をおさめた。

「……妹さんは？」

「……銀座へ買物に出た。もうそろ〳〵歸るだらう、會つて行つてくれ給へ」

「……いや、僕も忙しい。今日は失禮しよう」

久彦は辭した。

満日俳壇

島田青峰選

夕立

○大連 高木春蔭
夕立や向ふの丘は陽の當る
野の中を猫入り來ぬ白雨かな

○哈爾賓 松本淼牛子
夕立や泥に塗れて活ける虫
夕立や毛脛れ雀ふりかぶり

○香川縣 高木宏影
夕立や海を隔てゝ島に降る
白雨はれ讃岐アルプス夕日照る

○大連 寬 鳴鹿
夕立の扉に兄まつ妹かな

○瓦房店 河野靜河
窓あけて早遙かなる夕立かな

○金州 森花溪月
夕立や椅掛け殘す午後の晴

○金州 福田背月
帆筵を揚げて入江の夕立かな

○大連 日野玄鳥
對岸は白雨なるらし湖畔茶屋
岩鼻を出でゝ小舟や白雨晴
夕立に教會高く燈り建つ
夕立を聞いて搾乳の女かな
窓枠に動かぬ虫や夕立す
支那街の軒下甕や夕立す

扇

○煙臺 天江雨江
銀扇や親骨うらの小さき文字
秋沂き要ゆるみの扇かな
筆立に挿せる扇のありにけり
人去りしあとの床机の扇かな
讀經の御僧の綺き扇かな
舞ひ終へし猿の扇をとられけり
灯に遠き床几の人の扇かな
お法話や控へ御僧の古扇

○大連 伊東晃水
疊みたるまゝの扇を持ち居たり
陶榻によりし翁の羽扇かな
たゝみたる衣の上の扇かな
羽扇を打ちふる華人歩み來る

○大連 阿部天潮
その中に讀めぬ文字ある扇かな
扇もて机の埃拂ひけり
相對ひ話とぎれし扇かな

○哈爾賓 玉川靜波
軒にまだ灯あるベンチの扇かな

○瓦房店 河野靜河
新しき絹扇のはや破れけり

○大連 高木春蔭
扇捨てゝ團扇に代ふる暑さかな

○大連 日野玄鳥
御僧の手垢にぢみし扇かな
扇子もて人分け行くや村芝居

満日俳壇募集規定

次回課題「夏野」「蛇」「蚤布」「トマト」▲句數無制限▲用紙半紙▲各題別紙▲締切八月五日▲封筒に「満日俳句」と明記の事▲投稿先、東京市牛込區若松町八二、島田青峰宛